セットアップ編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

水平インサータプリンタ

MICROLINE 8720SE2

◯ このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。

◯ 本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

はじめに

このたびは、沖データの MICROLINE 8720SE2 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
このユーザーズマニュアルは、MICROLINE 8720SE2 の操作方法について述べたものです。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しい使用方法をご理解いただきますようお願いいたします。

このユーザーズマニュアルは、必ず保管してください。万一、ご使用中にわからないことが起きたとき、きっとお役に立ちます。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

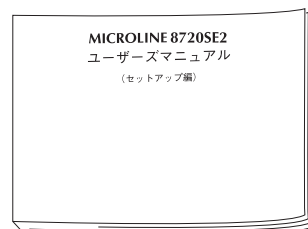
△記号は警告、注意を促す事項があることを告げるものです。
△の中に具体的な警告内容が描かれています。
（左図の場合は、「感電注意」を表します。）

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は、「分解禁止」を表します。）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は、「アースを接続してください。」を表します。）

マニュアルの構成

本製品には、次の説明書（セットアップ編、応用編）が付属しています。

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）…本書

必ずお読みください。
プリンタの設置からプリンタドライバのインストールまでの手順、操作パネルの表示、基本的な印刷、消耗品の交換などが記載されています。

ユーザーズマニュアル（応用編）…プリンタソフトウェア CD-ROM 内

オプション品を用いた使用方法や便利な印刷方法を説明しています。
プリンタソフトウェア CD-ROM の内容をご覧ください。

諸注意

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

なお、オプションのネットワークカードを使用した場合、この装置はクラスA情報技術装置になり、この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品」です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品を廃棄する場合の注意

本製品を廃棄する場合は、関係国内法、および各地方の廃棄物処理基準に従って廃棄してください。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一記載もれなどお気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては、3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

各会社名 , 製品名は各社の登録商標または商品名です。
ESC/P は、セイコーエプソン（株）の登録商標です。
Microsoft、Windows、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
MICROLINE は株式会社沖データの商標です。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

プリンタに付属のソフトウェアおよびドキュメンテーションは、株式会社 沖データが提供するものです。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、株式会社沖データ（以下、沖データという）との間で契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有している場合のみ、ソフトウェアを使用することが出来ます。
2. 本ソフトウェアおよびドキュメンテーション、そしてそれらのコピーの著作権、版権、所有権は、沖データまたは沖データに使用許諾を与えたライセンサーにあります。本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションの一部または全部を複製したり、他人に複製を作らせたり、複製を許可したり、商行為をすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。また、本契約で認められた項目を除き、本ソフトウェアとドキュメンテーションに関するいかなる知的所有権の権利も付与しません。
3. お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。
   (1) 本ソフトウェアに対応する沖データプリンタと一緒に譲渡する。
   (2) 本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
   (3) 当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。
   また、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、配布、転載、移転することはできません。
   お客様は、本ソフトウェアを日本国外に出荷、移転、輸出、再輸出できないこと、違法な方法で使用しないことに同意します。
4. お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様の本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの使用中止およびライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのオリジナルおよび全てのコピーを破棄し、商標の使用を中止するものとします。
5. 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに関して、以下のことを含む一切の保証をしません。
   (1) 本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
   (2) 本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションに瑕疵がないこと。
   (3) 第三者の権利を侵害していないこと。
   (4) 特定の目的に適合していること。
   またソフトウェアまたはドキュメンテーションは、予告なく改良、変更することがあります。
6. 沖データおよび沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、一切責任を負わないものとします。

本書の見方

本文中の略語について

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 8720SE2 → ML8720SE2
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003(x64 版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → WindowsXP(x64 版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP ※
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Vista、Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows 95、Windows2000、WindowsNT4.0 の総称→ Windows

※特に記載がない場合は、Windows Vista、Windows Server 2003、WindowsXP には 64bit 版も含みます。

本書の見方

本書の内容は、大きく分けて次の 6 つの構成になっています。

第 1 章～第 3 章	ご使用上の注意 , プリンタの設置からテスト印刷 , ホストコンピュータとの接続について説明しています。プリンタの基本的な使い方がわかります。
第 4 章～第 5 章	いろいろな用紙の印刷のしかたと、知っていると便利ないろいろな機能について説明します。
第 6 章	オプション品の取り付けから操作方法 , 使用方法について説明します。
第 7 章	インクリボンの交換方法 , 困ったときの処置方法について説明します。
第 8 章	定期清掃のしかたについて説明します。
付録	このプリンタの仕様、文字コード表、制御コードの一覧表、アフターサービスについて説明します。

図の表記のしかた

操作パネルスイッチ	印字可	「印字可」スイッチを押します。
	機能切替 用紙カット ＋ 印字可	「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押しながら「印字可」スイッチを押します。
表示パネル	オンライン ツウシ゛ョウ テサシ	オンライン , 通常印字モード , 単票手差しモードであることを示しています。

本書での説明のマーク

	プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。 誤った操作をしないため、必ずお読みください。
参考	プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。 お読みになることをおすすめします。

安全上の注意 , 表示の説明が別途 2 ページに記載してありますので、お読みください。

戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

目　次

戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

1 ご使用前に必ずお読みください

MICROLINE 8720SE2 の特長

◎連続紙が 1 枚目から無駄なく印刷できます
印字範囲がとても広く（用紙の端から 6.35mm）、連続紙でも 1 枚目から印刷できます。（オプションのダブルトラクタモードを除く）

◎用紙を自動的にセットします
オートロードにより、連続紙や単票を自動的に印字位置にセットします。
（オプションのダブルトラクタモードを除く）

◎いろいろな用紙に印刷できます
連続紙や単票をはじめ、はがき , 封筒 , 複写紙 , その他いろいろな用紙に印刷できます。

◎単票 , はがきおよび複写紙を自動給紙します
オプションのカットシートフィーダを装着すると、単票 , はがきおよび複写紙を自動給紙します。

◎自動紙厚調整機能で最適な印字を行います。
用紙をセットすると、用紙の厚さを自動的に測定し、最適な印字圧に調整します。

◎用紙の排出方向が選べます
用紙を前へ排出したり、後へ排出したり、スイッチ 1 つで切り替えできます。

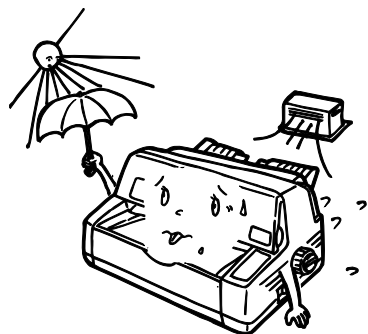
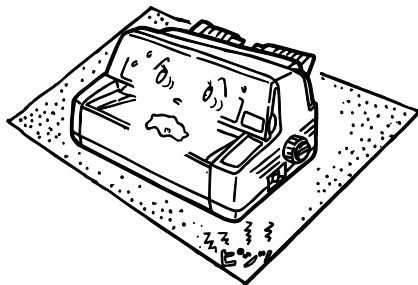
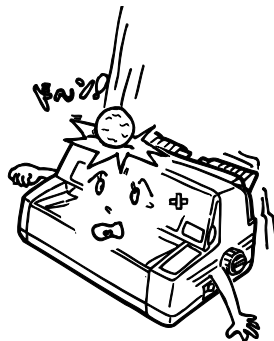
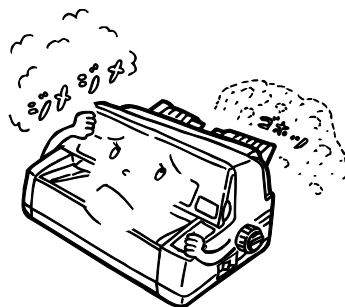
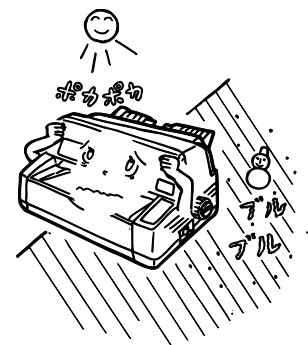
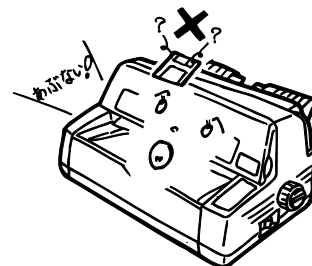
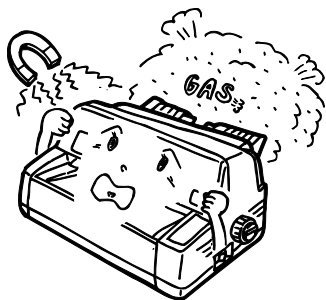
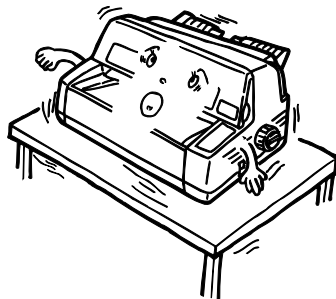
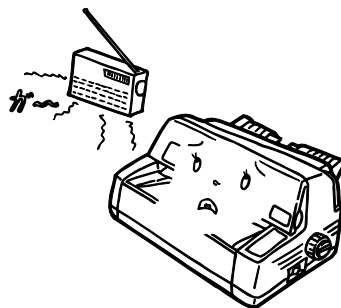
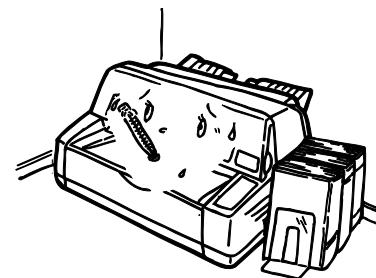
◎バーコードを印刷できます
JAN, NW7, カスタマバーコードなど、6 種類のバーコードが印刷できます。

◎ネットワークに対応しています
オプションのネットワークカードを取り付けると、ネットワークに接続して使用できます。（100BASE-TX / 10BASE-T）

各部の名称と機能

〔前面〕
〔背面〕
トップカバー
リボンカートリッジを交換する
際などに開閉します。
リボンカートリッジ
印字に必要なインク
リボンが入っています。
シートスタッカ
排出した単票を一時的に
ためておきます。
シートガイド（左）
単票の左端位置を
決める支えです。
表示パネル
プリンタの状態を
表示します。
ACコネクタ
電源コードを差し込む
コネクタです。
ネットワークインタフェース
コネクタ（オプション）
ツイストペアケーブルを
差し込むコネクタです。
テーブル
単票を手差しで
セットする台です。
プラテンノブ
用紙を繰り出します。
印字ヘッド
文字を印字する
部分です。
パラレルインタフェースコネクタ
パラレルケーブルを差し込むコネクタです。
電源スイッチ
電源をON/OFFします。
シートガイド（右）
単票の右端位置を
押える支えです。
操作パネル
プリンタの操作に必要なスイッチやランプがあります。

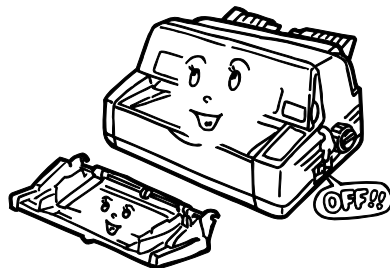
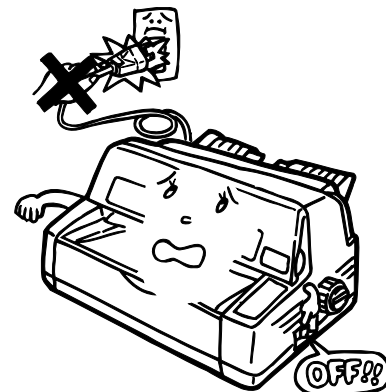
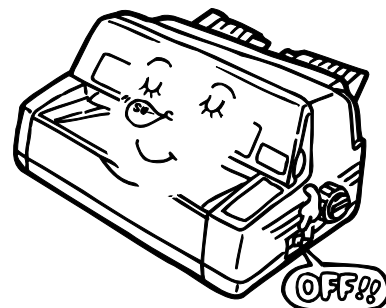
設置場所について

◎直射日光のあたる場所やヒータなどの熱器具の近くは避けてください。

◎じゅうたんを敷いた場所は避けてください。静電気障害の原因になります。

◎衝撃を与えたり、衝撃や振動の加わる場所は避けてください。

◎湿気やほこりの多い場所は避けてください。

◎急激な温度変化のある場所は避けてください。

◎フロッピーディスクを乗せると、フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

◎強い電磁界，腐食性ガスの発生する場所は避けてください。

◎プリンタを設置する台，机は、プリンタの振動で動く場合がありますので、キャスター付きのものは避けてください。

◎近くでラジオを聞く場合、周波数によっては雑音が入ることがあります。

◎プリンタの通風口をふさいだり、風通しの悪い場所は避けてください。

電源について

◎電源は必ずAC100V（50Hzまたは60Hz）を使用してください。

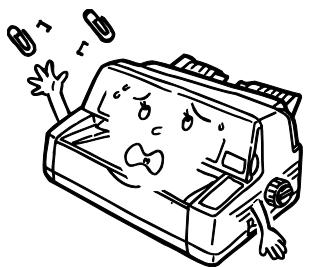
◎オプションを取り付けるときは、電源スイッチを「OFF」にしてください。

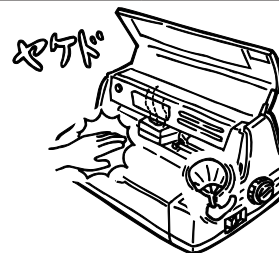
◎電源コードの抜き差しは、必ず電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを持って行ってください。
絶対に電源コードを引っ張らないでください。

◎雷が鳴っているときは電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜いてください。

◎プリンタとホストコンピュータを接続するときは、両方の電源スイッチを「OFF」にしてください。

◎長時間プリンタを使用しないときは、電源スイッチを「OFF」にしてください。

ご使用時の注意

⚠注意 ケガをする恐れがあります。

電源をいれたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換などをしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

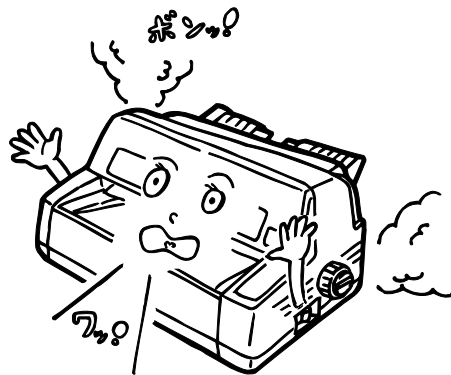
⚠注意 装置が壊れる恐れがあります。

プリンタ内部にクリップなどの異物を落とさないでください。
もし、落ちてしまったときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターにご連絡ください。
ご自分で分解しないでください。故障の原因になります。

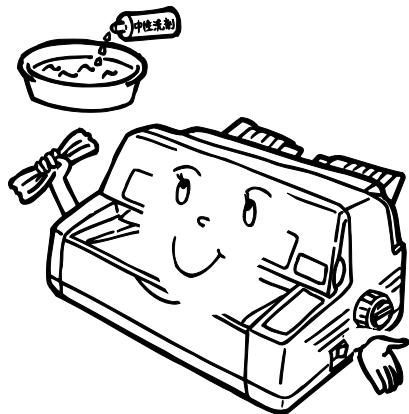
⚠注意 やけどの恐れがあります。

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにはさわらないでください。

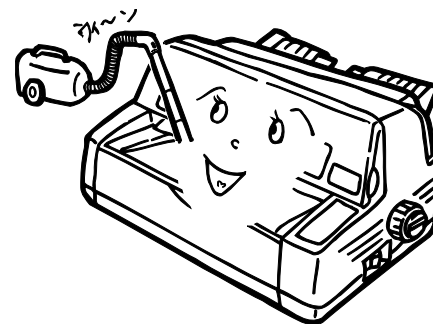
- 用紙やリボンカートリッジが無い状態では、絶対に印字させないでください。また、用紙幅以上の領域にも印字させないでください。印字ヘッドの寿命低下や、破損の原因になります。
- インクリボンとリボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)
- 印字が薄くなったり、インクリボンがほつれたりした場合には交換してください。包装を解いたリボンカートリッジは長時間放置すると寿命が短くなります。
- リボンカートリッジ交換後は、インクリボンがたるんでいないことを確認してください。たるんでいる場合は、つまみを矢印方向に回してたるみをとってから動作させてください。
  詳細は、「リボンカートリッジを取り付ける」(23 ページ)を参照してください。
- 用紙は、仕様に合ったものを使用してください。用紙詰まりや印字精度低下等の原因となります。詳細は、「付録　用紙規格および印字範囲」(155 ページ)を参照してください。

故障や異常のときは

⚠警告	故障や感電の原因になります。	

故障や異常（においがしたり、煙が出たり、熱くなった）に気付いたときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターにご連絡ください。
ご自分で分解したり、修理したりしないでください。故障や感電の原因になります。

プリンタのお手入れ

◎プリンタカバーの汚れは、中性洗剤を薄めた液にひたした布を、堅くしぼってふき取ってください。

注 堅い布やシンナー，ベンジンなどでふかないでください。

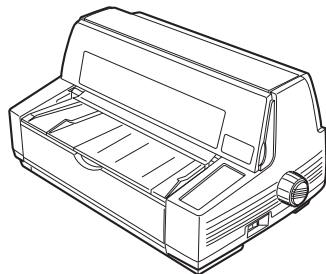
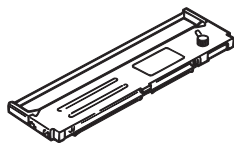
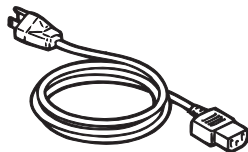
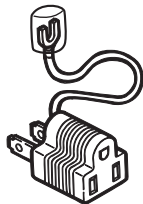
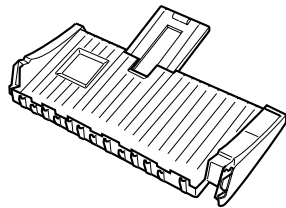
◎プリンタ内部にごみやほこり・紙紛が目立つ場合は、掃除機などを使用して取り除いてください。（150 ページ参照）

注 ごみやほこり・紙紛がたまるとセンサーの誤動作や用紙送り不良、印字乱れなどの原因になります。

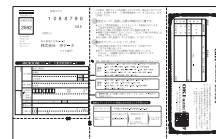
2 プリンタの準備

～箱を開けてからテスト印刷するまで～

梱包を開く

プリンタの梱包を開いて、以下の付属品が揃っていることを確認してください。
もし、足りない場合は、プリンタをお買い求めの販売店にご連絡ください。

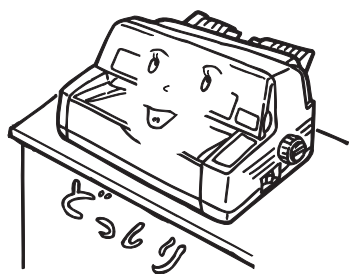
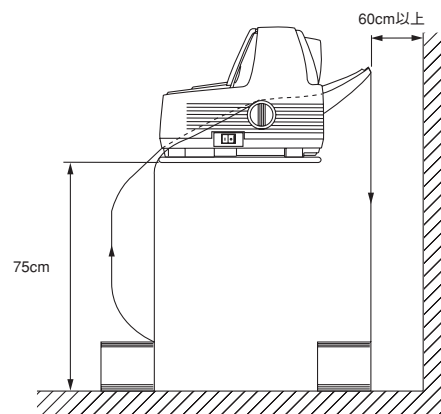
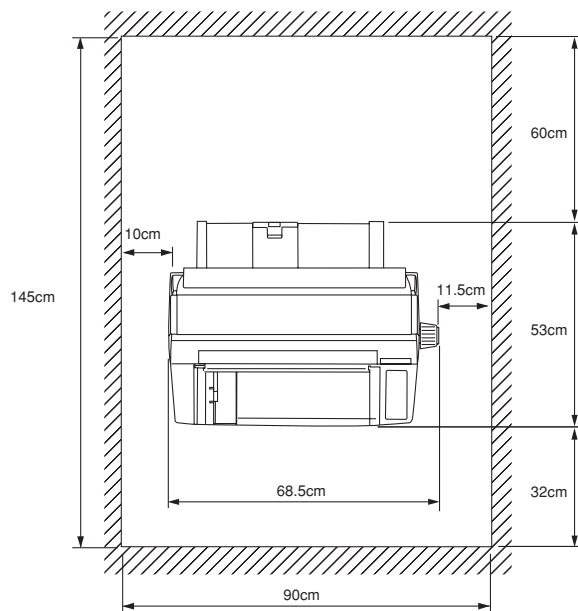
☐ プリンタ

☐ リボンカートリッジ

☐ 電源コード

☐ 電源用プラグ

☐ シートスタッカ

☐ ユーザーズマニュアル（本書）

☐ 保証書 / ご愛用者登録カード

☐ キャリッジ固定注意文

☐ プリンタソフトウェア CD-ROM

- 保証書に必要事項が記入されているか確認してください。
  正しく記入されていない保証書は無効になり、無償保証を受けられない場合があります。もし、記入内容が不十分でしたら、販売店にお問い合わせください。
- 保証書は大切に保管してください。
- 梱包箱，梱包材は保管しておき、再輸送の際に必ず使用してください。

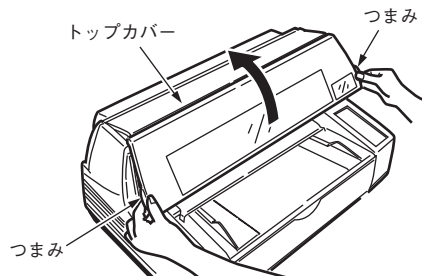
プリンタを設置する

プリンタは、水平で安定した台の上に設置してください。また、操作，日常の点検および消耗品の交換など、プリンタの性能を維持する作業を行うために下記の設置スペースを確保してください。

設置スペース

固定具を取り除く

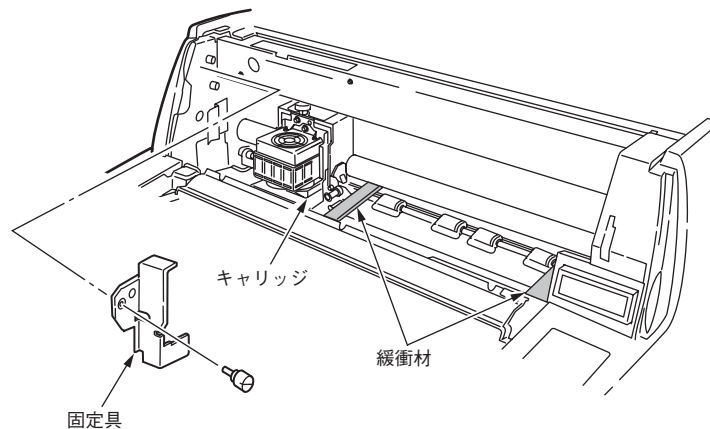
輸送時の振動などによる破損を防ぐため、印字ヘッドを固定具と緩衝材で固定してあります。ご使用になる前に、この固定具と緩衝材を外してください。

- 取り外した固定具と緩衝材は梱包箱とともに保管してください。
- 輸送や保管時、または装置移動の際にはこの固定具と緩衝材で再度印字ヘッドを固定してください。(178 ページ)
- 固定具を固定する際は、電源スイッチを「ON」にしてキャリッジが止まった後、電源スイッチを「OFF」にしてから固定してください。(キャリッジが上昇します)

1 トップカバーを開きます。

トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。

2 固定具を取り外します。

① ねじを外し、固定具を引き抜いてください。

② 左右の緩衝材は、いったん奥に押し込んでから手前に引き抜いてください。

3 トップカバーを閉じます。

両手で左右のつまみを持ってトップカバーがロックされるまで閉じます。

リボンカートリッジを取り付ける

最初にリボンカートリッジを取り付けます。

リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

リボンカートリッジの取り付け

1 電源スイッチを「ON」にします。印字ヘッドが上昇し左へ移動後、リボンセット位置（中央）に停止したことを確認して、電源スイッチを「OFF」にします。

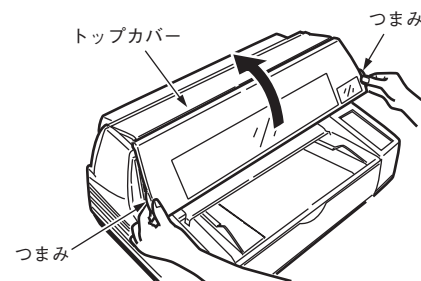
印字ヘッドが上昇することで、リボンがセットし易くなります。

印字ヘッドがリボンセット位置にない場合は、手順 3 で印字ヘッドを手動でリボンセット位置に移動します。

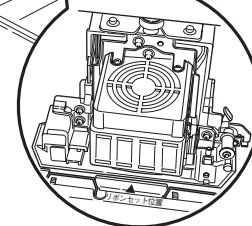
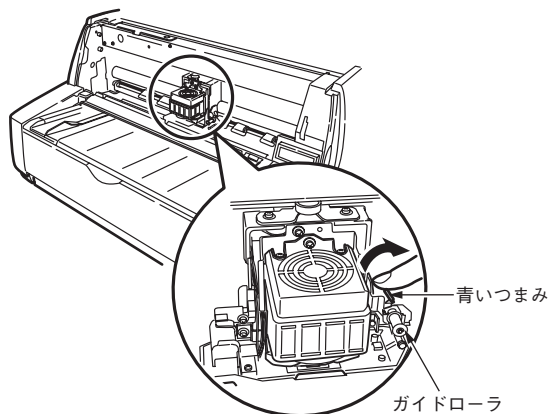
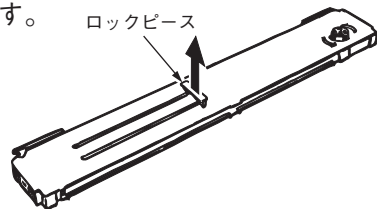
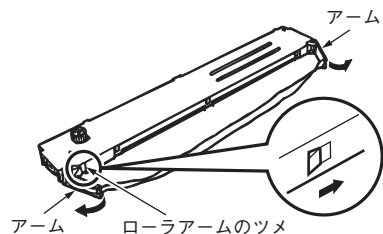
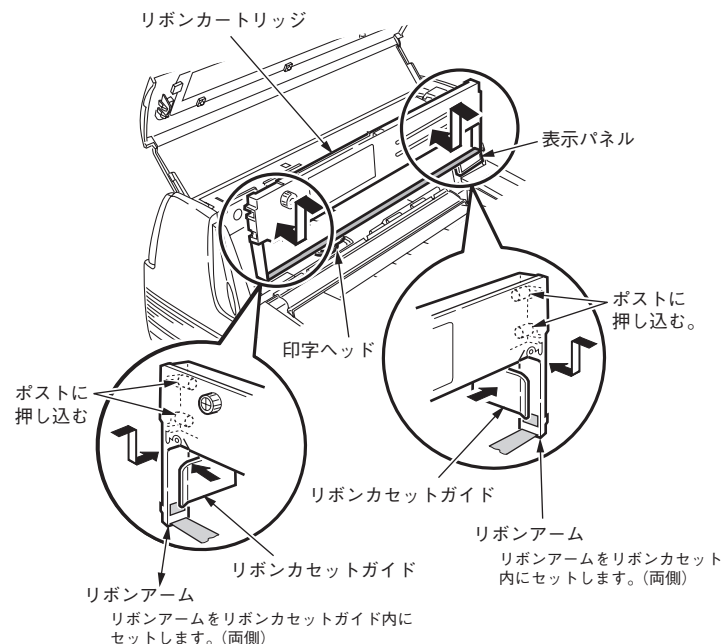
⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

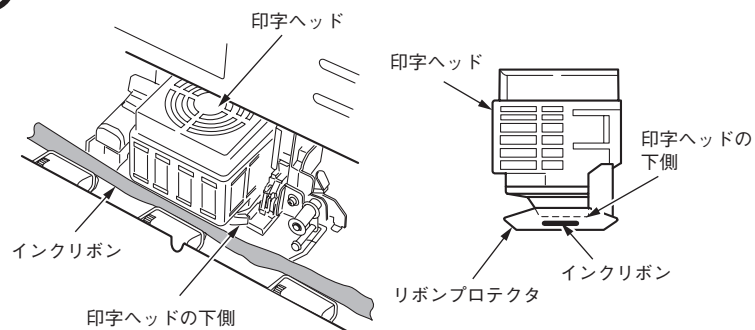
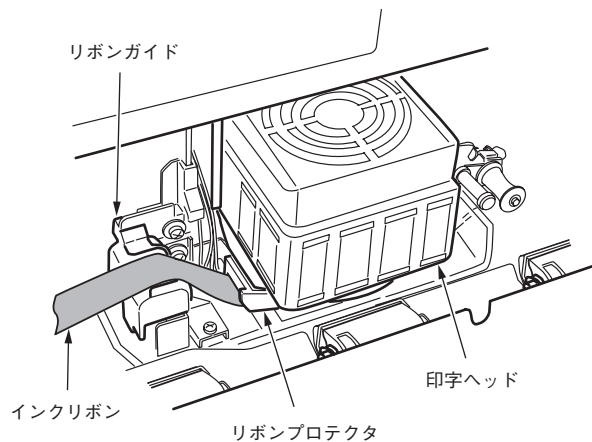
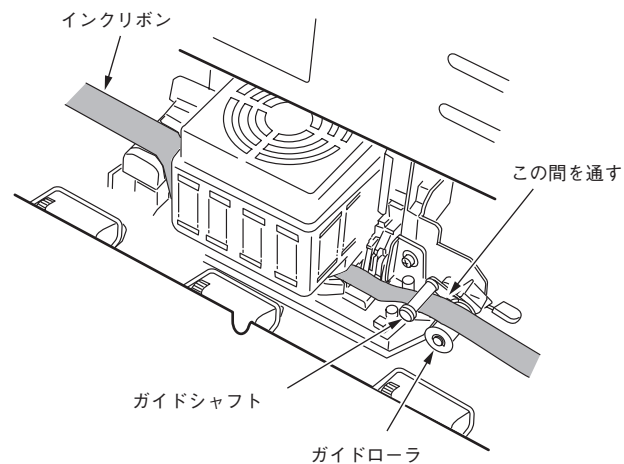
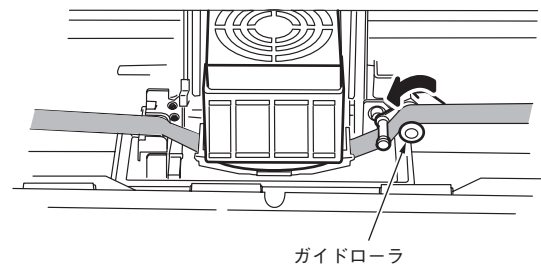
2 トップカバーを開きます。

トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。

3 キャリッジが「リボン▲セット位置」にあることを確認します。
「リボン▲セット位置」にない場合はキャリッジを、「リボン▲セット位置」へ移動させます。

⚠警告	やけどの恐れがあります。	

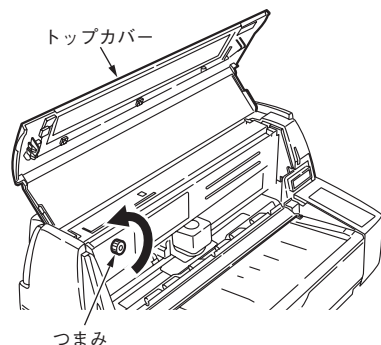
印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。
リボンカートリッジの取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

4 印字ヘッド右側のガイドローラを外側に倒します。

5 リボンカートリッジの包装紙を取り除き、ロックピースを引き抜きます。

6 左右のアームを止まるまで開き、ローラアームのツメを解除します。

7 表示パネルの上方よりリボンカートリッジを入れて、印字ヘッドの上側にリボンカートリッジをセットし、リボンカートリッジの両端を止まるまで押し込みます。

リボンカセットガイドの上方（矢印部）を突き当てて押し込むと容易にセットできます。

注 左右のリボンアームがリボンカセットガイド内に確実にセットされているか確認してください。

8 印字ヘッドの下側にインクリボンを通します。

9 リボンガイドの上にインクリボンをのせます。

10 ガイドローラとガイドシャフトの間にインクリボンを通します。

11 ガイドローラを元に戻します。

 必ず戻してください。リボン外れの原因になります。

2

リボンカートリッジを取り付ける

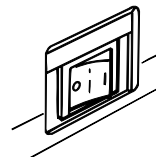
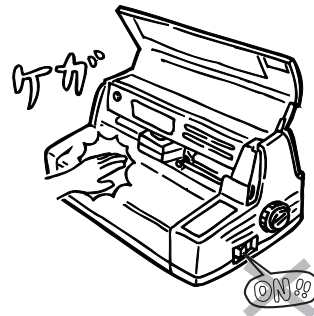
12 つまみを矢印方向に回してインクリボンのたるみを取ります。

- 印字ヘッドとリボンプロテクタのすき間にインクリボンを通した際、よじれや折れ、カートリッジ左右のアームから外れがないことを確認してください。
- つまみを矢印の反対方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。

13 トップカバーを閉じます。

リボンカートリッジの取り外し

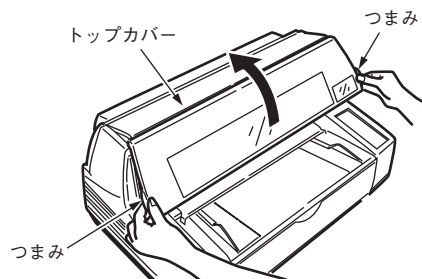
1 電源スイッチを「ON」にします。印字ヘッドが上昇し左へ移動後、リボンセット位置（中央）に停止したことを確認して、電源スイッチを「OFF」にします。

印字ヘッドが上昇することで、リボンがセットし易くなります。

印字ヘッドがリボンセット位置にない場合は、手順 3 で印字ヘッドを手動でリボンセット位置に移動します。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

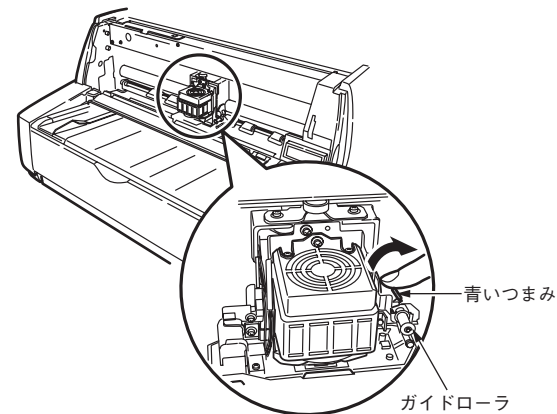
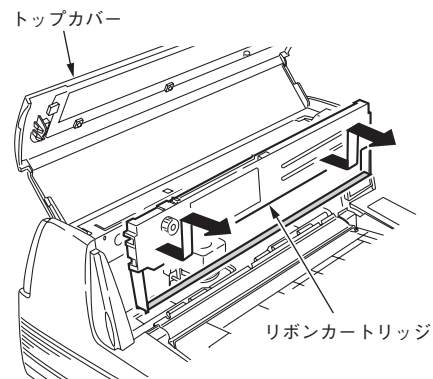
2 トップカバーを開きます。

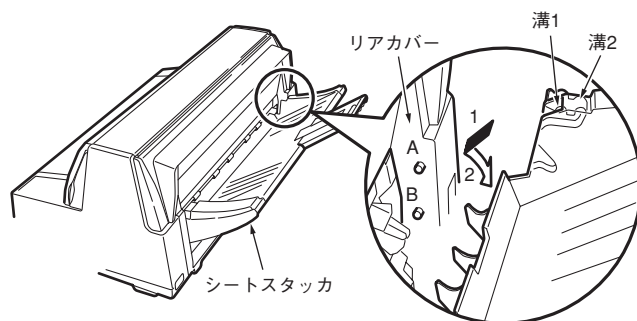
トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。

3 キャリッジが「リボン▲セット位置」にあることを確認します。

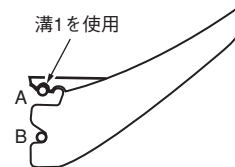
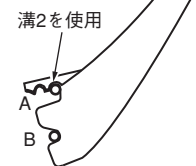
「リボン▲セット位置」にない場合はキャリッジを、「リボン▲セット位置」へ移動させます。

⚠警告	やけどの恐れがあります。	

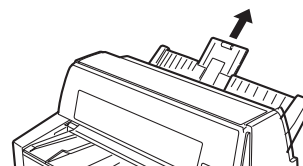
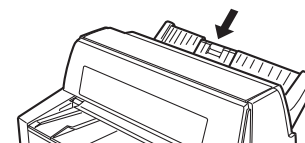
印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。
リボンカートリッジの取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

4 印字ヘッド右側のガイドローラを外側に倒し、インクリボンを外します。

5 リボンカートリッジの両側を手前に引いてロックを外し、そのまま全体を矢印のように外します。

シートスタッカを取り付ける

1 シートスタッカの両端の溝をリアカバーのポストAに差し込みます。

シートスタッカの使用方法

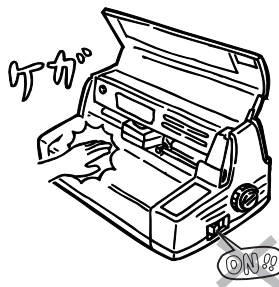
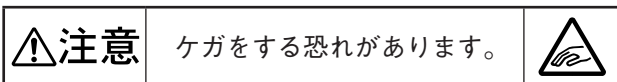
通常のセット状態

後方に余裕がないとき

- リアピントラクタのみ使用できます。
- カットシートフィーダでは使用できません。
- 単票手差しおよびフロントトラクタでも使用できますが、用紙の種類によっては用紙送りが不安定になります。

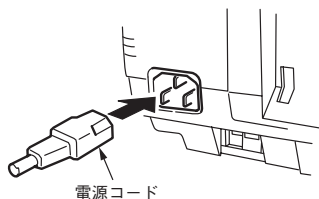
シートサポータの使用方法

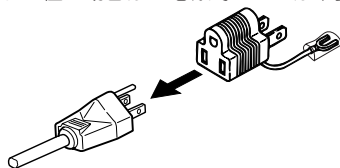
単票を使用するとき

連続紙を使用するとき

電源コードを取り付ける

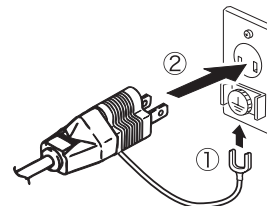
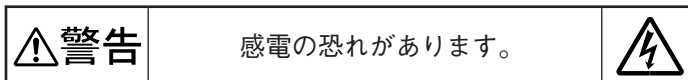
電源コードとアース線を接続します。

1 電源スイッチが「OFF」(○側)になっていることを確認します。

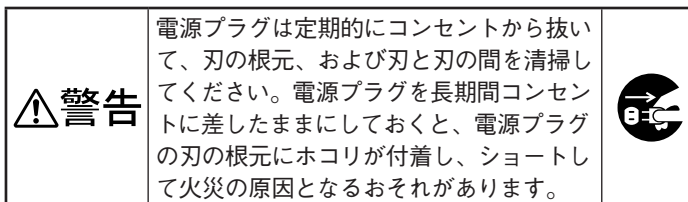
⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

プリンタが突然動作することがあります。
必ず、電源スイッチを「OFF」にしてください。

2 電源コードをプリンタの AC コネクタに接続します。

3 電源コードに電源用プラグを差し込みます。

コンセントが 3 極の場合は、電源用プラグは不要です。

4 アース線をアース端子に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠警告	感電の恐れがあります。	

万一の危険防止のため、アースは必ず接続してください。ガス管には絶対に接続しないでください。
電源プラグのアースが接続できない場合は、電気工事店へご相談ください。
電源プラグを外す時は逆の手順で行ってください。

- アース線をコンセントに一緒に差し込まないでください。
- 電源は必ず AC100V(50Hz または 60Hz)を使用してください。
- 電源を入れたとき、一瞬大きな電流が流れます。
  電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- このプリンタは、ドット密度の高い印字(黒ベタ印字など)を行うと、最大 5.8A の電流が流れます。パソコンなどのサービスコンセントには接続しないでください。タコ足配線は、絶対しないでください。
- 本プリンタに添付の電源コードを使用してください。他の製品用の電源コードは使用しないでください。
- 本プリンタに添付の電源コードは、本プリンタ専用です。他の製品には使用しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、必ず電源スイッチを「OFF」にしてから、電源プラグを持って行ってください。絶対に電源コードを引っ張らないでください。
- UPS(無停電電源)およびインバータを使用した場合の動作は保障していません。故障のおそれがあります。無停電電源およびインバータは使用しないでください。

⚠警告	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。	

テスト印字をする

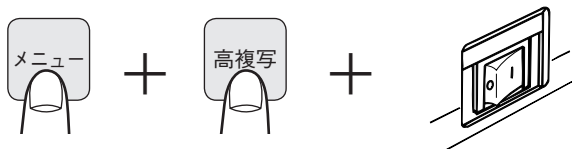
プリンタが正確に動くことを確かめるために、テスト印字を行います。テスト印字には、A4 サイズ以上の単票の縦置、または 15 インチ幅の連続紙を使用します。ここでは、A4 サイズの単票を使う場合を例にとって、テスト印字の手順を説明します。

❶ 電源スイッチを「ON」にします。

❷ オフライン状態で「用紙モード」スイッチを押して " テサシ " にします。

ヨ	ウ	シ	モ	ー	ト	゛		シ	テ	イ					
テ	サ	シ													

❸ 電源スイッチを「OFF」にします。

❹「メニュー」＋「高複写」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」にします。
表示パネルに「イニシャルショリチュウ／スイッチヲ　ニンシキシマシタ」と表示したら、スイッチから指を離します。

❺ 単票をセットします。
単票の左端をシートガイドに合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。
約 2 秒後、単票が自動的に吸入されます。

❻ プリンタが印字を開始します。
「印字可」スイッチを押すと、印字を中断します。
もう一度「印字可」スイッチを押すと、印字を再開します。

❼「改頁」スイッチを押して、単票を排出するか、テスト印字が終了すると排出されます。

❽ 電源スイッチを「OFF」にします。

連続紙の場合は、87 ページを参照して用紙をセットしてください。

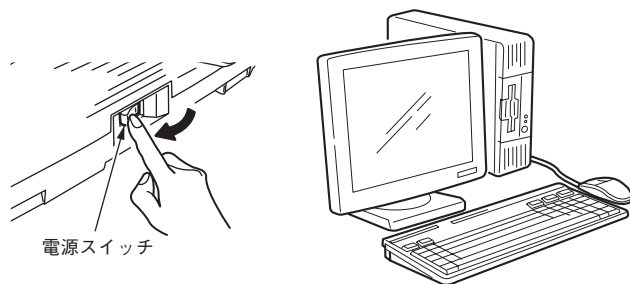
テスト印字を行ってみて、動作が異常な場合には、「こんなときには」（応用編）を参照してください。

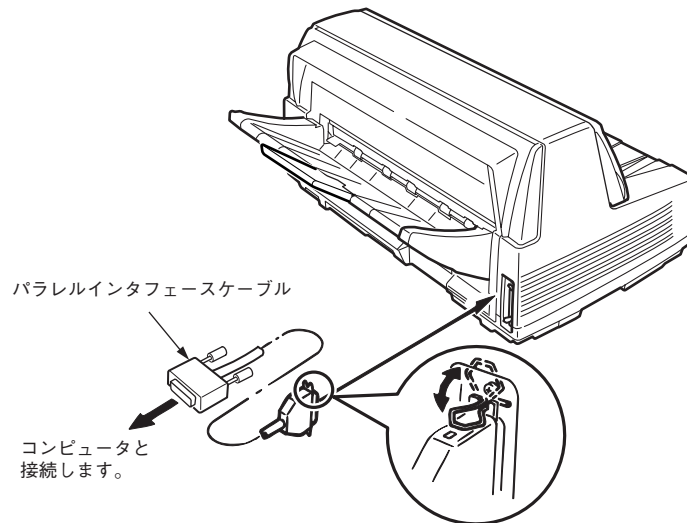
3 ホストコンピュータに接続する

ホストコンピュータに接続する

このプリンタは、パラレルインタフェースと、オプションでネットワークインタフェースを装備しています。
インタフェースケーブルは、ホストコンピュータによって異なります。それぞれのホストコンピュータに合わせて IEEE 1284-1994 準拠の双方向パラレルケーブルをご用意ください。
パラレルインタフェースの信号線ピン配列は、「パラレルインタフェース」(応用編)をご覧ください。
ネットワークインタフェースで接続する場合は、オプションのネットワークカードに付属のユーザーズマニュアルをご覧ください。

※イーサネットケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

1 電源スイッチを「OFF」にします。コンピュータ側の電源スイッチも「OFF」にします。

2 パラレルインタフェースケーブルを接続します。

ケーブルが外れないようにプリンタ側の止め金具で固定します。

3 コンピュータにパラレルインタフェースケーブルを接続します。

詳しくは、コンピュータのマニュアルをご覧ください。

Windows Vista 環境で使用する

プリンタの設定

Windows Vista から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。「設定を初期化する」（116 ページ）を参照してください。

プリンタドライバの動作環境

Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

日本語版以外の OS には対応していません。

プリンタドライバのセットアップ

- Administrator の権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。
- すでに古いバージョンの OKI MICROLINE 8720SE2 プリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップを行ってください。

[パラレルインタフェースケーブルを使用します]

〈プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います〉

- プリンタソフトウエア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

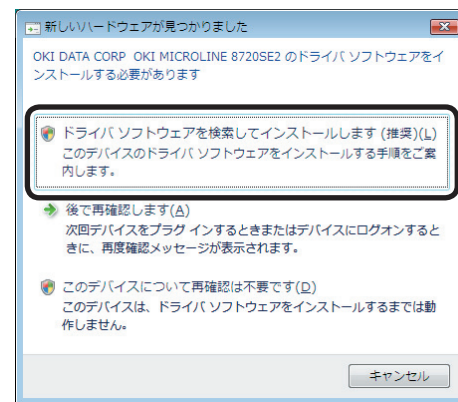
❷ パラレルインタフェースケーブルを接続します。

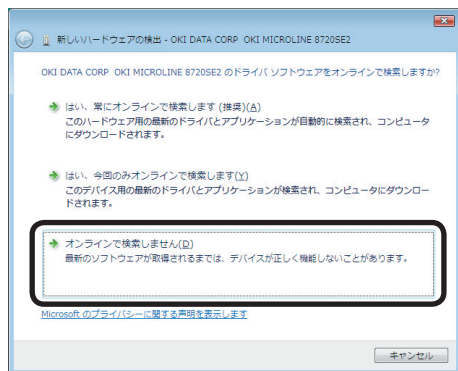
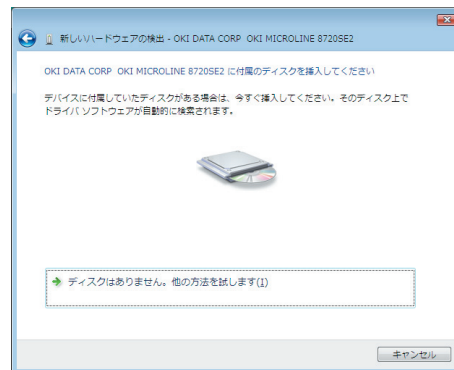
❸ プリンタの電源を ON にします。

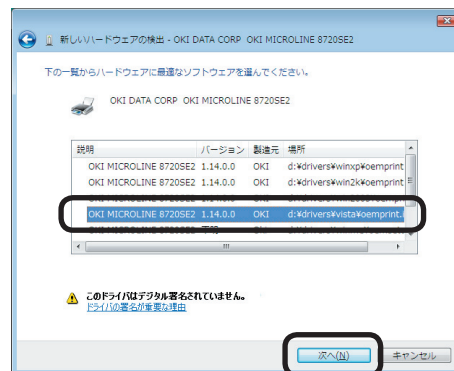
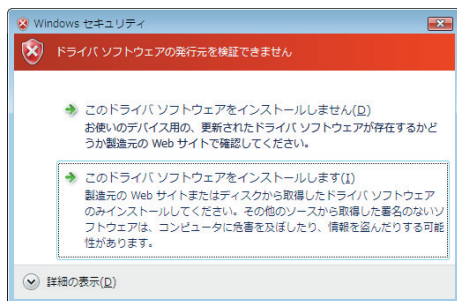
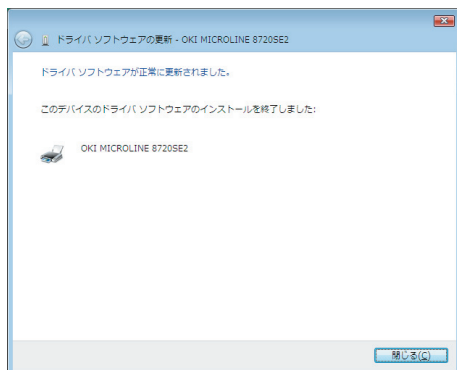
❹ コンピュータの電源を ON にし、Windows Vista を起動します。

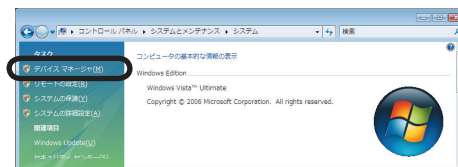
❺『新しいハードウェアが見つかりました』の画面が表示されますので、『ドライバソフトウエアを検索してインストールします（推奨）』を選択します。

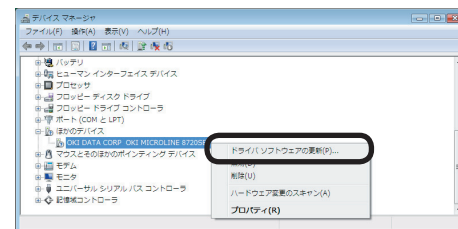
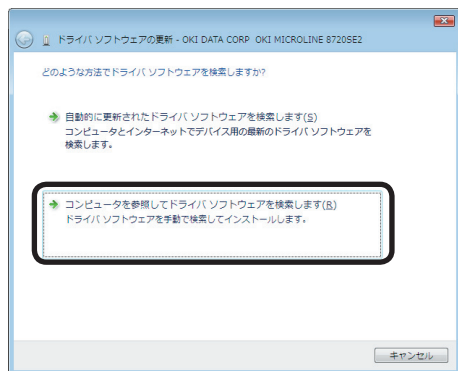
3

Windows Vista 環境で使用する

❻『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『続行』をクリックします。

❼『OKI DATA CORP OKI MICROLINE 8720SE2 のドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか』の画面が表示された場合は、『オンラインで検索しません』を選択します。

❽『付属のディスクを挿入してください』の画面が表示されますので、プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❾『下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください』の画面が表示されますので、『OKI MICROLINE 8720SE2 1.14.0.0 OKI d:¥drivers¥vista¥...』を選択して『次へ』をクリックします。(CD-ROM ドライブが D: の場合)

※ 64bit 版をご使用の場合は、『OKI MICROLINE 8720SE2 1.14.0.0 OKI d:¥drivers¥vista64¥...』を選択します。

⑩『Windows セキュリティ』の画面が表示されたら、『このドライバソフトウェアをインストールします』を選択します。

⑪『このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました』の画面が表示され、インストールが終了します。『閉じる』をクリックします。

『新しいハードウェアが見つかりました』の画面が表示されない場合

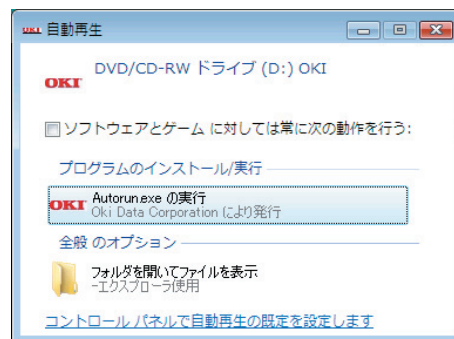
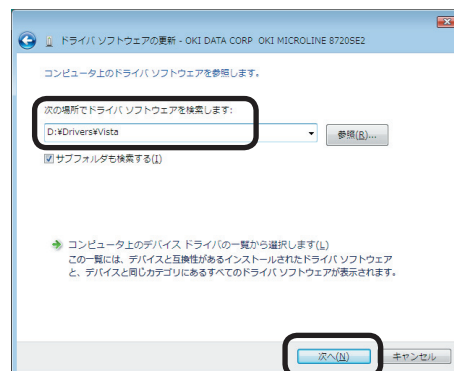
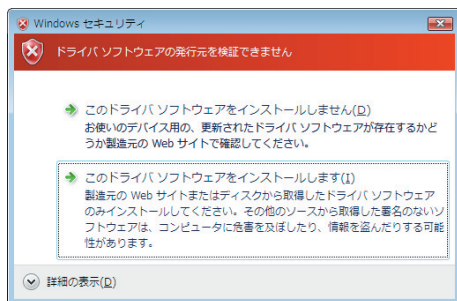
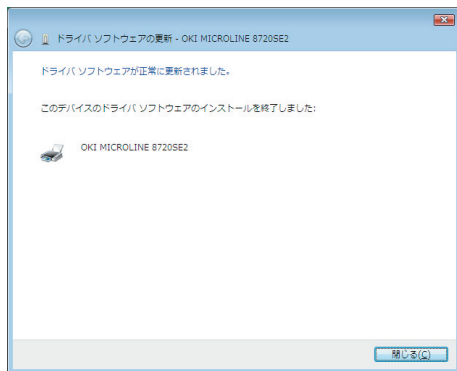
⑫『スタート』-『コントロールパネル』-『システムとメンテナンス』-『システム』-『デバイスマネージャ』をクリックします。

⑬『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『続行』をクリックします。

⑭『ほかのデバイス』の『OKI DATA CORP OKI MICROLINE 8720SE2』をマウスの右ボタンでクリックして、『ドライバソフトウェアの更新』を選択します。

⑮『どのような方法でドライバソフトウェアを更新しますか』の画面で、『コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します』をクリックします。

⑯『コンピュータ上のドライバソフトウェアを参照します』の画面が表示されますので、プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

※ CD-ROM をセットした後、『自動再生』の画面が表示されたら「×」をクリックして閉じてください。

その後、テキストボックスに次のように入力し、『次へ』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。 D:¥Drivers¥Vista

※ 64bit 版をご使用の場合は、『D:¥Drivers¥Vista64』と入力します。

⑰『Windows セキュリティ』の画面が表示されたら、『このドライバソフトウェアをインストールします』を選択します。

⑱『このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました』の画面が表示され、インストールが終了します。『閉じる』をクリックします。

〈「プリンタのインストール」からセットアップを行います〉

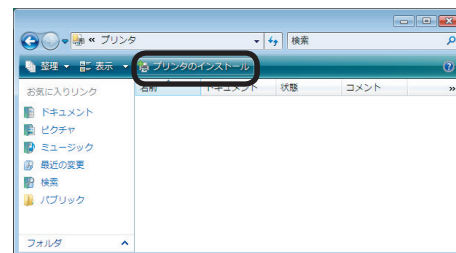
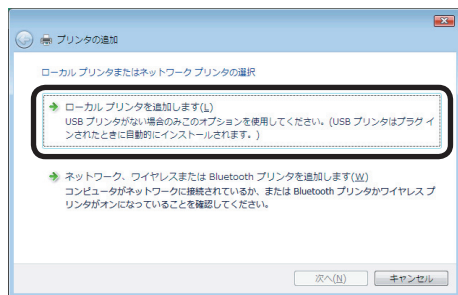
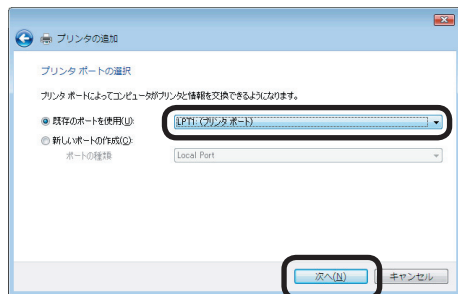
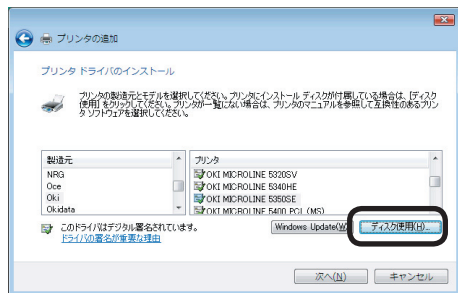
- プリンタソフトウエア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ パラレルインタフェースケーブルを接続します。

❸ コンピュータの電源を ON にし、Windows Vista を起動します。

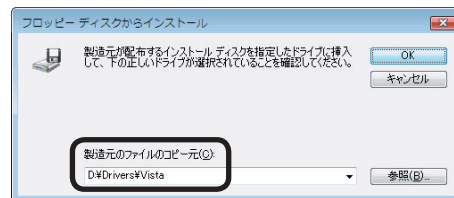
❹『スタート』-『コントロールパネル』-『プリンタ』をクリックします。

❺『プリンタのインストール』をクリックします。

❻『ローカルプリンタまたはネットワークプリンタの選択』の画面で、『ローカルプリンタを追加します』をクリックします。

❼『プリンタポートの選択』の画面で『LPT（プリンタポート）』を選択し、『次へ』をクリックします。

❽『プリンタドライバのインストール』の画面が表示されますので、『ディスク使用』をクリックします。

❾『フロッピーディスクからインストール』の画面が表示されますので、プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

※ CD-ROM をセットした後、『自動生成』の画面が表示されたら「×」をクリックして閉じてください。

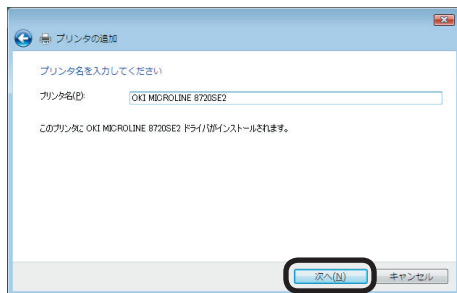
その後、テキストボックスに次のように入力し、『次へ』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。 D:¥Drivers¥Vista

※ 64bit 版をご使用の場合は、『D:¥Drivers¥Vista64』と入力します。

❿『プリンタドライバ』の画面で『OKI MICROLINE 8720SE2』を選択し、『次へ』をクリックします。

3

Windows Vista 環境で使用する

⓫『プリンタ名を入力してください』の画面ではプリンタ名を変更することができます。プリンタ名を変更したい場合は、新しいプリンタ名を入力し、『次へ』をクリックします。

⓬『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『続行』をクリックします。

⓭『Windows セキュリティ』の画面が表示されたら、『このドライバソフトウェアをインストールします』を選択します。

⓮『OKI MICROLINE 8720SE2 が正しく追加されました』の画面が表示されたら、『完了』をクリックします。
テストページを印刷したい場合は、『完了』をクリックするまえに『テストページの印刷』をクリックします。

印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- ダブルトラクタフィーダ
- 自動選択

- 「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。
- 給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。
- ダブルトラクタフィーダに切り替えるときは、プリンタで用紙セットが必要です。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙 / 品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）
  ：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）
  ：両方向で高密度に印刷します。

印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

❶『スタート』-『コントロールパネル』-『プリンタ』を開き、画面上で右クリック後、さらに、『管理者として実行』-『サーバのプロパティ』を選択します。

❷『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

● 高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

❸ 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕、〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕はそれぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角（〔明朝〕の縦横 2 倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsServer2003 環境で使用する

プリンタの設定

WindowsServer2003 から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。

「設定を初期化する」（116 ページ）を参照してください。

プリンタドライバの動作環境

WindowsServer2003 日本語版の動作するコンピュータ

IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

日本語版以外の OS には対応していません。

プリンタドライバのセットアップ

- パラレルインタフェースで WindowsServer2003 と接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、WindowsServer2003 を起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでに古いバージョンの OKI MICROLINE 8720SE2 プリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタソフトウェア CD-ROM の Readme.txt には、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。

プリンタソフトウェア CD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

[パラレルインタフェースケーブルを使用します]

〈プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います〉

- プリンタソフトウエア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。パラレルインタフェースで Windows Server 2003 と接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、Windows Server 2003 を起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ パラレルケーブルを接続します。

❸ プリンタの電源を「ON」にします。

❹ Windows Server 2003 を起動します。

すでに Windows Server 2003 が起動している場合は、再起動してください。

『新しいハードウェアの検索ウィザード』が起動するので、『一覧または特定の場所からインストールする』を選択し、『次へ』をクリックします。

❺『次の場所で最適のドライバを検索する』を選択し、『リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROM など)を検索』のチェックを外します。

『次の場所を含める』にチェックを付け、プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROMドライブへセットし、次のように入力して『次へ』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。 D:¥Drivers¥Win2003

❻『ハードウェアのインストール』画面で、『Windows ロゴテストに合格していません』と表示されたら、『続行』をクリックします。

❼『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で、『完了』をクリックします。

❽『プリンタと FAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- ダブルトラクタフィーダ
- 自動選択

- 「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。
- 給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。
- ダブルトラクタフィーダに切り替えるときは、プリンタで用紙セットが必要です。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙 / 品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）
  ：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）
  ：両方向で高密度に印刷します。

印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

❶『マイコンピュータ』-『プリンタとFAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。

❷『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

● 高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

❸ 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕、〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕はそれぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角（〔明朝〕の縦横 2 倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsXP 環境で使用する

プリンタの設定

WindowsXP から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。「設定を初期化する」（116 ページ）を参照してください。

プリンタドライバの動作環境

WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

日本語版以外の OS には対応していません。

プリンタドライバのセットアップ

- パラレルインタフェースで WindowsXP と接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、WindowsXP を起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでに古いバージョンの OKI MICROLINE 8720SE2 プリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタソフトウェア CD-ROM の Readme.txt には、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。

　プリンタソフトウェア CD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

[パラレルインタフェースケーブルを使用します]

〈プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います〉

- プリンタソフトウエア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。パラレルインタフェースで WindowsXP と接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、WindowsXP を起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ パラレルケーブルを接続します。

❸ プリンタの電源を「ON」にします。

❹ WindowsXP を起動します。
すでに WindowsXP が起動している場合は、再起動してください。
『新しいハードウェアの検索ウィザード』が起動するので、『一覧または特定の場所からインストールする』を選択し、『次へ』をクリックします。

❺『次の場所で最適のドライバを検索する』を選択し、『リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索』のチェックを外します。

『次の場所を含める』にチェックを付け、プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、次のように入力して『次へ』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。 D:¥Drivers¥WinXP

❻『ハードウェアのインストール』画面で、『Windows ロゴテストに合格していません』と表示されたら、『続行』をクリックします。

❼『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で、『完了』をクリックします。

❽『プリンタと FAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- ダブルトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。
● 給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。
● ダブルトラクタフィーダに切り替えるときは、プリンタで用紙セットが必要です。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙 / 品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。
- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。
- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。
- 高密度（片方向印字）
  ：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）
  ：両方向で高密度に印刷します。

印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

❶『マイコンピュータ』-『プリンタとFAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。

❷『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

● 高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

❸ 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕、〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕はそれぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角（〔明朝〕の縦横 2 倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows2000 環境で使用する

プリンタの設定

Windows2000 から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。

「設定を初期化する」（116 ページ）を参照してください。

プリンタドライバの動作環境

Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ

日本語版以外の OS には対応していません。

プリンタドライバのセットアップ

- プリンタドライバのセットアップは「プリンタの追加」から行います。
- Administrator の権限が必要です。
- すでに古いバージョンの OKI MICROLINE 8720SE2 プリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタソフトウェア CD-ROM の Readme.txt には、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。

　プリンタソフトウェア CD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

[パラレルインタフェースケーブルを使用します]

〈『プリンタの追加』からセットアップを行います〉

- プリンタソフトウエア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- プリンタドライバのセットアップは『プリンタの追加』から行います。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

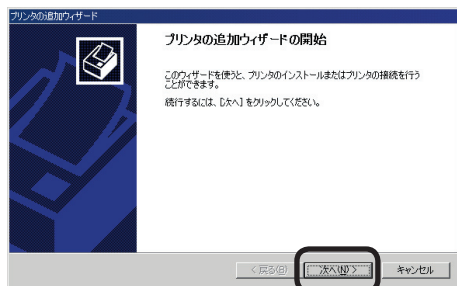
❷ パラレルケーブルを接続します。

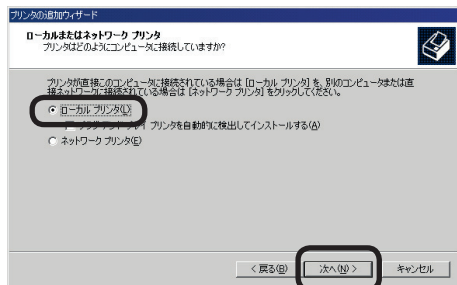
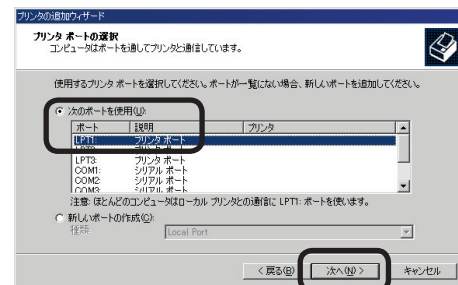
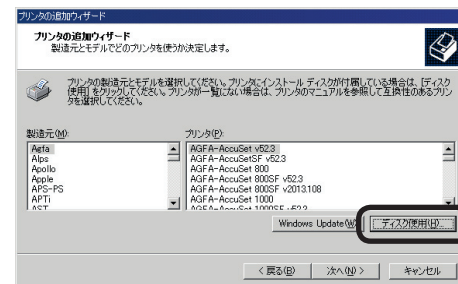
❸ Windows2000 を起動します。

❹ プリンタの電源を「ON」にします。
『新しいハードウェアの検出ウィザード』画面が表示された場合は、『キャンセル』をクリックします。

❺『スタート』→『設定』→『プリンタ』を選択します。
『プリンタ』フォルダ内のプリンタアイコンを確認し、セットアップしようとしているプリンタアイコンがすでにある場合は、右ボタンでクリックし、『削除』を選択します。

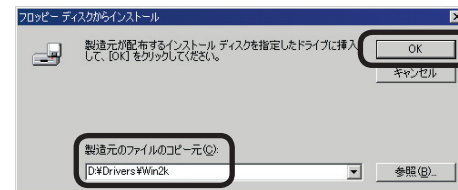
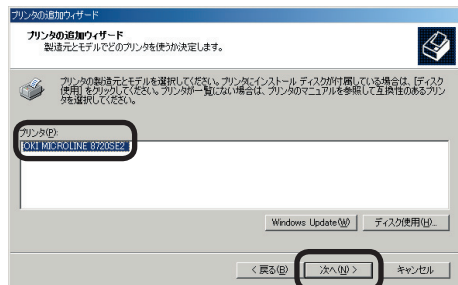
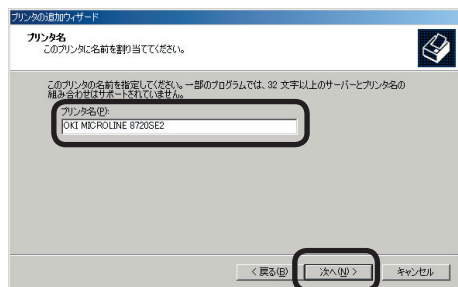
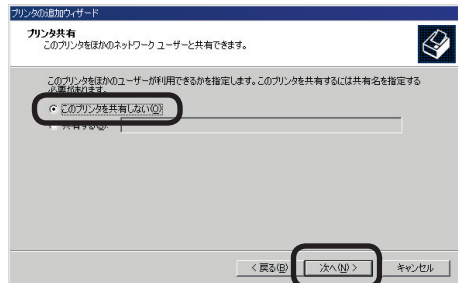
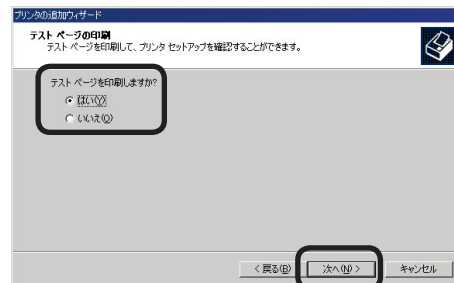
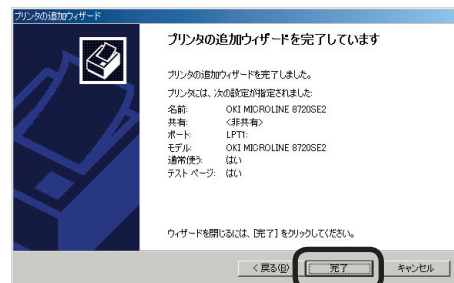
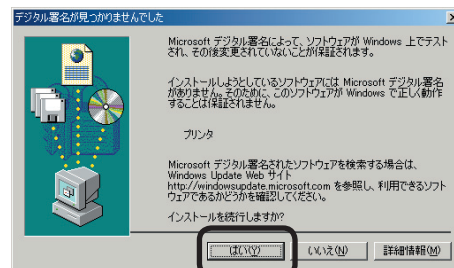
❻『プリンタの追加』をダブルクリックします。

❼『プリンタの追加ウィザードの開始』画面で、『次へ』をクリックします。

❽『ローカルプリンタ』を選択し、『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外して、『次へ』をクリックします。

必ず『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外してください。

❾『次のポートを使用』を選択して、『LPT1: プリンタポート』を選択し、『次へ』をクリックします。

❿『ディスク使用』をクリックします。

⓫『インストール』画面が表示されたら、プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、「製造元のファイルのコピー元 :」に次のように入力して『OK』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
D:¥Drivers¥Win2k

3

Windows2000 環境で使用する

⓬『プリンタ』でプリンタの機種名を選択し、『次へ』をクリックします。

⓭『プリンタ名』を確認し、『通常使うプリンタ』で『はい』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓮『このプリンタを共有しない』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓯テストページを印刷する場合は『はい』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓰『プリンタの追加ウィザードを完了しています』画面で、『完了』をクリックします。

⓱『デジタル署名が見つかりませんでした』画面で、『はい』をクリックします。

⑱『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定
このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- ダブルトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。
● 給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。
● ダブルトラクタフィーダに切り替えるときは、プリンタで用紙セットが必要です。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタのプロパティで表示される「用紙 / 品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）
  ：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）
  ：両方向で高密度に印刷します。

印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

❶『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『ファイル』-『サーバーのプロパティ』を選択します。

❷『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

● 高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

❸ 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕、〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕はそれぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角（〔明朝〕の縦横 2 倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsMe 環境で使用する

プリンタの設定

WindowsMe から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、初期値に戻してください。
他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（116 ページ）を参照してください。

プリンタドライバの動作環境

WindowsMe 日本語版が動作するコンピュータで、IBM PC/AT 互換機 , PC-9821 シリーズ（双方向パラレルインタフェース対応機のみ）

日本語版以外の OS には対応していません。

プリンタドライバのセットアップ

- プリンタドライバのセットアップは「新しいハードウェアの追加ウィザード」から行います。「新しいハードウェアの追加」を検出しない場合は「プリンタの追加」からセットアップを行ってください。
- すでに古いバージョンの OKI MICROLINE 8720SE2 プリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタソフトウェア CD-ROM の Readme.txt には、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタソフトウェア CD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

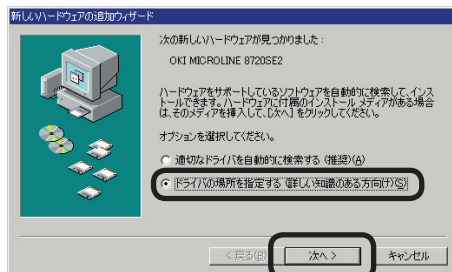
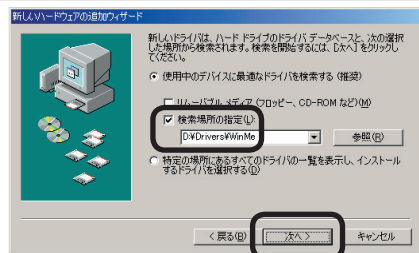
［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

- プリンタソフトウエア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。

『新しいハードウェアの追加ウィザード』からのセットアップ

❶ プリンタの電源を「ON」にします。

❷ WindowsMe を起動します。
すでに WindowsMe が起動している場合は再起動してください。

❸『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択して『次へ』をクリックします。

❹ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
D:¥Drivers¥WinMe

❺ プリンタドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

❻ テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

❼『完了』をクリックします。

❽ 追加したプリンタのアイコンが、「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

『プリンタの追加』からのセットアップ

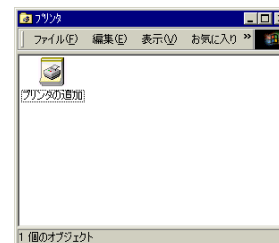
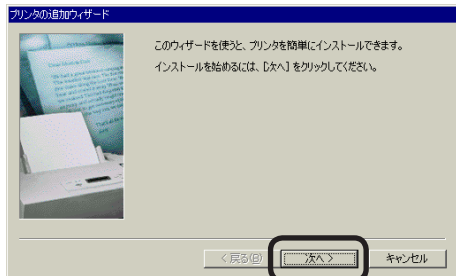
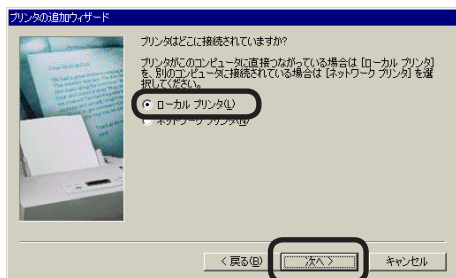
❶ プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。

❷ コンピュータの電源を ON にして、 WindowsMe を起動します。

❸『スタート』-『設定』-『プリンタ』を選択します。

❹『プリンタの追加』をダブルクリックします。

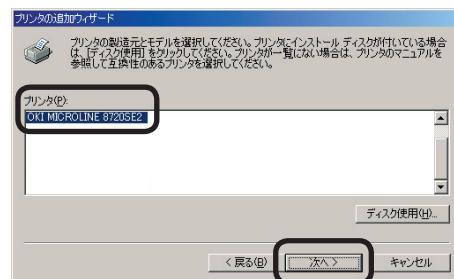
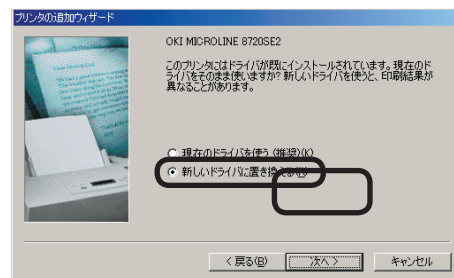
3

WindowsMe 環境で使用する

❺『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されますので、『次へ』をクリックします。

❻『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

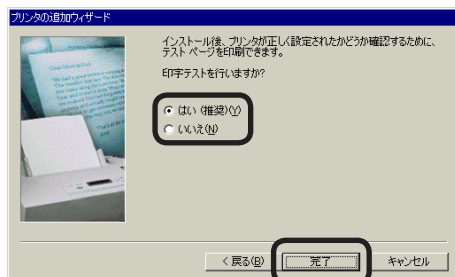
❼製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

❽プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に次のように入力し、『OK』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
D:¥Drivers¥WinMe

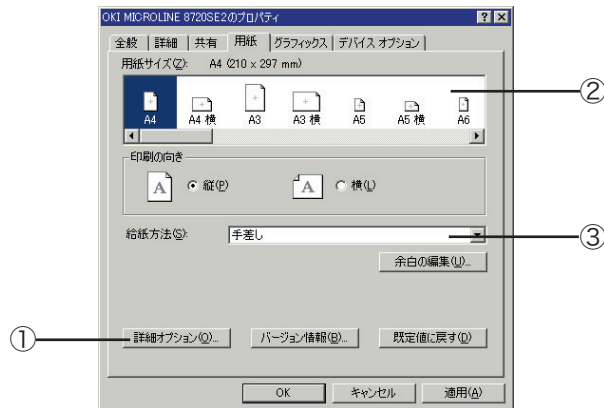
❾『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

❿『このプリンタにはドライバが既にインストールされています。』という画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓫『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓬『プリンタ名 :』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

⓭ テストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

⓮『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

印刷条件の設定

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定

①【詳細オプションダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

②用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

● 特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
● 用紙の長さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

● 複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

③給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- ダブルトラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。
● ダブルトラクタフィーダに切り替えるときは、プリンタで用紙セットが必要です。

デバイスオプションタブでの設定

④印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）：　片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：　両方向で高密度に印刷します。

印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕、〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の８種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕はそれぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は〔明朝〕の横２倍となります。４倍角（〔明朝〕の縦横２倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows98 環境で使用する

プリンタの設定

Windows98 から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、初期値に戻してください。
他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（116 ページ）を参照してください。

プリンタドライバの動作環境

Windows98 日本語版が動作するコンピュータで、IBM PC/AT 互換機，PC-9821 シリーズ（双方向パラレルインタフェース対応機のみ）

日本語版以外の OS には対応していません。

プリンタドライバのセットアップ

- プリンタドライバのセットアップは「新しいハードウェアの追加ウィザード」から行います。「新しいハードウェアの追加」を検出しない場合は「プリンタの追加」からセットアップを行ってください。
- すでに古いバージョンの OKI MICROLINE 8720SE2 プリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタソフトウェア CD-ROM の Readme.txt には、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタソフトウェア CD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
　Windows98 日本語版オペレーティングシステム（CD-ROM）

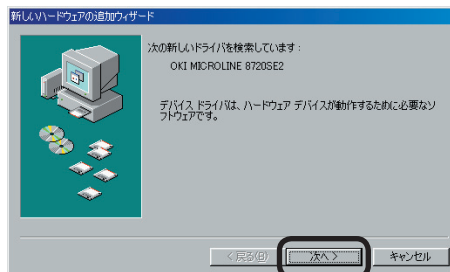
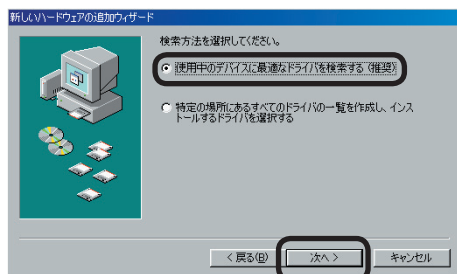
［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

- プリンタソフトウエア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。

『新しいハードウェアの追加ウィザード』からのセットアップ

❶ プリンタの電源を「ON」にします。

❷ Windows98 を起動します。
すでに Windows98 が起動している場合は再起動してください。

❸『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

❹『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択して『次へ』をクリックします。

❺プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
D:¥Drivers¥Win98

❻プリンタドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

❼『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

❽テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

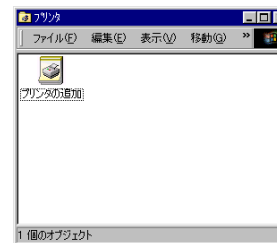
途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows98 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」（CD-ROM ドライブが D: の場合）と入力し、『OK』をクリックします。（Windows98 がプリインストールされた環境においては、CD-ROM の内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、『OK』をクリックします。）

❾『完了』をクリックします。

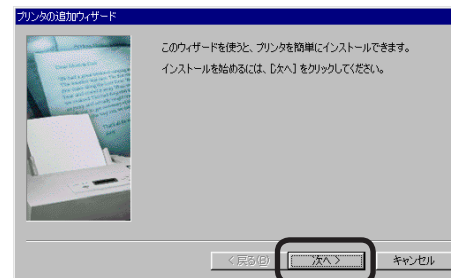
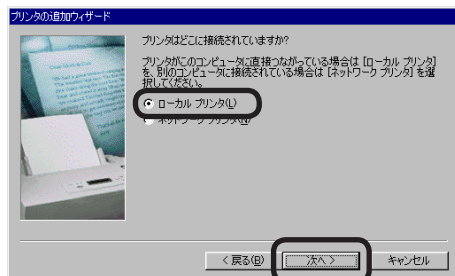
❿ 追加したプリンタのアイコンが、「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

『プリンタの追加』からのセットアップ

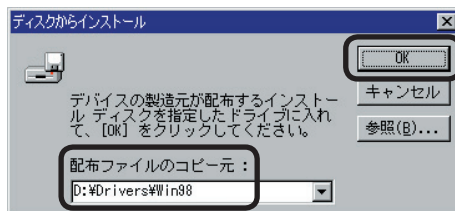
❶ プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。

❷ コンピュータの電源を ON にして、Windows98 を起動します。

❸『スタート』-『設定』-『プリンタ』を選択します。

❹『プリンタの追加』をダブルクリックします。

❺『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。

❻『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

❼ 製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

❽ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に次のように入力し、『OK』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
D:¥Drivers¥Win98

❾『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows98 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」(CD-ROM ドライブが D: の場合)と入力し、『OK』をクリックします。(Windows98 がプリインストールされた環境においては、CD-ROM の内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、『OK』をクリックします。)

❿『 このプリンタにはドライバが既にインストールされています。』という画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓫『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓬『プリンタ名:』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

⓭テストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し、『OK』をクリックします。(Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、『OK』をクリックします。)

⓮『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

プロパティの設定

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定

①【詳細設定ダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

②用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

- 特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
- 用紙の長さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

- 複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

③給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- ダブルトラクタフィーダ

- 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。
- ダブルトラクタフィーダに切り替えるときは、プリンタで用紙セットが必要です。

デバイスオプションタブでの設定

④印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）： 片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）： 両方向で高密度に印刷します。

印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕、〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の８種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕はそれぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は〔明朝〕の横２倍となります。４倍角（〔明朝〕の縦横２倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows95 環境で使用する

プリンタの設定

Windows95 から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。「設定を初期化する」（116 ページ）を参照してください。

プリンタドライバの動作環境

Windows 95 日本語版の動作するコンピュータで、IBM PC/AT 互換機、PC-9821 シリーズ（双方向パラレルインタフェース対応機のみ）

日本語版以外の OS には対応していません。

プリンタドライバのセットアップ

- プリンタドライバのセットアップは「新しいハードウェア」から行います。「新しいハードウェア」を検出しない場合は「プリンタの追加」からセットアップを行ってください。
- Windows95 のバージョンによってセットアップ手順、画面表示などが異なります。Windows95 のバージョンは「マイコンピュータ」アイコンを右ボタンでクリックし、「プロパティ」を選択すると表示されます。バージョンを確認の上、セットアップを行ってください。
- すでに古いバージョンの OKI MICROLINE 8720SE2 プリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタソフトウエア CD-ROM の Readme.txt には、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。

プリンタソフトウエア CD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

Windows95 日本語版オペレーティングシステム（CD-ROM もしくはフロッピーディスク）

[パラレルインタフェースケーブルを使用します]

- プリンタソフトウエア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェア』から行います。『新しいハードウェア』が検出されない場合は、『プリンタの追加』からセットアップしてください。

Windows95 のバージョンが 4.00.950 または 4.00.950 a の場合

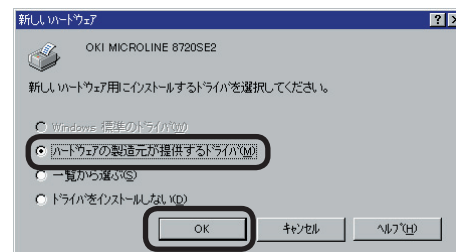
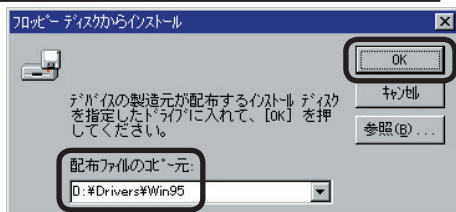
❶ プリンタの電源を「ON」にします。

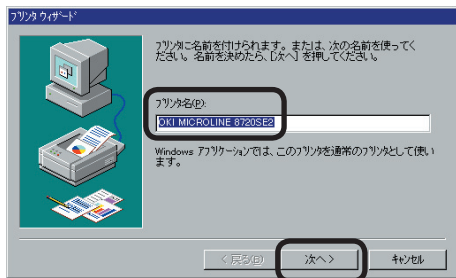
❷ Windows95 を起動します。
すでに Windows95 が起動している場合は再起動してください。

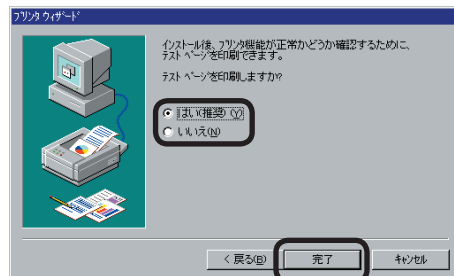
❸『新しいハードウェア』画面が表示されたら、『ハードウェアの製造元が提供するドライバ』を選択し、『OK』をクリックします。

『デバイスドライバウィザード』が表示された場合は「4.00.950B または 4.00.950C の場合」（71 ページ）の手順にしたがってください。

3

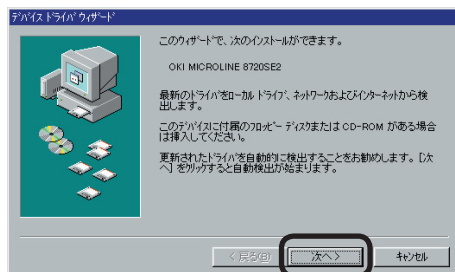
Windows95 環境で使用する

❹ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、『配布ファイルのコピー元：』に次のように入力し、『OK』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
D:¥Drivers¥Win95

❺『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

❻ テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows95 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥ Win95」(CD-ROM ドライブが D: の場合) と入力し、『OK』をクリックします。（オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク(Disk XX) をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、『OK』をクリックします。）

❼ 追加したプリンタのアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

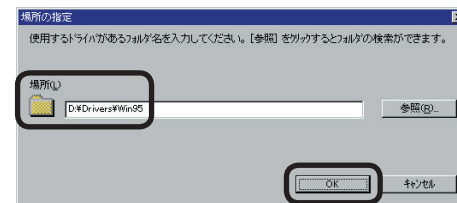
Windows95 のバージョンが 4.00.950B または 4.00.950C の場合

❶ プリンタの電源を『ON』にします。

❷ Windows95 を起動します。
すでに Windows95 が起動している場合は再起動してください。

❸『デバイスドライバウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

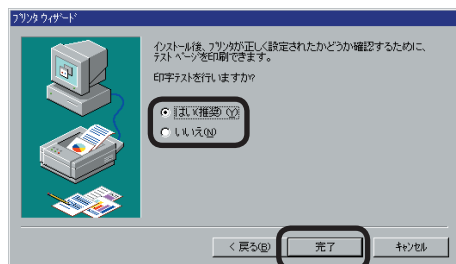
❹『場所の指定』をクリックします。

❺ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、「場所」に次のように入力して、『OK』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
D:¥Drivers¥Win95

❻ プリンタドライバが見つかったことを確認し、『完了』をクリックします。

❼『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

❽ テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、プリンタソフトウェア CD-ROM が CD-ROM ドライブへセットされていることを確認し、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Drivers¥Win95」（CD-ROM ドライブが D: の場合）と入力し、『OK』をクリックします。さらに『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows95 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥ Win95」（CD-ROM ドライブが D: の場合）と入力し、『OK』をクリックします。（オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク（Disk XX）をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、『OK』をクリックします。）

❾ 追加したプリンタのアイコンが、「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

『プリンタの追加』からのセットアップ

❶ プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。

❷ コンピュータの電源を ON にして、Windows95 を起動します。

❸『スタート』-『設定』-『プリンタ』を選択します。

❹『プリンタの追加』をダブルクリックします。

❺『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。

❻『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

❼ 製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

❽ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に次のように入力し、『OK』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
D:¥Drivers¥Win95

❾『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

❿『 このプリンタにはドライバが既にインストールされています。』という画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓫『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓬『プリンタ名:』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

⓭ テストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows95 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥ Win95」(CD-ROM ドライブが D: の場合)と入力し、『OK』をクリックします。(オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク(Disk XX)をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、『OK』をクリックします。)

⓮『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

プロパティの設定

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定

① 【詳細設定ダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

②用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

● 特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
● 用紙の長さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

● 複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

③給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- ダブルトラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。
● ダブルトラクタフィーダに切り替えるときは、プリンタで用紙セットが必要です。

デバイスオプションタブでの設定

④印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）：　片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：　両方向で高密度に印刷します。

印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕、〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の８種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕はそれぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は〔明朝〕の横２倍となります。４倍角（〔明朝〕の縦横２倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsNT4.0 環境で使用する

プリンタの設定

WindowsNT4.0 から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。

「設定を初期化する」（116 ページ）を参照してください。

プリンタドライバの動作環境

Windows NT Server4.0 日本語版もしくは WindowsNT Workstation4.0 日本語版の動作するコンピュータ

- 日本語版以外の OS には対応していません。
- ARC 互換 RISC ベースのプロセッサ（MIPS® シリーズ、Alpha、PowerPC ™など）のシステムには対応していません。

プリンタドライバのセットアップ

WindowsNT4.0 を起動した状態からのセットアップ手順を説明します。
セットアップには、次のものをご用意ください。

- プリンタソフトウェア CD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
- WindowsNT Server 4.0 日本語版もしくは WindowsNT Workstation4.0 日本語版オペレーティングシステム（CD-ROM）

- Administrator の権限でログインしてからセットアップしてください。
- すでに古いバージョンの OKI MICROLINE 8720SE2 プリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタソフトウェア CD-ROM の Readme.txt には、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

なお、説明の中では、DOS/V PC で WindowsNT Workstation4.0 日本語版を使用します。

[パラレルインタフェースケーブルを使用します]

- プリンタソフトウエア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウエア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- プリンタドライバのセットアップは『プリンタの追加』から行います。セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

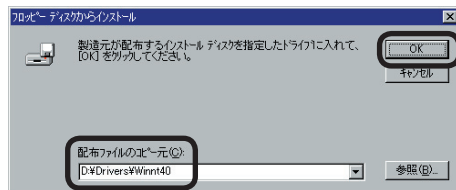
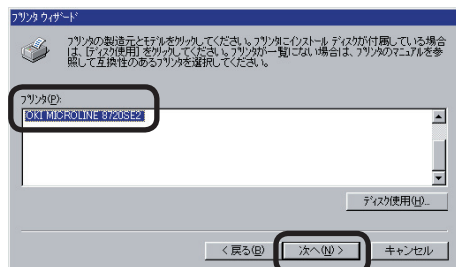
❶ プリンタウィザードを起動させます。
『マイコンピュータ』→『プリンタ』→『プリンタの追加』で起動します。

❷『このコンピュータ』をチェックし、『次へ』をクリックします。

❸ 接続ポートを選び、『次へ』をクリックします。

❹『ディスク使用』をクリックします。

❺ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、『配布ファイルのコピー元』を次のように入力し、『OK』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。 D:¥Drivers¥Winnt40

❻ プリンタの機種名を選びます。

❼ 引き続き、画面に表示される指示にしたがって、適切な項目を選びます。

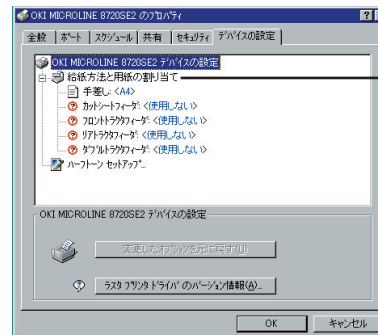
ファイルのコピーが開始されます。

途中で、『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROM ドライブに WindowsNT4.0 の CD-ROM をセットし、「コピー元」に、「D:¥i386」(CD-ROM ドライブが D: の場合)と入力し、『OK』をクリックします。

❽ 追加したプリンタのアイコンが、「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

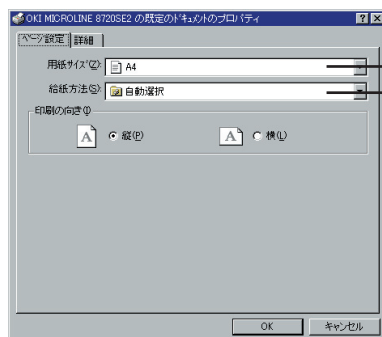
印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

ページ設定タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。
アプリケーションによっては、「ページ設定」タブでの設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- ダブルトラクタフィーダ
- 自動選択

● 「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。
● 給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。
● ダブルトラクタフィーダに切り替えるときは、プリンタで用紙セットが必要です。

詳細タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタのプロパティで表示されます。

用紙/出力

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）
  ：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）
  ：両方向で高密度に印刷します。

印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

❶『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『ファイル』-『サーバーのプロパティ』を選択します。

❷『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

●高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

❸作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕、〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の８種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕はそれぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は〔明朝〕の横２倍となります。４倍角（〔明朝〕の縦横２倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

DOS 環境で使用する

市販のアプリケーションソフトウェアのほとんどのものに、使用するプリンタを選択する項目があります。
印刷する前に、以下の優先順位に従って選択します。

優先順位	プリンタ名
1	MICROLINE 8720SE2
2	ESC/P 24-J84
3	VP-1000/3000
4	ESC/P 24-J83
5	VP135K/130K

- プリンタの選択方法は、それぞれのアプリケーションソフトウェアにより異なります。具体的な選択方法は、アプリケーションソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- アプリケーションソフトウェアによっては、正常に印字が行えない場合や、印字結果が異なる場合があります。
- アプリケーションソフトウェアによっては、本プリンタの機能の一部がサポートされていない場合があります。

封筒のご使用について

封筒はカットシートフィーダに対応しておりません。そのため、カットシートフィーダを使用して封筒を印刷させることはできません。
プリンタドライバにおいても封筒とカットシートフィーダの組み合わせは指定できないように開発を行っておりますが、各 OS の仕様により以下の動作となります。

- Windows95/98/Me のプリンタドライバ設定においては、カットシートフィーダと封筒を組み合わせて設定すると仕様外である旨の警告画面が表示されますので、封筒で印刷する場合は手差しに設定し直してください。
  警告を無視してカットシートフィーダと封筒を組み合わせて設定することも可能ですが、プリンタの仕様範囲外の印刷となりますので正常な印刷は保証できません。
- WindowsNT4.0 のプリンタドライバ設定においては、カットシートフィーダと封筒を組み合わせて指定することが可能ですが、プリンタの仕様範囲外の印刷となりますので正常な印刷は保証できません。
- Windows2000/XP/Server2003/Vista のプリンタドライバ設定においては、カットシートフィーダと封筒を組み合わせて指定することはできません。

4 用紙の取り扱い

〜いろいろな用紙をプリンタにセットします〜

単票をセットする

単票のセット

1 電源スイッチを「ON」にします。

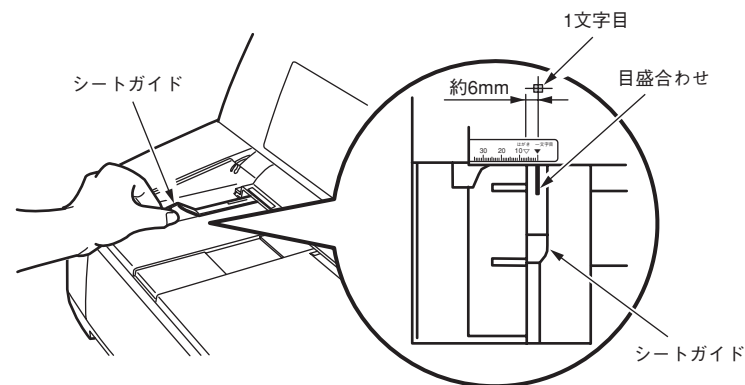
連続紙がセットされているときは、印字済みの用紙を切り取って退避させるか、排出してください。
詳細は、「連続紙の排出方法」（90 ページ）を参照してください。

2 オフライン状態で「用紙モード」スイッチを押して、" テサシ " にします。

オ	ン	ラ	イ	ン					ツ	ウ	シ	゛	ョ	ウ	
テ	サ	シ													

3 シートガイドを単票の左端位置にセットします。

- 目盛の「一文字目」の位置が 1 文字目の中心になります。
- 目盛上の「▽」の位置にすれば、用紙左端より約 6mm の位置から印字を開始します。
- 封筒を使用する場合、封筒のフラップ（ のり付け部）への印字を避けるため、フラップの大きさに合わせてシートガイドを調整してください。
- 書式の印刷をする場合は、シートガイドを右に突き当てて固定してください。

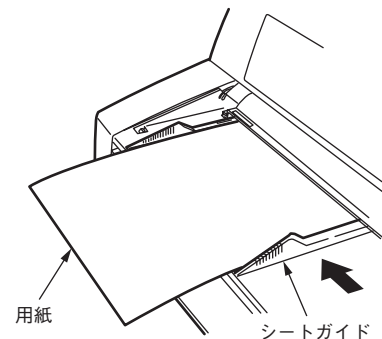
はがきを使用するとき、「▽」マークより左へ移動して使用すると、斜めに吸入される場合があります。

封筒を使用する場合、用紙厚の調整は必ずマニュアルギャップ調整で行ってください。「用紙の厚さに応じた調整方法」（93 ページ）を参照してください。

4 用紙は印字する面を表にして、左端をシートガイドに合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

単票が自動的に吸入されます。

- 複写紙など厚い紙の場合は、自動的に吸入されるまで奥に軽く突き当ててください。複写紙のテーブル排出も可能ですが、印字により用紙下端がカールし、排出時、折れやジャムが発生する場合があります。このような場合は、シートスタッカへ排出してください。
- 封筒はフラップ部を折り返さずに使用してください。
- 用紙が曲がってセットされた場合は、自動的に手前に排出され、斜行していることを表示します。再度セットし直してください。

シ	ャ	コ	ウ	シ	テ	イ	マ	ス							
サ	イ	セ	ッ	ト		シ	テ	ク	タ	゛	サ	イ			

- 右側のシートガイドを用紙幅に合わせるとセットしやすくなります。

- プリンタ後部のシートスタッカ容量は用紙厚にして 16mm 程度（連量 55kg 紙で 200 枚程度）です。印刷済みの用紙をシートスタッカにためすぎないでください。総紙厚が 16mm 程度になったら、たまった用紙を取り除いてください。用紙ジャムの原因になります。

単票の排出方法

単票がプリンタ内部に残っている場合は、次の手順で単票を排出します。

1「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

2「改頁」スイッチまたは「用紙ロード」スイッチを押します。

用紙が自動的に排出されます。

または

単票排出方向の切り替え

単票の排出方向を、テーブル側またはシートスタッカ側に切り替えられます。
単票手差しモード，自動給紙モードで別々に指定できます。

1「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

2「用紙ロード」スイッチを押します。

「排出方向」ランプが点灯している場合はテーブル側へ、消灯している場合はシートスタッカ側へ排出します。

- 電源スイッチを「OFF」にするとメニュー設定の排出方向の値に戻ります。恒久的に設定する場合は、メニュー設定を変更してください。
- 複写紙の場合は、シートスタッカ側へ排出してください。テーブル側への排出も可能ですが、印字により用紙下端がカールし、排出時折れやジャムが発生する場合があります。

連続紙をセットする

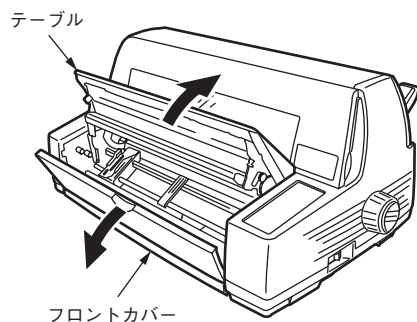
連続紙のセット

1 電源スイッチを「ON」にします。

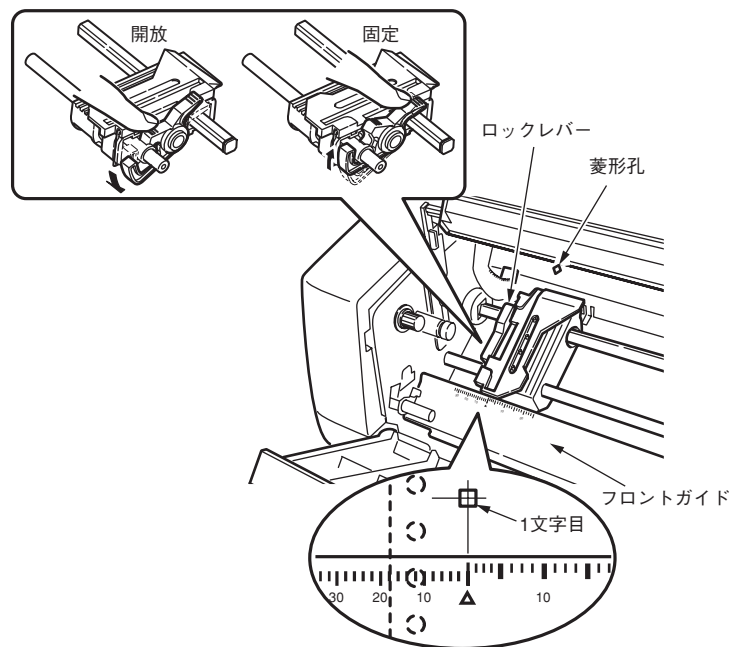
シートスタッカ上に単票が残っているときは、取り除きます。
連続紙送りの妨げになります。

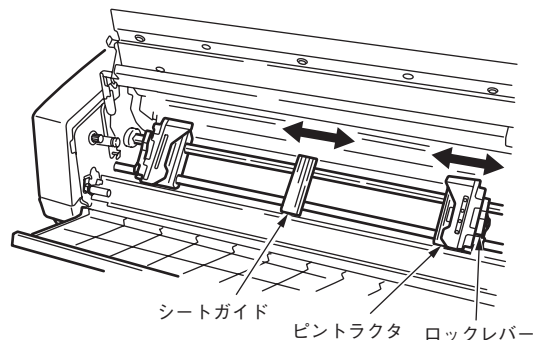
2 オフライン状態で「用紙モード」スイッチを押して " フロントトラクタ " を選択します。

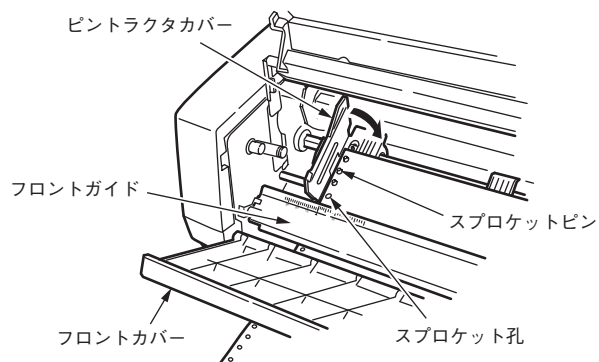
ヨウシ ナシ フロントトラクタ
ヨウシヲ セットシテクタ゛サイ

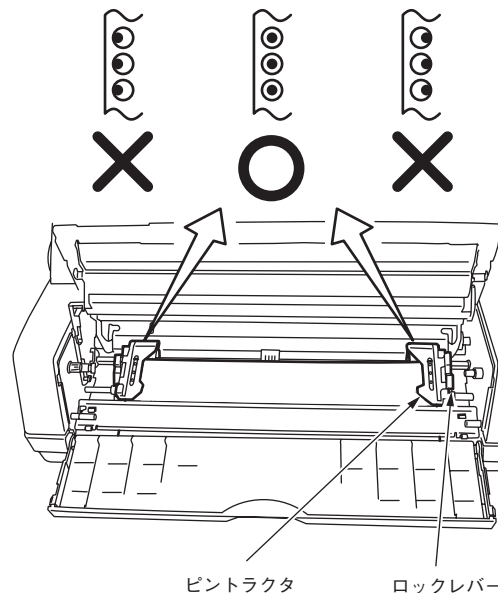
3 テーブルおよびフロントカバーを開きます。

注 ブザーが鳴ったときは、操作パネルのスイッチをどれか押すと止まります。

4 左側のピントラクタのロックレバーを開放し、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを固定します。

- 目盛上の「一文字目」の位置および菱形の孔の中心が、横方向の 1 文字目の中心になります。
- 書式の印刷をする場合、右端に突き当てます。

5 右側のピントラクタのロックレバーを開放し、連続紙の幅に合わせて移動します。

シートガイドは左右のピントラクタの中央に移動します。

6 左右のピントラクタカバーを開いて、連続紙をフロントカバーとフロントガイドの下から入れてセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

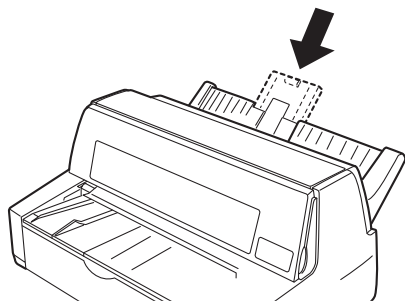
注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないように注意してください。

7 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを固定します。

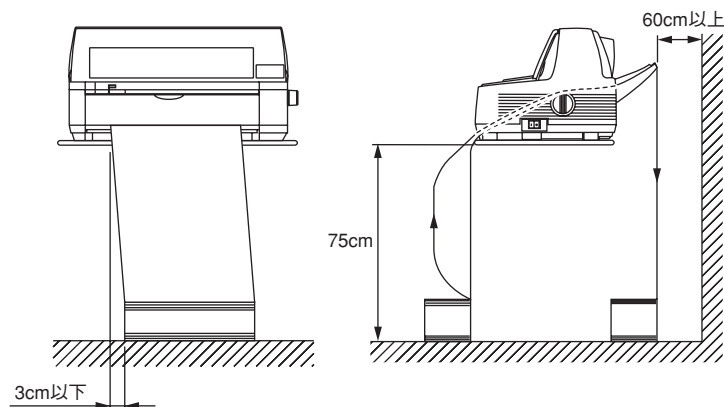
注 連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。

8 フロントカバーおよびテーブルを閉じ、「用紙ロード」スイッチを押します。

1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られ、「印字可」ランプが点灯します。

注

テーブルを閉じるときは、テーブルを上に持ち上げ左の支柱の青いつまみを押すと自動的に閉じます。
このとき、手で押し下げるなどの無理な操作を行わないでください。故障の原因となります。

連続紙を使用するときはシートスタッカのシートサポータを収納してください。用紙排出の妨げとなり、用紙ジャムなどの原因となります。

連続紙の置きかた

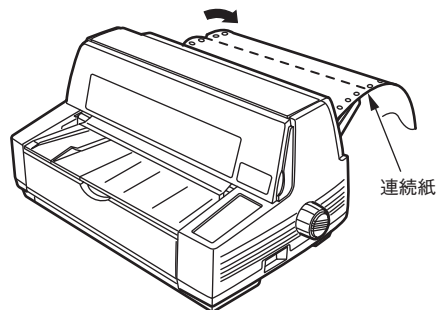
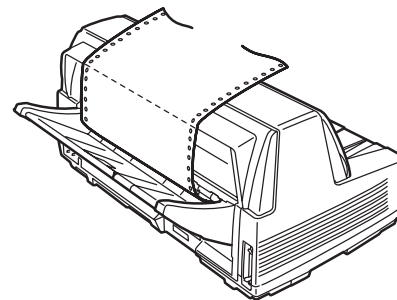
- プリンタを置く机の高さは、75cm を目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンタと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm 以下にしてください。
- プリンタの前部と机の縁を合わせてください。
- プリンタの後部は印字後の用紙スペース確保のため、壁から 60cm 以上離してください。
- インタフェースケーブルが用紙と干渉しないようにしてください。

連続紙の排出方法

印刷が終わった連続紙は、次の手順で排出します。

印刷済の連続紙を切り取るとき

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押します。

連続紙がシートスタッカ側に繰り出されます。

2 連続紙をミシン目から切り取ります。

リアカバーに沿わせて切り取ることもできますが、用紙の種類によっては切り取りにくい場合があります。

注 用紙の種類によってミシン目位置がカバーのカッター位置と合わない場合は「用紙のカット位置を補正する」（応用編）の手順で補正してください。

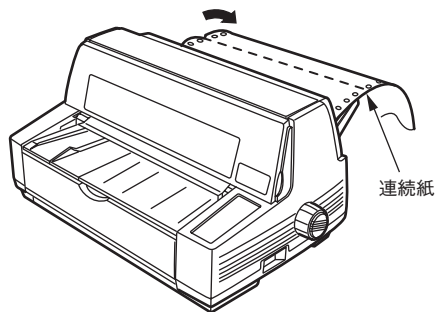
3 もう一度「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押します。

連続紙が元の位置に戻ります。

連続紙を外すとき

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押します。

連続紙がシートスタッカ側に繰り出されます。

2 連続紙をミシン目から切り取ります。

3 もう一度「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押します。

連続紙が元の位置に戻ります。

4 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

印字可ランプが消灯します。

5 「用紙ロード」スイッチを押します。

連続紙の先端がピントラクタまで後退します。

注

- 連続紙の後退量は最高 22 インチです。22 インチ後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
- 連続紙の後退動作は、2 回以上連続して行わないでください。連続して行うとジャムが発生する場合があります。

6 テーブルおよびフロントカバーを開きます。

7 ピントラクタカバーを開き、連続紙を外します。

注 ブザーが鳴ったときは、操作パネルのスイッチをどれか押すと、止まります。

8 ピントラクタカバーおよびテーブル，フロントカバーを元に戻します。

参考 ピントラクタの手前で連続紙のミシン目を切り取った場合は、残りの連続紙はオフライン状態で「改頁」スイッチを押して排出してください。

単票と連続紙の切り替え

単票から連続紙への切り替え

1 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

2 「用紙モード」スイッチを押し、切り替えたい用紙モードを表示させます。

約２秒後に用紙モードを切り替えます。

ヨ	ウ	シ	モ	ー	ト	゛		シ	テ	イ					
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ								

単票がセットされている場合は、自動的に排出します。
連続紙がピントラクタにセットされている場合は、１行目印字位置まで自動的に送られます。

連続紙から単票への切り替え

1 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

2 「用紙モード」スイッチを押し、切り替えたい用紙モードを表示させます。

約２秒後に用紙モードを切り替えます。

ヨ	ウ	シ	モ	ー	ト	゛		シ	テ	イ					
テ	サ	シ													

連続紙がセットされている場合は、自動的にピントラクタまで後退します。プリンタハードウェア設定モードの「バイタイ　キリカエドウサ」を「カットオクリ　アリ」にすると、印刷済みの連続紙がプリンタに残っている場合は連続紙をカット位置まで送ります。連続紙をミシン目から切り取ったあと「用紙ロード」スイッチを押して、連続紙をピントラクタまで後退させます。

用紙の厚さに応じた調整方法

このプリンタは、セットされた用紙の厚さを自動的に測定して最適な印字圧に調整するオートギャップ調整機能（自動紙厚調整）を備えていますが、封筒などの用紙の厚さが一様でない用紙を使用する場合、この機能が十分働きません。
特殊な用紙を使用する場合は、マニュアルギャップ調整（手動紙厚調整）を行ってください。
マニュアルギャップ調整は操作パネルでレンジの設定をする他、用紙モード（単票手差しモード，自動給紙モード，フロントトラクタモード，リアトラクタモード，ダブルトラクタモード）で別々にメニューで設定できます。

注 マニュアルギャップ調整は、プリンタの電源スイッチを「OFF」にするとメニュー設定の値に戻ります。恒久的に設定する場合はメニュー設定を変更してください。

1 オフライン状態で「用紙モード」スイッチを押して、マニュアルギャップ調整を行う用紙モードを選択します。

2 「印字可」スイッチを押してオフラインにします。

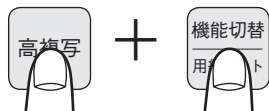
3 次の表から使用する用紙の厚い部分の「レンジ値」を選びます。

用紙種類			レンジ値												
			1	2	3	4	5	6	7	8	A	B	C	D	E
単紙	連量 45～70kg（52～81g/m²）		○												
単紙	連量 70～110kg（81～128g/m²）			○											
単紙	連量 110～135kg（128～156g/m²）				○										
単紙	はがき					○									
複写紙	連量 34kg（40g/m²）の感圧紙	2枚		○											
複写紙		3枚			○										
複写紙		4枚				○									
複写紙		5枚					○								
複写紙		6枚						○							
複写紙		7枚							○						
複写紙		8枚								○					
用紙全体の厚さ(mm)			0.06～0.10	0.10～0.15	0.15～0.20	0.20～0.25	0.25～0.30	0.30～0.35	0.35～0.40	0.40～0.45	0.45～0.50	0.50～0.55	0.55～0.60	0.60～0.65	0.65～0.70

一般的なコピー紙（連量 55kg の場合）の用紙厚さは約 0.08mm です。
郵便はがき（連量 163kg 相当の場合）の用紙厚さは約 0.23mm です。

- 用紙の厚さと異なったレンジ値で使用した場合、用紙送りおよび印字ヘッドに不具合を生じるおそれがあります。
- 通常印字モードではレンジ 6（用紙厚さ 0.36mm）まで、高複写印字モードではレンジ 8（用紙厚さ 0.48mm）まで設定できます。
- レンジ A ～ E も設定できますが、複写紙の印字品位が低下し、文字が判読できない場合があります。

4 「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押しながら「高複写」スイッチを押し、設定したいレンジ値を表示します。

「高複写」スイッチを押すたびにレンジ値が変わります。

キ	゛	ャ	ッ	フ	゜		セ	ッ	テ	イ					
マ	ニ	ュ	ア	ル		3	レ	ン	シ	゛					

設定が終了すると表示パネルにレンジ値が表示されます。

オ	フ	ラ	イ	ン					ツ	ウ	シ	゛	ョ	ウ	
テ	サ	シ									レ	ン	シ	゛	3

参考

「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押しながら「高複写」スイッチを押したときのレンジ値の変更は、以下のようになります。

1 回目　　パネル表示「マニュアルギャップ　○レンジ」
　　　　　（○は現在の設定レンジ）

ここでスイッチを離した場合、設定の変更はしません。

2 回目　　「オート」（自動紙厚調整）
3 回目　　メニュー○○（○○はメニューの設定値）
4 回目　　現在の設定レンジに 1 レンジ追加されます。

以下、レンジ値は昇順します。レンジ値は順送りのみです。
1 → 2 → 3・・・D → E →オート→ 1 → 2

- マニュアルギャップの設定は、プリンタの電源スイッチを「OFF」にした場合や、IPRIME 信号の受信，メニュー設定終了時にメニュー設定の値に戻ります。恒久的に設定する場合はメニュー設定を変更してください。
- セットされた用紙の厚さに対してマニュアルギャップの設定が狭い場合は、

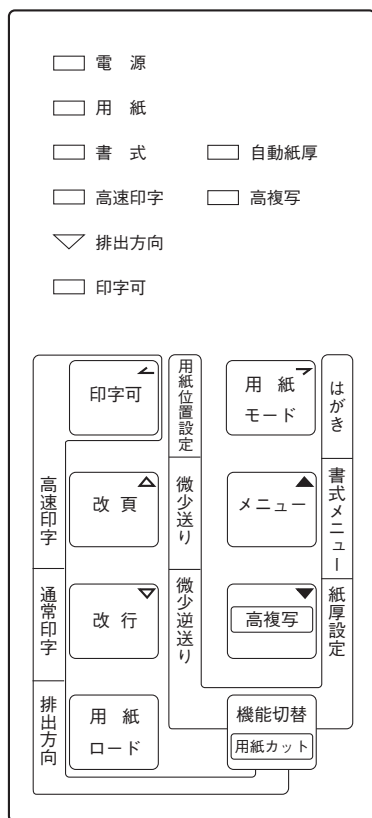
M	G	セ	ッ	テ	イ		ア	ラ	ー	ム					
サ	イ	セ	ッ	ト		シ	テ	ク	タ	゛	サ	イ			

と表示する場合があります。もう一度設定をやり直してください。

4
用紙の厚さに応じた調整方法

5 プリンタをより活用するために

～プリンタ設定の変更方法～

操作パネルの使い方

スイッチの機能

印字可スイッチ

印字可

◆オンラインのとき
- オフラインにします。

◆オフラインのとき
- オンラインにします。
- アラームを解除します。

改頁スイッチ

改 頁

◆オンラインのとき
- 高速印字モードに設定します。

高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、通常印字に比べ文字が薄く見えます。

◆オフラインのとき
- 連続紙モードのとき
  次のページの１行目まで連続紙を送ります。
- 単票モードのとき
  単票を排出します。

改行スイッチ

改 行

◆オンラインのとき
- 通常印字モードに設定します。

◆オフラインのとき
- １行改行します。押し続けると連続で改行します。

用紙ロードスイッチ

◆オンラインのとき

- 単票モードのときの排出方向を切り替えます。
  排出方向は、単票手差しモードと自動給紙モードで別々に設定できます。

◆オフラインのとき

- フロントトラクタモード，リアトラクタモードのとき
  ピントラクタに連続紙をセットしてから押すと、1 行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。
  連続紙がセットされているときは、ピントラクタの位置まで連続紙を後退させます。
- ダブルトラクタモードのとき
  連続紙がセットされているときは、フロントトラクタのピントラクタの位置まで連続紙を後退させます。

連続紙の後退量は、最大 22 インチです。22 インチ後退しても用紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
連続紙の後退動作は、2 回以上連続で行わないでください。
連続で行うと用紙ジャムになる場合があります。

- 単票手差しモードのとき
  単票がセットされていないときに押すと、無効です。
  単票がセットされているときに押すと、用紙を排出します。テーブル側排出設定の場合は、単票抜き取り待ち状態になります。
- 自動給紙モードのとき
  単票がセットされていないときに押すと、自動的に次の用紙がセットされます。
  単票がセットされているときに押すと、単票が排出されます。
- メニューモードのとき
  現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

設定終了後、プリンタはイニシャル動作を行います。イニシャル動作中は電源 OFF しないでください。

用紙モードスイッチ

◆オンラインのとき

- 無効です。

◆オフラインのとき

- 単票手差しモード，自動給紙モード，フロントトラクタモード，リアトラクタモード，ダブルトラクタモードを切り替えます。

メニュースイッチ

◆オンラインのとき

- 無効です。

◆オフラインのとき

- メニュー設定モードになります。

高複写スイッチ

◆オンラインのとき

- 高複写印字モードに設定します。

◆オフラインのとき

- 無効です。

機能切替 / 用紙カットスイッチ

◆オンラインのとき

- フロントトラクタモード，リアトラクタモードのとき
  連続紙を用紙カット位置まで送ります。再押下またはデータを受信すると、もとの位置に戻ります。
- ダブルトラクタモードのとき
  連続紙を次のページの 1 行目まで送ります。
- 単票手差しモード，自動給紙モードのとき
  無効です。

◆オフラインのとき

- このスイッチを押しながら他のスイッチを押すことにより、スイッチの機能を変えることができます。

機能切替 / 用紙カットスイッチ + 印字可スイッチ

〔用紙位置設定〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされていないときに押すと、1 文字目印字位置設定モードになります。

- 書式モード中は無効です。
- ダブルトラクタモードでは TOF 位置設定機能となります。

機能切替 / 用紙カットスイッチ + 改頁スイッチ

〔微少送り〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされているときに、順方向に微少送りを行います。

機能切替 / 用紙カットスイッチ + 改行スイッチ

〔微少逆送り〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされているときに、逆方向に微少送りを行います。

用紙の逆送り量は累計で 1/3 インチ以内にしてください。印字ズレの原因となります。

参考

微少送り，微少逆送りのピッチは、1/180 インチです。また、スイッチを押し続けると、連続的に送ります。

機能切替 / 用紙カットスイッチ + 高複写スイッチ

〔紙厚設定〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- ギャップ調整モードに入ります。
  スイッチを押下し続けるとオートギャップ，マニュアルギャップの選択値が変化していきます。設定はスイッチから手をはなした時点で選択していたギャップ設定となります。

機能切替 / 用紙カットスイッチ + メニュースイッチ

〔書式メニュー〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 書式メニュー設定モードになります。

機能切替 / 用紙カットスイッチ + 用紙モードスイッチ

〔はがき〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 単票モードのとき、はがきモードの設定／解除を切り替えます。
  はがきモード時は 1 行目印字位置の中心がはがき先端から 11.5mm に設定されます。
  はがきモード時は表示パネルの下段に「×××　ハガキ」（×××はテサシ　または CSF）と表示されます。

書式モード中は無効です。

ランプの表示機能

■電　源（緑）点灯：電源が入っている
消灯：電源が切れている

■用　紙（赤）点灯：
- ペーパエンド状態
- 用紙カット位置の補正の限界状態時
- 用紙頭出し位置の補正の限界状態時
- 用紙ジャムアラーム状態

消灯：給紙済み状態
点滅：
- 単票抜き取り待ち状態
- トラクタ切替えレバーアラーム状態
- 復旧不可能アラーム状態（「書式」ランプと共に点滅）
- 用紙カット位置補正中
- 用紙頭出し位置補正中
- カバーオープンアラーム／テーブルオープンアラーム（「印字可」ランプと共に点滅）

■書　式（緑）点灯：書式モード
消灯：書式モード解除
点滅：復旧不可能アラーム状態（「用紙」ランプと共に点滅）

■高速印字（緑）点灯：高速印字モード
消灯：通常印字モードまたは高複写印字モード

▼ 排出方向（緑）点灯：テーブルへ単票を排出する
消灯：スタッカへ単票を排出する

■印字可（緑）点灯：オンライン（印字可）
消灯：オフライン（印字不可）
点滅：
- メニュー設定中
- カバーオープンアラーム／テーブルオープンアラーム（「用紙」ランプと共に点滅）
- データ／動作保持アラーム

■自動紙厚（緑）点灯：オートギャップモード
消灯：マニュアルギャップモード
点滅：マニュアルギャップ設定アラーム状態

■高複写（緑）点灯：高複写印字モード
消灯：通常印字モードまたは高速印字モード

表示パネル

表示パネルには、プリンタの状態やアラームの表示およびプリンタのメニュー設定の内容が表示されます。
アラームの表示については「アラーム表示がでたときは」（応用編）で、その他の表示については、プリンタの操作説明の中で必要に応じて説明しています。

ブザー

ブザーはプリンタがアラーム状態のときに鳴ります。
ブザーが鳴ったときは、操作パネルのスイッチをどれか押すと止まります。

プリンタのメニュー設定

プリンタで設定できる内容と変更方法について説明します。

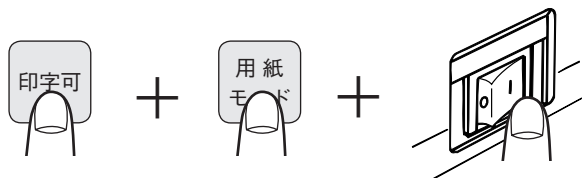
現在の設定を確認する

メニュー設定内容の印字には、A4 サイズ以上の単票の縦置き 2 枚、または 10 インチ幅以上の連続紙を使用します。
ここでは、A4 サイズの単票を使用する場合を例にとって、現在の設定の確認方法を説明します。プリンタはあらかじめ単票手差しモードにしておきます。
詳細は「単票と連続紙の切り替え」（92 ページ）を参照してください。

「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータ上から設定を確認することもできます。
詳しくは、「1 章　Windows ソフトウェア」（応用編）をご覧ください。

1 電源スイッチを「OFF」にします。

2 「印字可」+「用紙モード」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」にします。

表示パネルに「イニシャル　ショリチュウ／スイッチヲニンシキシマシタ」と表示したらスイッチから指を離します。

3 テーブルに単票をセットします。

単票を自動的に吸入し、プリンタのメニューで設定されている全ての項目と設定値が印字されます。
1 枚目の単票が排出されたら、2 枚目をセットしてください。用紙を吸入して続きを印刷します。

メニューの機能設定メニューには以下の 9 モードがあります。

1. コマンド機能設定
2. 印字モード設定
3. プリンタハードウェア設定
4. 用紙選択モード
5. 単票手差しモード設定
6. CSF モード設定
7. フロントトラクタモード設定
8. リアトラクタモード設定
9. ダブルトラクタモード

※受信バッファ使用時において、受信バッファにデータが残っているときは、メニューの起動はできません。

表示パネルに以下のように表示されます。

イ	ン	シ	゛	テ	゛	ー	タ		カ	゛		ア	リ	マ	ス
オ	ン	ラ	イ	ン		ニ		シ	テ	ク	タ	゛	サ	イ	

コマンド機能設定

コントロールコマンドの機能や対応コード表などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. 印字可 を押し、オフラインにします。
2. メニュー を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. 改頁 または 改行 を押して、項目を選びます。
4. 印字可 または 用紙モード を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は３へ、別のモードをセットする場合は メニュー を押します。
5. 設定を終了する場合は、用紙ロード を押します。

現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータから設定を変更することもできます。
詳しくは、「1 章　Windows ソフトウェア」（応用編）をご覧ください。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
1	ANK　コードヒョウ	グラフィック　コード カタカナ　コード	ANK文字コード表の拡張グラフィックス/カタカナコードを設定します。
2	ANK　モジヒンイ	LQ　ANK ドラフト　ANK	ANK文字の文字品位を選択します。
3	CR　キノウ	フッキ　ノミ フッキ＋カイギョウ	CRコードの機能を、復帰のみか復帰改行するか選択します。
4	ゼロフォント	0 Ø	30H ANKコード受信時の印字フォントパターンを選択します。
5	ANKフォント	クーリエ ローマン サンセリフ OCR-B	ANK書体を選択します。
6	DC1/DC3	ムコウ ユウコウ	DC1とDC3コードの有効／無効を選択します。
7	FF　キノウ	ハイシュツ カイページ	単票手差しモード時のFFコード機能を選択します。
8	タンピョウ　ボトム	ジドウ　ハイシュツ FFコード	単票手差しモードおよび自動給紙モードでのボトム検出時の排出条件を選択します。

印字モード設定

プリンタの印字動作を選択できます。
以下の手順で設定します。

1. 印字可 を押し、オフラインにします。
2. メニュー を押します。
表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. メニュー または 高複写 を押して、「インジ　モード　セッテイ」を表示させます。
4. 改頁 または 改行 を押して、項目を選びます。
5. 印字可 または 用紙モード を押して、設定値を選びます。
引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、用紙ロード を押します。

現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータから設定を変更することもできます。
詳しくは、「1 章　Windows ソフトウェア」（応用編）をご覧ください。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
1	タテカクダイ　インジ	リョウホウコウ　インジ カタホウコウ　インジ	縦拡大印字時の印字方向を選択します。
2	イメージ　インジ　ホウコウ	リョウホウコウ　インジ カタホウコウ　インジ	イメージ印字時の印字方向を選択します。
3	テイシンドウ　モード	ムコウ ユウコウ	印字の振動を抑える低振動モードの有効／無効を選択します。
4	PowOnカンジモード	セッテイ カイジョ	電源投入時の漢字モード設定／解除を選択します。
5	コウフクシャ　インジ	ムコウ ユウコウ	電源投入時の高複写印字モードの有効／無効を選択します。

両方向印字の場合、縦罫線のずれが0.3mm程度発生することがあります。

プリンタハードウェア設定

インタフェースなどが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. 印字可 を押し、オフラインにします。
2. メニュー を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. メニュー または 高複写 を押して、「ハードウェア　セッテイ」を表示させます。
4. 改頁 または 改行 を押して、項目を選びます。
5. 印字可 または 用紙モード を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、用紙ロード を押します。

現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータから設定を変更することもできます。
詳しくは、「1 章　Windows ソフトウェア」（応用編）をご覧ください。

網かけ部は初期値

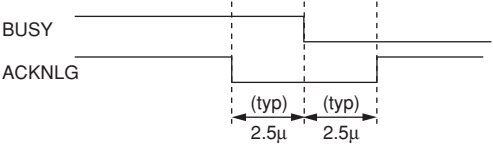
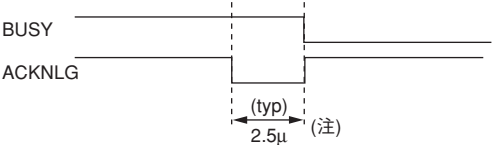
項番	項　目	設定値	機　能
1	ジュシン　バッファ	シヨウ　スル シヨウ　シナイ	受信バッファ(64K)を使用するか、しないか選択します。
2	バイタイ　キリカエドウサ	カットオクリ　ナシ カットオクリ　アリ	フロント／リアトラクタで連続紙がセットされているときに用紙モードを切り替えた場合、連続紙をカット位置まで送る動作(カットオクリ)を行うか、行わないか選択します。
3	カール　ナラシドウサ	ムコウ ユウコウ	単票吸入時、または改行時の単票先端ならし動作の実行を選択します。
4	チョウヒョウ　オクリソクド	ツウジョウ テイソク	連続紙モード時の改行速度を選択します。
5	リボンマスク　ホゴ	ムコウ ユウコウ	リボンプロテクタの孔が改行時に損傷するのを保護する機能の有効／無効を選択します。
6	ソウホウコウI／F	ムコウ ユウコウ	双方向インタフェースの有効／無効を選択します。
7	AUTO　FEED　XT	ムコウ ユウコウ	AUTO FEED XT信号の有効／無効を設定します。
8	I／F　センタク	パラレル オプション ジドウ	使用するインタフェースを自動で切り替えるかパラレルにするかネットワーク(オプション)にするかを選択します。
9	I／F　タイムアウト	15 s 30 s 45 s 1 min 2 min 3 min 4 min 5 min	I/Fセンタクが「ジドウ」のとき、最後のデータを受信してからインタフェースが「ジドウ」状態になるまでの時間を設定します。

5 プリンタのメニュー設定

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
10	I／F　タイミング ✎	A-B-A A-B	インタフェースのACK/BUSY信号のタイミングを選択します。
11	ブザー	ユウコウ ムコウ	ブザー鳴動の有効/無効を設定します。
12	レンゾク　I-PRIME	ユウコウ ムコウ	I-PRIME信号をデータ受信やスイッチ操作がない状態で連続的に受信した場合の処理を選択します。

✎ I／Fタイミングの“A-B-A”と“A-B”の意味は、下図によります。

「A-B-A」の場合、I/F信号ACKNLG, BUSYの関係は以下のとおりです。

「A-B」の場合、I/F信号ACKNLG, BUSYの関係は以下のとおりです。

（注）BUSY OFFとACK OFFのタイミングの差はMIN 0secです。

用紙選択モード

使用する用紙サイズや印字幅などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. 印字可 を押し、オフラインにします。
2. メニュー を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. メニュー または 高複写 を押して、「ヨウシ　センタク　モード」を表示させます。
4. 改頁 または 改行 を押して、項目を選びます。
5. 印字可 または 用紙モード を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、用紙ロード を押します。

現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータから設定を変更することもできます。
詳しくは、「1 章　Windows ソフトウェア」（応用編）をご覧ください。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
1	ページチョウ　モード	センタク　モード ギョウスウ　モード	ページ長を設定するモードを選択します。
2	ページチョウ　センタク	279.4mm　(11") 304.8mm　(12") 55.9mm　(2 1/5") 69.9mm　(2 3/4") 82.6mm　(3 1/4") 101.6mm　(4") 209.6mm　(8 1/4")	ページ長を選択します。 項番1「ページチョウ　モード」で「センタク　モード」を選択した場合に本設定が有効となります。
3	ページチョウ　ギョウスウ ✎	1　(4.2mm) 2　(8.5mm) : 66　(279.4mm) : 399　(1689.1mm) 400　(1693.3mm)	ページ長を行数単位で選択します。行数は4.23mm (6LPI) 単位です。1〜400行まで設定可能です。 項番1「ページチョウ　モード」で「ギョウスウ　モード」を選択した場合に本設定が有効となります。
4	ミシンメ　スキップ ✎✎	ナシ 25.4mm　(1")	連続紙のミシン目スキップ長を選択します。
5	ジドウハイシュツ　イチ	3.18mm　(1/8") ✎✎✎ 6.35mm　(1/4") 14.82mm (7/12")	単票の排出検出位置(用紙下端から文字中心までの距離)を選択します。
6	カミハバ　セイギョ	ムコウ サクジョ	紙幅センサで検出した用紙幅を越える印字データの処理を選択します。
7	インジ　ハバ	80ケタ 106ケタ 132ケタ 136ケタ	1行の最大印字桁を選択します。

✎ 「ページチョウ　ギョウスウ」選択中は、「印字可」または「用紙モード」スイッチを押下し続けると、連続的に設定値が更新されます。そのまま押下し続けると設定値の更新速度が上がります。
また「機能切替」＋「印字可」スイッチを押下すると、設定値が50の倍数で更新されます。

✎✎ ページ長を25.4mm以下に設定した場合、「ミシンメ　スキップ」を「25.4mm(1")」に設定しても、ミシン目スキップは0mmが設定されます。

✎✎✎ 3.18mm(1/8")に設定はできますが、印字品質は保証されません。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

単票手差しモード設定

単票手差しモードでの用紙の頭出し位置や紙厚などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. 印字可 を押し、オフラインにします。
2. メニュー を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. メニュー または 高複写 を押して、「テサシモード　セッテイ」を表示させます。
4. 改頁 または 改行 を押して、項目を選びます。
5. 印字可 または 用紙モード を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、用紙ロード を押します。

現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータから設定を確認することもできます。
詳しくは、「1 章　Windows ソフトウェア」（応用編）をご覧ください。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
1	テサシ　TOF　イチ	2.12mm (1/12")（注） 6.35mm (1/4") 7.62mm (3/10") 8.47mm (1/3") 10.58mm (5/12") 23.28mm (11/12") 25.4mm (1") 27.52mm (13/12") ユーザーシテイ　イチ	単票手差しモード時の頭出し基準位置を選択します。（第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字の先端まで。） 「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。
2	キュウシ　WAIT　TIME	2.0 s 1.0 s 0.5 s	単票をテーブルにセットしてから吸入するまでの時間を選択します。
3	テサシ　キュウシ　ソクド	ツウジョウ テイソク	単票手差しモード時の給紙速度を選択します。
4	テサシ　スキュー　ケンシュツ	ムコウ ユウコウ	単票手差しモード時の斜行検出の有効／無効を選択します。
5	タンヨウシ　ケンシュツ	ムコウ ユウコウ	用紙長が66mm以下の短い用紙が挿入されたときのエラー表示の有効／無効を選択します。
6	テサシ　ハイシュツ　ホウコウ	テーブル スタッカ	単票手差しモード時の用紙排出方向を選択します。

（注）2.12mm(1/12")に設定はできますが、印字品質は保証されません。また、用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ、折れや紙づまりが発生する場合があります。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
7	テサシ　PE　イチ　ホセイ	-10 (-2.82mm) - 9 (-2.54mm) - 8 (-2.26mm) - 7 (-1.97mm) - 6 (-1.69mm) - 5 (-1.41mm) - 4 (-1.13mm) - 3 (-0.85mm) - 2 (-0.56mm) - 1 (-0.28mm) 0 (0mm) + 1 (+0.28mm) + 2 (+0.56mm) + 3 (+0.85mm) + 4 (+1.13mm) + 5 (+1.41mm) + 6 (+1.69mm) + 7 (+1.97mm) + 8 (+2.26mm) + 9 (+2.54mm) +10 (+2.82mm)	単票手差しモード時の用紙選択モードの「ジドウハイシュツ　イチ」に対する補正値を選択します。(1/90インチ単位) 調整位置の基準は用紙下端から6.35mm(初期値)です。
8	テサシ　PAPER　END	PE　シュツリョク　ナシ PE　シュツリョク　アリ	単票手差しモードで用紙終了を検出した場合のペーパーエンド(未給紙状態)出力を選択します。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
9	テサシ　カミアツセンタク	オート マニュアル　1レンジ マニュアル　2レンジ マニュアル　3レンジ マニュアル　4レンジ マニュアル　5レンジ マニュアル　6レンジ マニュアル　7レンジ マニュアル　8レンジ マニュアル　Aレンジ マニュアル　Bレンジ マニュアル　Cレンジ マニュアル　Dレンジ マニュアル　Eレンジ	単票手差しモード時の紙厚調整方法およびレンジを選択します。
10	テサシ　カミアツイチ	45mm　(1.8") 101.6mm (4")	単票手差しモード時のオートギャップ動作を行う位置を選択します。(左端からの位置)
11	テサシ　1モジメ　ホセイ	ミギ　7 ミギ　6 ミギ　5 ミギ　4 ミギ　3 ミギ　2 ミギ　1 0 ヒダリ1 ヒダリ2 ヒダリ3 ヒダリ4 ヒダリ5 ヒダリ6 ヒダリ7	単票手差しモード時の1文字目印字開始位置の補正値を選択します。(1/90インチ単位)

- 頭出し位置は用紙の種類によって±2mm程度の誤差が生じることがあります。設定値［初期値6.35mm（1/4インチ)］に合わせる場合は、頭出し位置補正（応用編）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に55kg紙媒体にて適正値に調整してあります。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

CSF モード設定

自動給紙モードでの用紙の頭出し位置や紙厚などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. 印字可 を押し、オフラインにします。
2. メニュー を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. メニュー または 高複写 を押して、「CSF　モード　セッテイ」を表示させます。
4. 改頁 または 改行 を押して、項目を選びます。
5. 印字可 または 用紙モード を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、用紙ロード を押します。

現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータから設定を変更することもできます。
詳しくは、「1 章　Windows ソフトウェア」（応用編）をご覧ください。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
1	CSF　TOF　イチ	2.12mm (1/12") 6.35mm (1/4") 7.62mm (3/10") 8.47mm (1/3") 10.58mm (5/12") 23.28mm (11/12") 25.4mm (1") 27.52mm (13/12") ユーザーシテイ　イチ	自動給紙モード時の頭出し基準位置を選択します。 (第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字の先端まで。) 「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。
2	CSF　スキュー　ケンシュツ	ムコウ ユウコウ	自動給紙モード時の斜行検出の有効／無効を選択します。
3	CSF　ハイシュツ　ホウコウ	スタッカ テーブル	自動給紙モード時の用紙排出方向を選択します。
4	CSF　PE　イチ　ホセイ	-10 (-2.82mm) - 9 (-2.54mm) - 8 (-2.26mm) - 7 (-1.97mm) - 6 (-1.69mm) - 5 (-1.41mm) - 4 (-1.13mm) - 3 (-0.85mm) - 2 (-0.56mm) - 1 (-0.28mm) 0 (0mm) + 1 (+0.28mm) + 2 (+0.56mm) + 3 (+0.85mm) + 4 (+1.13mm) + 5 (+1.41mm) + 6 (+1.69mm) + 7 (+1.97mm) + 8 (+2.26mm) + 9 (+2.54mm) +10 (+2.82mm)	自動給紙モード時の用紙選択モードの「ジドウハイシュツ　イチ」に対する補正値を選択します。(1/90インチ単位) 調整位置の基準は用紙下端から6.35mm(初期値)です。

5 プリンタのメニュー設定

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
5	CSF　ギャップドウサ	マイカイ **ツウジョウ**	自動給紙モード時の用紙吸入時のオートギャップ動作を選択します。「ツウジョウ」は用紙吸入1回目のみ行います。
6	CSF　カミアツセンタク	**オート** マニュアル　1レンジ マニュアル　2レンジ マニュアル　3レンジ マニュアル　4レンジ マニュアル　5レンジ マニュアル　6レンジ マニュアル　7レンジ マニュアル　8レンジ マニュアル　Aレンジ マニュアル　Bレンジ マニュアル　Cレンジ マニュアル　Dレンジ マニュアル　Eレンジ	自動給紙モードの紙厚調整方法およびレンジを選択します。 ✎✎
7	CSF　カミアツイチ	**45mm　(1.8")** 101.6mm (4")	自動給紙モード時のオートギャップ動作を行う位置を選択します。(左端からの位置) ✎✎
8	CSF　1モジメ　ホセイ	ミギ　7 ミギ　6 ミギ　5 ミギ　4 ミギ　3 ミギ　2 ミギ　1 **0** ヒダリ1 ヒダリ2 ヒダリ3 ヒダリ4 ヒダリ5 ヒダリ6 ヒダリ7	自動給紙モード時の1文字目印字開始位置の補正値を選択します。(1/90インチ単位) ✎✎

✎ 2.12mm(1/12")に設定はできますが、印字品質は保証されません。また、用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ、折れや紙づまりが発生する場合があります。

✎✎ 自動給紙モード時に手差しで給紙した場合、単票手差しモードの設定に従います。

- 頭出し位置は用紙の種類によって±2mm 程度の誤差が生じることがあります。設定値［初期値 6.35mm（1/4 インチ）］に合わせる場合は、頭出し位置補正（応用編）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に 55kg 紙媒体にて適正値に調整してあります。

フロントトラクタモード設定

フロントトラクタモードでの用紙の頭出し位置や紙厚などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. 印字可 を押し、オフラインにします。
2. メニュー を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. メニュー または 高複写 を押して、「フロント　モード　セッテイ」を表示させます。
4. 改頁 または 改行 を押して、項目を選びます。
5. 印字可 または 用紙モード を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、用紙ロード を押します。

現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータから設定を変更することもできます。
詳しくは、「1章　Windows ソフトウェア」（応用編）をご覧ください。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
1	フロント　オートロード　イチ	2.12mm (1/12") ✎ 6.35mm (1/4") 8.47mm (1/3") 10.58mm (5/12") 19.05mm (9/12") 23.28mm (11/12") 25.4mm (1") 27.52mm (13/12") ユーザーシテイ　イチ	フロントトラクタモード時の頭出し基準位置を選択します。 （第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字の先端まで。） 「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。
2	フロント　カットイチ	リアカバー スタッカ	フロントトラクタモード時のミシン目カット位置を選択します。
3	フロント　カットモード	シュドウ ジドウ	フロントトラクタモード時のミシン目カット位置への移動方法を選択します。
4	フロント　PowOn　ヨウシイチ	インジイチ カットイチ	フロントトラクタモード時の電源投入時に用紙がある場合の用紙位置を選択します。
5	フロント　PE　イチ	3.18mm (1/8") 6.35mm (1/4")	フロントトラクタモード時のペーパーエンド位置を選択します。（用紙下端から文字中心までの距離）

✎ 2.12mm（1/12"）に設定はできますが、印字品質は保証されません。また、用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ、折れや紙づまりが発生する場合があります。印字精度保証は、19.05mm（3/4インチ）以上です。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
6	フロント　PE　イチ ホセイ	-10 (-2.82mm) - 9 (-2.54mm) - 8 (-2.26mm) - 7 (-1.97mm) - 6 (-1.69mm) - 5 (-1.41mm) - 4 (-1.13mm) - 3 (-0.85mm) - 2 (-0.56mm) - 1 (-0.28mm) 0 (0mm) + 1 (+0.28mm) + 2 (+0.56mm) + 3 (+0.85mm) + 4 (+1.13mm) + 5 (+1.41mm) + 6 (+1.69mm) + 7 (+1.97mm) + 8 (+2.26mm) + 9 (+2.54mm) +10 (+2.82mm)	フロントトラクタモード時の「フロント　PE　イチ」に対する補正値を選択します。(1/90インチ単位) 調整位置の基準は用紙下端から6.35mm(初期値)です。
7	フロント　カミアツセンタク	オート マニュアル　1レンジ マニュアル　2レンジ マニュアル　3レンジ マニュアル　4レンジ マニュアル　5レンジ マニュアル　6レンジ マニュアル　7レンジ マニュアル　8レンジ マニュアル　Aレンジ マニュアル　Bレンジ マニュアル　Cレンジ マニュアル　Dレンジ マニュアル　Eレンジ	フロントトラクタモード時の紙厚測定方法およびレンジを選択します。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
8	フロント　カミアツイチ	45mm　(1.8") 101.6mm (4")	フロントトラクタモード時のオートギャップ動作を行う位置を選択します。(第1文字目の中心からの位置)
9	フロント　1モジメ　ホセイ	ミギ　7 ミギ　6 ミギ　5 ミギ　4 ミギ　3 ミギ　2 ミギ　1 0 ヒダリ1 ヒダリ2 ヒダリ3 ヒダリ4 ヒダリ5 ヒダリ6 ヒダリ7	フロントトラクタモード時の1文字目印字開始位置の補正値を選択します。 (1/90インチ単位)

- 頭出し位置は用紙の種類によって± 2mm 程度の誤差が生じることがあります。設定値［初期値 6.35mm（1/4 インチ）］に合わせる場合は、頭出し位置補正（応用編）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に 55kg 紙媒体にて適正値に調整してあります。

リアトラクタモード設定

リアトラクタモードでの用紙の頭出し位置や紙厚などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. 印字可 を押し、オフラインにします。
2. メニュー を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. メニュー または 高複写 を押して、「リア　モード　セッテイ」を表示させます。
4. 改頁 または 改行 を押して、項目を選びます。
5. 印字可 または 用紙モード を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、用紙ロード を押します。

現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータから設定を変更することもできます。
詳しくは、「1 章　Windows ソフトウェア」（応用編）をご覧ください。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
1	リア　オートロード　イチ	2.12mm (1/12") ✎ 6.35mm (1/4") 8.47mm (1/3") 10.58mm (5/12") 19.05mm (9/12") 23.28mm (11/12") 25.4mm (1") 27.52mm (13/12") ユーザーシテイ　イチ	リアトラクタモード時の頭出し基準位置を選択します。(第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字の先端まで。) 「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。
2	リア　カットイチ	ボウオンカバー センターガイド	リアトラクタモード時のミシン目カット位置を選択します。
3	リア　カットモード	シュドウ ジドウ	リアトラクタモード時のミシン目カット位置への移動方法を選択します。
4	リア　PowOn　ヨウシイチ	インジイチ カットイチ	リアトラクタモード時の電源投入時に用紙がある場合の用紙位置を選択します。
5	リア　PE　イチ	3.18mm (1/8") 6.35mm (1/4")	リアトラクタモード時のペーパーエンド位置を選択します。(用紙下端から文字中心までの距離)

✎ 2.12mm(1/12")に設定はできますが、印字品質は保証されません。また、用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ、折れや紙づまりが発生する場合があります。印字精度保証は、19.05mm（3/4インチ）以上です。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
6	リア　PE　イチ　ホセイ	-10 (-2.82mm) - 9 (-2.54mm) - 8 (-2.26mm) - 7 (-1.97mm) - 6 (-1.69mm) - 5 (-1.41mm) - 4 (-1.13mm) - 3 (-0.85mm) - 2 (-0.56mm) - 1 (-0.28mm) 0 (0mm) + 1 (+0.28mm) + 2 (+0.56mm) + 3 (+0.85mm) + 4 (+1.13mm) + 5 (+1.41mm) + 6 (+1.69mm) + 7 (+1.97mm) + 8 (+2.26mm) + 9 (+2.54mm) +10 (+2.82mm)	リアトラクタモード時の「リア　PE　イチ」に対する補正値を選択します。 (1/90インチ単位) 調整位置の基準は用紙下端から6.35mm(初期値)です。
7	リア　カミアツセンタク	オート マニュアル　1レンジ マニュアル　2レンジ マニュアル　3レンジ マニュアル　4レンジ マニュアル　5レンジ マニュアル　6レンジ マニュアル　7レンジ マニュアル　8レンジ マニュアル　Aレンジ マニュアル　Bレンジ マニュアル　Cレンジ マニュアル　Dレンジ マニュアル　Eレンジ	リアトラクタモード時の紙厚調整方法およびレンジを選択します。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
8	リア　カミアツイチ	45mm　(1.8") 101.6mm (4")	リアトラクタモード時のオートギャップ動作を行う位置を選択します。(第1文字目の中心からの位置)
9	リア　1モジメ　ホセイ	ミギ　7 ミギ　6 ミギ　5 ミギ　4 ミギ　3 ミギ　2 ミギ　1 0 ヒダリ1 ヒダリ2 ヒダリ3 ヒダリ4 ヒダリ5 ヒダリ6 ヒダリ7	リアトラクタモード時の1文字目印字開始位置の補正値を選択します。(1/90インチ単位)

- 頭出し位置は用紙の種類によって±2mm程度の誤差が生じることがあります。設定値［初期値6.35mm（1/4インチ）］に合わせる場合は、頭出し位置補正（応用編）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に55kg紙媒体にて適正値に調整してあります。

ダブルトラクタモード設定

ダブルトラクタモードでの紙厚などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. 印字可 を押し、オフラインにします。
2. メニュー を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. メニュー または 高複写 を押して、「ダブル　モード　セッテイ」を表示させます。
4. 改頁 または 改行 を押して、項目を選びます。
5. 印字可 または 用紙モード を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、用紙ロード を押します。

現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータから設定を変更することもできます。
詳しくは、「1 章　Windows ソフトウェア」（応用編）をご覧ください。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
1	ダブル　PE　イチ	3.18mm (1/8") 6.35mm (1/4")	ダブルトラクタモード時のペーパーエンド位置を選択します。(用紙下端から文字中心までの距離)
2	ダブル　PE　イチ　ホセイ	-10 (-2.82mm) - 9 (-2.54mm) - 8 (-2.26mm) - 7 (-1.97mm) - 6 (-1.69mm) - 5 (-1.41mm) - 4 (-1.13mm) - 3 (-0.85mm) - 2 (-0.56mm) - 1 (-0.28mm) 0 (0mm) + 1 (+0.28mm) + 2 (+0.56mm) + 3 (+0.85mm) + 4 (+1.13mm) + 5 (+1.41mm) + 6 (+1.69mm) + 7 (+1.97mm) + 8 (+2.26mm) + 9 (+2.54mm) +10 (+2.82mm)	ダブルトラクタモード時の「ダブル　PE　イチ」に対する補正値を選択します。(1/90インチ単位) 調整位置の基準は用紙下端から6.35mm(初期値)です。

網かけ部は初期値

項番	項　目	設定値	機　能
3	ダブル　カミアツセンタク	オート マニュアル　1レンジ マニュアル　2レンジ マニュアル　3レンジ マニュアル　4レンジ マニュアル　5レンジ マニュアル　6レンジ マニュアル　7レンジ マニュアル　8レンジ マニュアル　Aレンジ マニュアル　Bレンジ マニュアル　Cレンジ マニュアル　Dレンジ マニュアル　Eレンジ	ダブルトラクタモード時の紙厚調整方法およびレンジを選択します。
4	ダブル　カミアツイチ	45mm　(1.8") 101.6mm (4")	ダブルトラクタモード時のオートギャップ動作を行う位置を選択します。(第1文字目の中心からの位置)
5	ダブル　1モジメ　ホセイ	ミギ　7 ミギ　6 ミギ　5 ミギ　4 ミギ　3 ミギ　2 ミギ　1 0 ヒダリ1 ヒダリ2 ヒダリ3 ヒダリ4 ヒダリ5 ヒダリ6 ヒダリ7	ダブルトラクタモード時の1文字目印字開始位置の補正値を選択します。(1/90インチ単位)

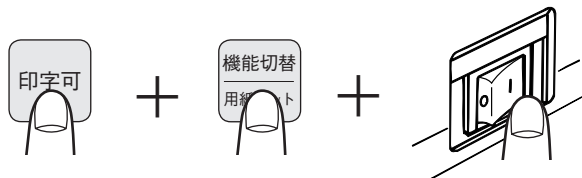
設定を初期化する

全てのメニューの設定値を、初期の状態に戻すことができます。

- 調整メニュー（応用編）の調整値は初期化されません。
- 登録した書式は消えません。

1 電源スイッチを「OFF」にします。

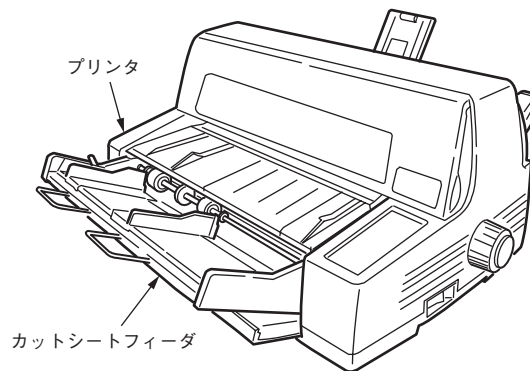
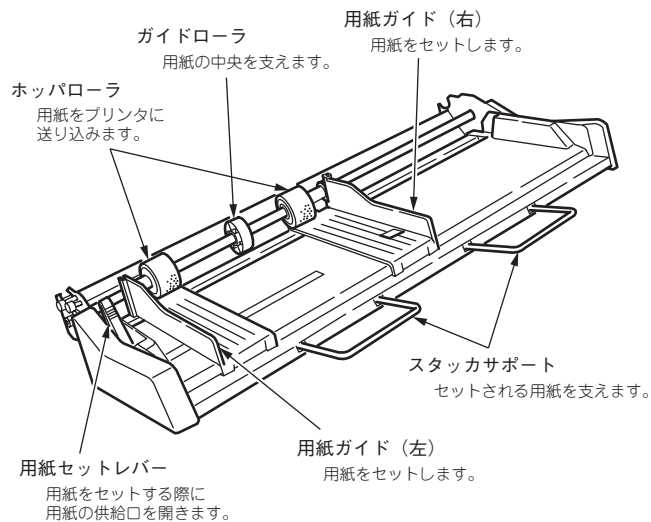
2 「印字可」＋「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」にします。

表示パネルに「イニシャルショリチュウ／スイッチヲニンシキシマシタ」と表示されたら、スイッチから指を離します。

6 オプション

〜取り付けから使い方まで〜

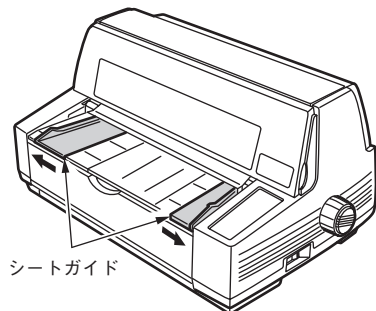
カットシートフィーダ

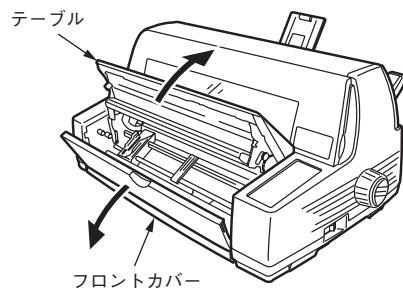
カットシートフィーダ（CSF）を取り付けることにより、単票，はがきおよび複写紙を連続給紙できます。

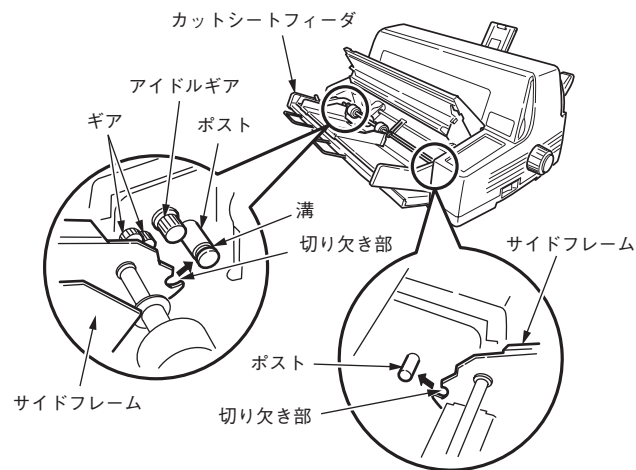
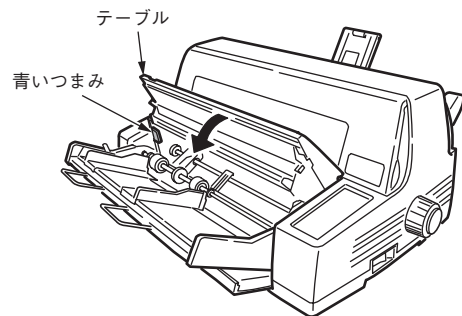
外観と各部の名称

プリンタに取り付けた図

カットシートフィーダの取り付け，取り外し

注 カットシートフィーダの取り付け、取り外しは、必ずプリンタの電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。

1 テーブルのシートガイドを両端に移動します。

2 プリンタの電源スイッチを「OFF」にします。

3 テーブルを開き、フロントカバーを手前に開きます。

4 カットシートフィーダを両手で持ち、サイドフレームの切り欠き部分をプリンタ両サイドのポストに差し込み、左側のサイドフレームとポストの溝を合わせます。

5 ポストを支点にして押し下げます。このとき、左側のギアがアイドルギアと噛み合っていることを確認します。

6 テーブルを閉じます。

注 テーブルを閉じるときは、テーブルを上に持ち上げ、左の支柱の青いつまみを押すと自動的に閉じます。このとき、手で押し下げるなどの無理な操作を行わないでください。故障の原因となります。

カットシートフィーダの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

単票のセット

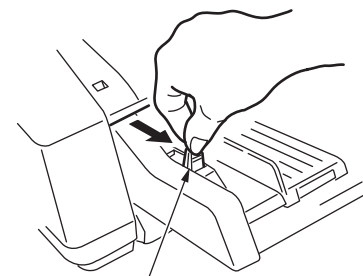
用紙をまとめてカットシートフィーダにセットします。
次の手順に従って、用紙をセットしてください。

- 使用できる用紙は、単票，はがきおよび複写紙です。封筒は使用できません。
  用紙の挿入方向，用紙の規格については、「用紙規格および印字範囲」（155 ページ）を参照してください。
- シートスタッカの容量は、用紙厚さにして 16mm 程度（連量 55kg 紙で約 200 枚）です。容量を超えて使用すると、用紙ジャムの原因になります。

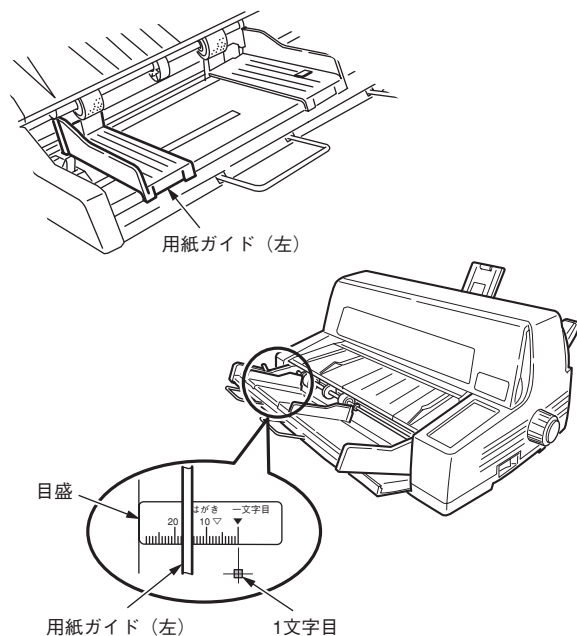
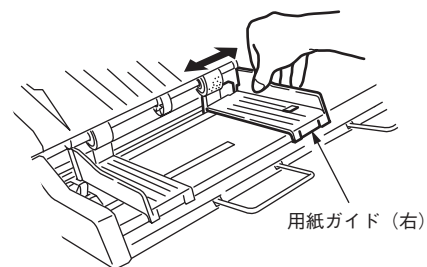
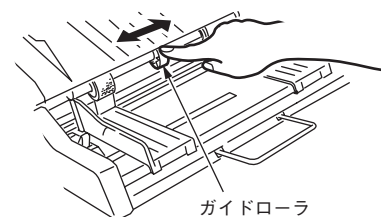
1 電源スイッチを「ON」にします。

2 オフライン状態で「用紙モード」のスイッチを押して "CSF" にします。

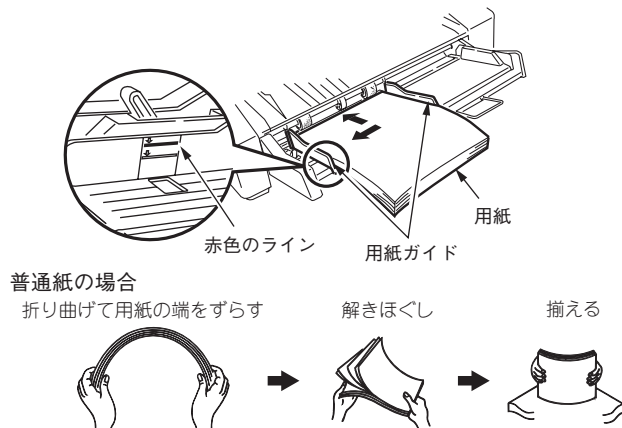
オ	ン	ラ	イ	ン					ツ	ウ	シ	゛	ョ	ウ	
C	S	F													

3 用紙セットレバーを「補給」にします。

4 カットシートフィーダ上の目盛の「▼」マークが1文字目の中心になるように用紙ガイド（左）の位置を決めます。

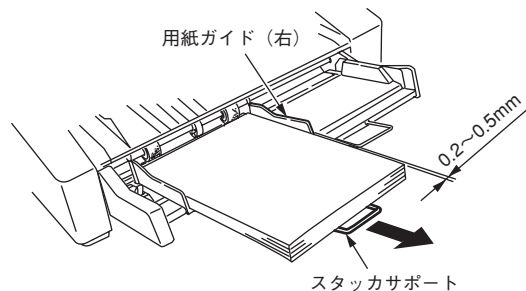
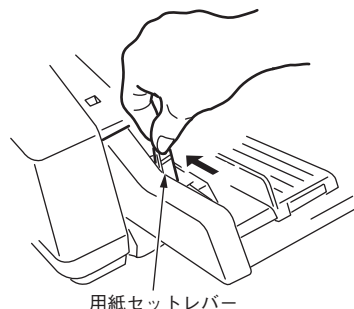
- 「▼」マークは1文字目の中心を示しています。
- 書式の印刷をする場合は、用紙ガイド（左）を右へ突き当ててください。
- はがきの場合は「▽」マーク（約6mm）にセットします。

注 はがきを使用するとき、「▽」マークより左へ移動して使用すると、斜めに吸入される場合があります。

5 用紙ガイド（右）を、セットする用紙の幅よりやや広めの位置まで移動させます。

6 ガイドローラを用紙幅の中央にセットします。

7 用紙は印字する面を表にして、左端を用紙ガイド(左)に合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

普通紙の場合

折り曲げて用紙の端をずらす　解きほぐし　揃える

- 用紙はよくさばき、上下左右をそろえてください。
  特に複写紙の場合、のり付けの部分が次の用紙と貼り付いていることがあります。
- 一度にセットできる用紙の最大量は、用紙の総紙厚が 16mm 以下です。(用紙ガイドの赤色ライン以下です。)
  一般紙の場合、連量 55kg 紙で約 200 枚です。
  はがきの場合、郵便はがきで約 65 枚です。
- B4 のような大きなサイズや複写紙の場合は、総紙厚 10mm 以下にしてください。(用紙ガイドの下の目印以下です。)
- 折り目 , しわ , 傷 , 反りがあるもの , 用紙の角が特殊な形状のものは使用しないでください。
- 紙質 , 厚さ , 大きさの異なる用紙を混ぜて使用しないでください。
- 郵便はがきの両面に印字する場合は、片面の印字後、反りをなくしてから反対側の面を印字してください。
  ただし、片面の印字が印刷禁止領域(168 ページ参照)にかかる場合、反対面の印字時、センサの検出により正常に印刷できない場合があります。
- 用紙のつぎ足しは行わないでください。
- カットシートフィーダでは封筒を利用することはできません。

8 用紙ガイド（右）を用紙幅に合わせます。

用紙のサイズおよび長さに応じてスタッカサポートを引き出します。

9 用紙セットレバーを静かに「印刷」にします。

いきおいよくセットすると用紙が乱れ、斜めに吸入される原因になります。

以上で、用紙のセットは完了です。

- 用紙セットレバーが「補給」のままで給紙動作を行わないでください。
- 印刷済の用紙が総紙厚約 16mm になったらスタッカから用紙を取り除いてください。
- 使用中、用紙の端が不揃いになりましたら、印刷を中止し、もう一度セットし直してください。
- 用紙を長時間カットシートフィーダに放置しないでください。
  用紙がカールする原因になります。
- カットシートフィーダの給紙の場合、用紙の逆改行量は 1 回の吸入に対して累計で 8.47mm(1/3 インチ) 以内です。
- 複写紙を使用する場合は、シートスタッカ側へ排出してください。
- 用紙の種類によっては、セットした最後の用紙が印字規格から外れる場合があります。
- オプションのカットシートフィーダご使用時には、最後の用紙の給紙が不安定となることがありますので、最後の用紙は使用しないようにしてください。また、用紙残量が少なくなった場合には、用紙を補充してください。

自動給紙モードと単票手差しモード、連続紙モードの切り替え

カットシートフィーダを取り付けたまま、単票を手差しで給紙したり連続紙を使用できます。

1 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

2 「用紙モード」スイッチを押し、切り替えたい用紙モードを表示させます。

約 2 秒後に用紙モードを切り替えます。

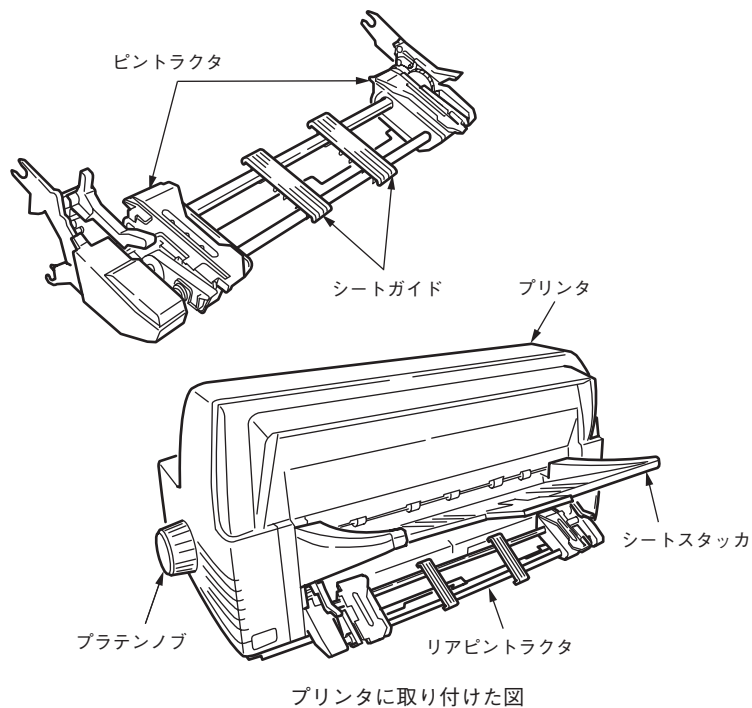
参考

自動給紙モードのままで、単票を手差しで給紙する場合は、単票をテーブルにセットしてからオフライン状態で「用紙ロード」スイッチを押してください。

リアピントラクタ

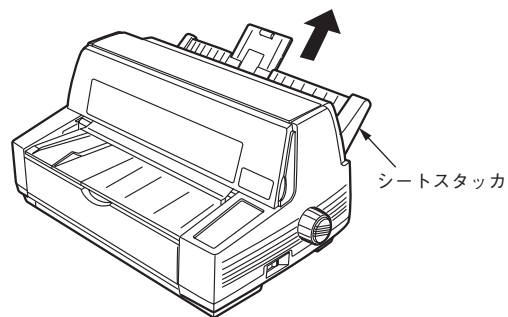
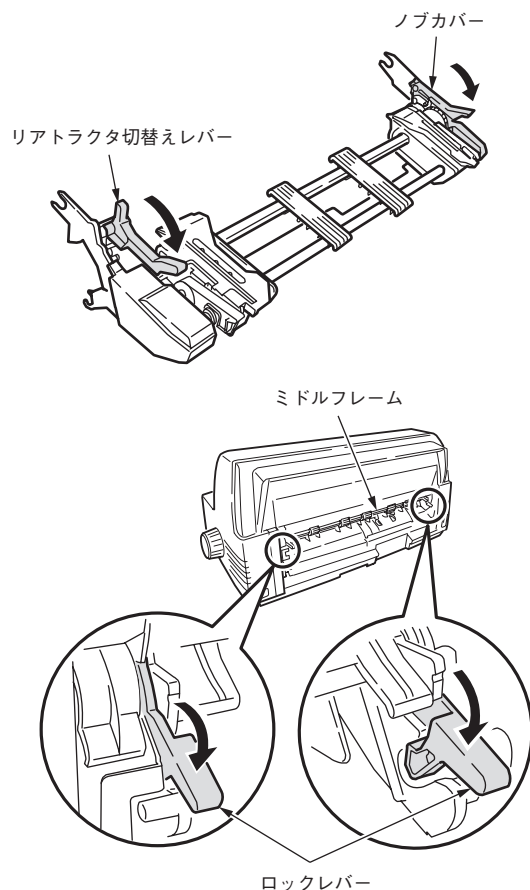
リアピントラクタを取り付けることにより、連続紙をプリンタ後方より給紙できます（リアトラクタモード）。また、フロントトラクタと合わせてダブルトラクタとしても使用できます（ダブルトラクタモード）。
リアピントラクタを使う場合、複写枚数が 6 枚を超える連続紙の中には、改行や改ページの 1 文字目印字位置ずれ（改頁ずれ）を起こし易いものがあります。このようなずれが気になる場合には、フロントトラクタでの使用を推奨します。

外観と各部の名称

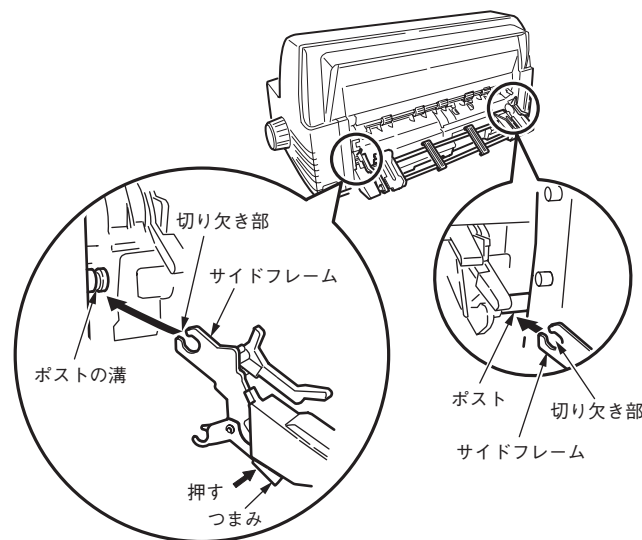
プリンタに取り付けた図

リアピントラクタの取り付け，取り外し

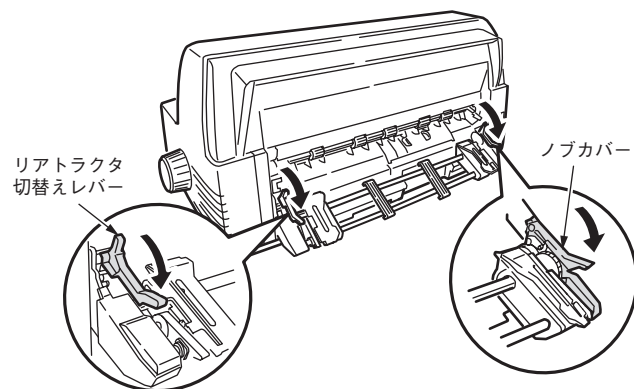
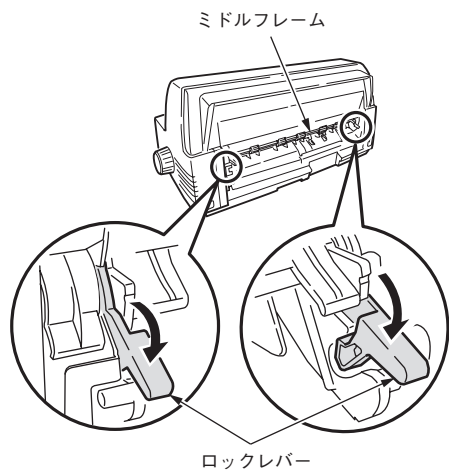
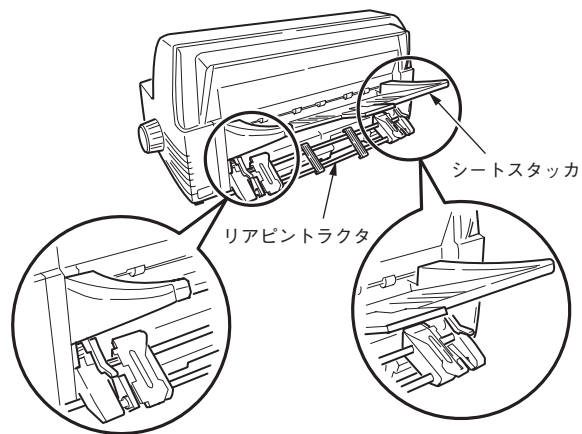
リアピントラクタの取り付け，取り外しは、必ずプリンタの電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。

1 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 シートスタッカを外します。

3 リアピントラクタの左端のリアトラクタ切替えレバーと右側のノブカバーを矢印方向に倒します。プリンタ後部のミドルフレームのロックレバーをロック感があるまで押し下げます。

4 リアピントラクタ先端の切り欠き部をプリンタ後方両側のポストに差し込みます。このとき、左側の切り欠き部とポストの溝を合わせます。

5 リアピントラクタのつまみを押しながら、ポストを支点にして押し下げます。

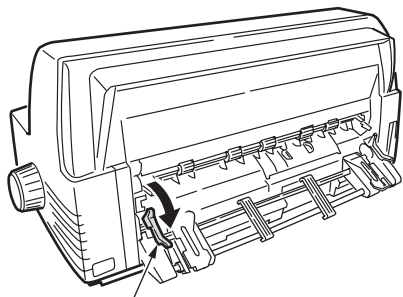
つまみから手を離すとリアピントラクタが固定されます。

注 リアピントラクタを上下に動かして固定されていることを確認してください。

6 リアピントラクタ左側のリアトラクタ切替えレバーと右側のノブカバーが下がっていることを確認します。

7 プリンタ後部のミドルフレームのロックレバーが下がっていることを確認します。

8 シートスタッカを取り付けます。

リアピントラクタの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

リアトラクタモードでの連続紙のセット

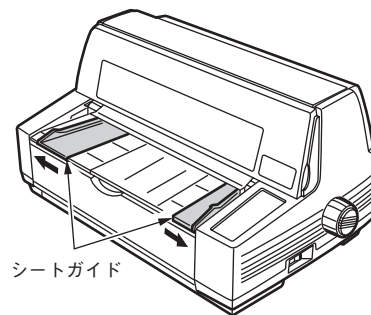
リアトラクタモードでは、連続紙をプリンタ後方から給紙できます。
フロントトラクタモードと合わせて、2 種類の連続紙を同時にセットできます。

※説明をわかりやすくするため、シートスタッカをイラストから省いています。

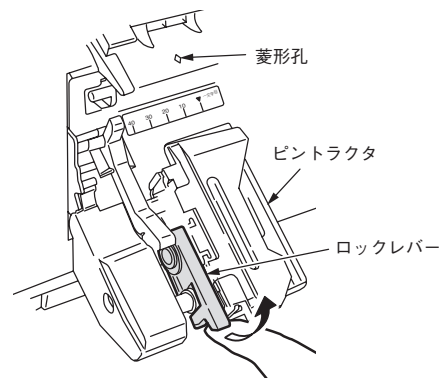
1 リアピントラクタ左側のリアトラクタ切替えレバーが下がっていることを確認します。

2 電源スイッチを「ON」にします。

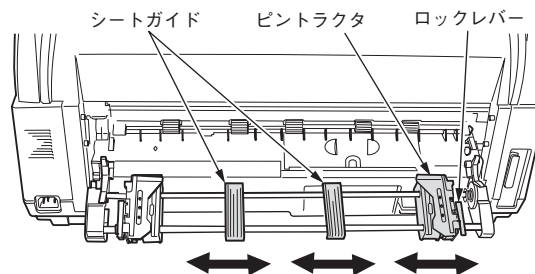
3 オフライン状態で「用紙モード」スイッチを押して “リアトラクタ” を選択します。

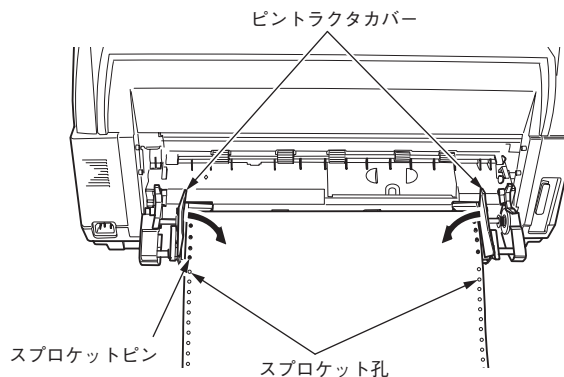
ヨ	ウ	シ		ナ	シ		リ	ア	ト	ラ	ク	タ			
ヨ	ウ	シ	ヲ		セ	ッ	ト	シ	テ	ク	タ	゛	サ	イ	

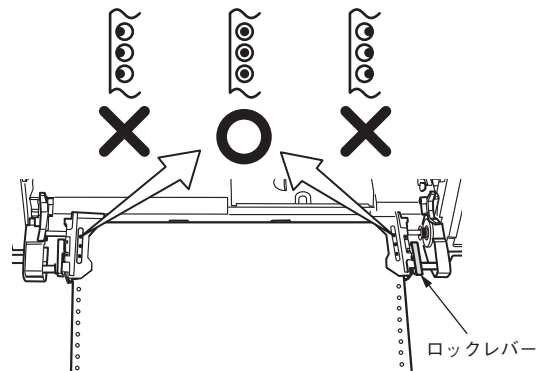
4 テーブルのシートガイドを両端に移動します。

注 シートガイドにリアピントラクタからの用紙が当たるとジャムの原因になりますので、必ず両側へ寄せてください。

5 後方から見て左側のピントラクタのロックレバーを開放し、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを固定します。

目盛上の「▼一文字目」の位置および菱形孔の中心が 1 文字目の中心になります。

6 後方から見て右側のピントラクタのロックレバーを開放し、連続紙の幅に合わせて移動します。

シートガイドは左右のピントラクタの中央に移動します。

7 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないようにしてください。

8 後方から見て右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定します。

 連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎのないように注意してください。

9 「用紙ロード」スイッチを押します。

1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られ、「印字可」ランプが点灯します。

連続紙の置きかた

- プリンタを置く机の高さは、75cm を目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行路に沿って、プリンタと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm 以内にしてください。
- プリンタの後部と机の縁を合わせてください。
- プリンタの後部は、壁から 60cm 以上離してください。
- インタフェースケーブルが用紙と干渉しないようにしてください。

リアトラクタモードでの連続紙の排出方法

印刷が終わった連続紙は、次の手順で排出します。

印刷済みの連続紙を切り取るとき

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押します。

連続紙がテーブル側に繰り出されます。

2 連続紙のミシン目をセンタガイドに沿わせてゆっくり切り取ります。

- いきおいよくカットすると、ミシン目以外から破れる場合があります。
- ミシン目位置がカバーのカッタ（センタガイド）と合わない場合は、「用紙のカット位置を補正する」（応用編）の手順で補正してください。
- 用紙の種類によっては切り取りにくい場合があります。このような場合にはメニュー設定の「リア　カットイチ」（112 ページ）を「ボウオンカバー」にしてください。

3 もう一度「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押します。

連続紙が元の位置に戻ります。

連続紙を外すとき

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押します。

連続紙がテーブル側に繰り出されます。

2 連続紙のミシン目をセンタガイドに沿わせてゆっくり切り取ります。

- いきおいよくカットすると、ミシン目以外から破れる場合があります。
- ミシン目位置がカバーのカッタ（センタガイド）と合わない場合は、「用紙のカット位置を補正する」（応用編）の手順で補正してください。
- 用紙の種類によっては切り取りにくい場合があります。このような場合にはメニュー設定の「リア　カットイチ」（112 ページ）を「ボウオンカバー」にしてください。

3 もう一度「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押します。

連続紙が元の位置に戻ります。

4 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

「印字可」ランプが消灯します。

5 「用紙ロード」スイッチを押します。

連続紙の先端がピントラクタまで後退します。

- 連続紙の後退量は最高 22 インチです。22 インチ後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
- 連続紙の後退動作は、2 回以上連続して行わないでください。連続して行うと、ジャムが発生する場合があります。

6 ピントラクタカバーを開き、連続紙を外します。

7 ピントラクタカバーを元に戻します。

ピントラクタの手前で連続紙のミシン目を切り取った場合は、残りの連続紙はオフライン状態で「改頁」スイッチを押して排出してください。

ダブルトラクタモードでの連続紙のセット

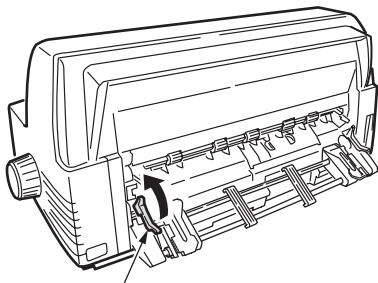
ダブルトラクタモードでは、一つの連続紙をフロントトラクタとリアトラクタに同時にセットします。二つのトラクタを使用するのでより安定した紙送りが行えます。

※　説明をわかりやすくするため、シートスタッカをイラストから省いています。

1 オフライン状態で「用紙モード」スイッチを押して“ダブルトラクタモード”を選択します。

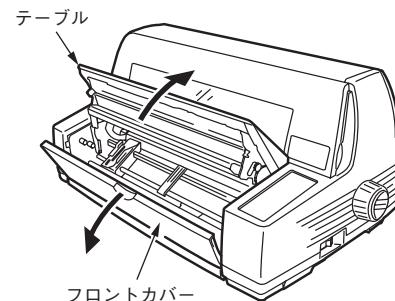
ヨ	ウ	シ	モ	ー	ト	゛		シ	テ	イ					
タ	゛	フ	゛	ル	ト	ラ	ク	タ							

ハ	゛	イ	タ	イ		キ	リ	カ	エ		チ	ュ	ウ		
リ	ア	ト	ラ	ク	タ	レ	ハ	゛	ー	キ	リ	カ	エ	マ	チ

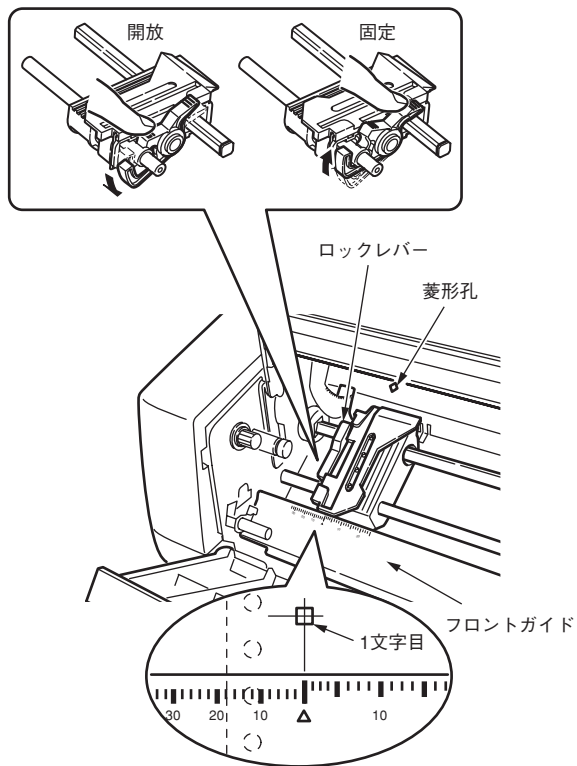
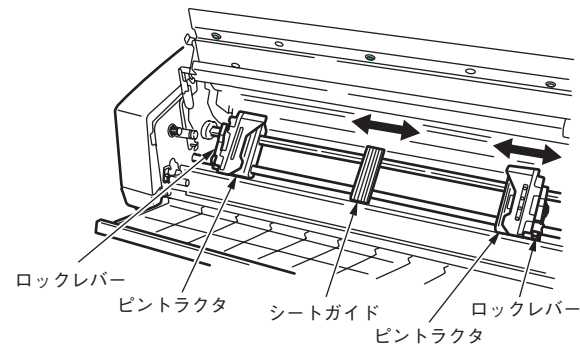
2 リアピントラクタ左側のリアトラクタ切替えレバーをカチッとロックするまで上げます。

ハ	゛	イ	タ	イ		キ	リ	カ	エ		チ	ュ	ウ		
キ	ノ	ウ	S	W	ヲ		オ	シ	テ	ク	タ	゛	サ	イ	

3 「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押します。

ヨ	ウ	シ		ナ	シ		タ	゛	フ	゛	ル	ト	ラ	ク	タ
ヨ	ウ	シ	ヲ		セ	ッ	ト	シ	テ	ク	タ	゛	サ	イ	

4 テーブルおよびフロントカバーを開きます。

注 ブザーが鳴ったときは、操作パネルのスイッチをどれか押すと止まります。

5 左端のピントラクタのロックレバーを開放し、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを固定します。

- 目盛上の「一文字目」の位置および菱形の孔の中心が、横方向の１文字目中心になります。
- 書式の印刷をする場合、右端に突き当てます。

6 右側のピントラクタのロックレバーを開放し、連続紙の幅に合わせて移動します。

シートガイドは左右のピントラクタの中央に移動します。

7 左右のピントラクタカバーを開いて、連続紙をフロントカバーとフロントガイドの下から入れてセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

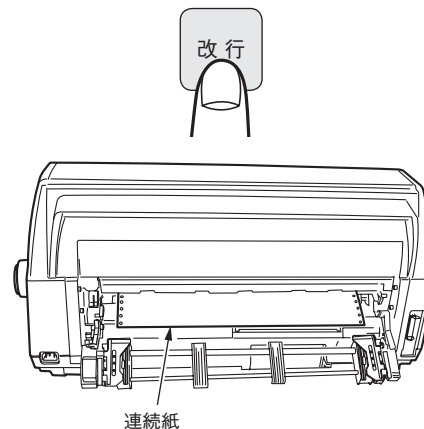
注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないように注意してください。

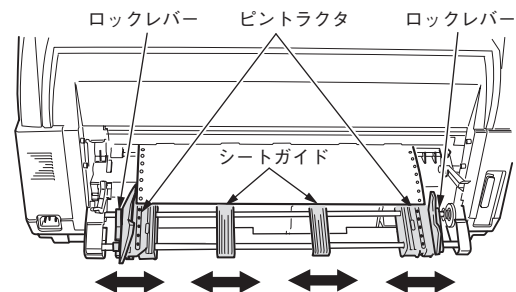
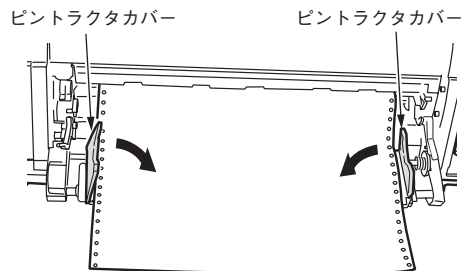
8 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを固定します。

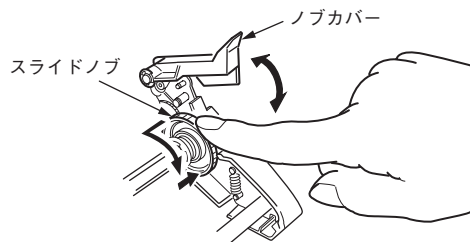
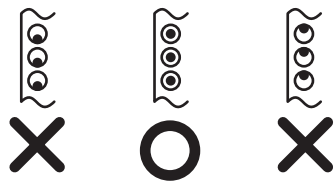
連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。

9 フロントカバーおよびテーブルを閉じます。

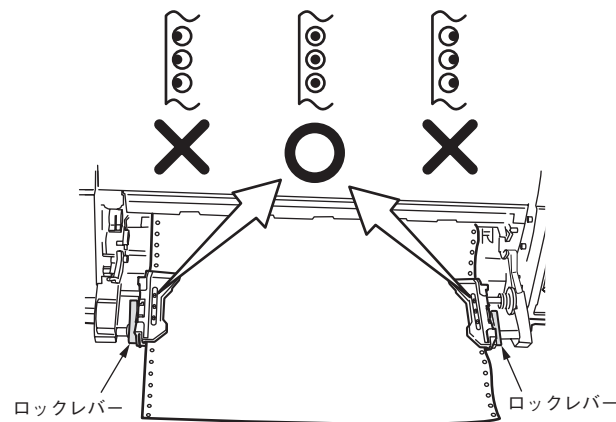
テーブルを閉じるときは、テーブルを上に持ち上げ、左の支柱の青いつまみを押すと自動的に閉じます。
このとき、手で押し下げるなどの無理な操作を行わないでください。故障の原因となります。

10「改行」スイッチを押し続けて、連続紙をリアピントラクタの上まで繰り出します。

11 リアピントラクタの両側のピントラクタのロックレバーを開放し、連続紙の位置にピントラクタを移動させます。

シートガイドは、左右のピントラクタの中央に移動させます。

12 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

13 用紙にたるみがある場合は、リアピントラクタ右側のノブカバーを上げ、スライドノブを内側に押し込みながら手前に回してたるみを取り、スライドノブを外側に押し込みます。

連続紙が張り過ぎないように注意してください。

連続紙のスプロケット孔に対するスプロケットピンの位置

14 左右のピントラクタのロックレバーを固定します。

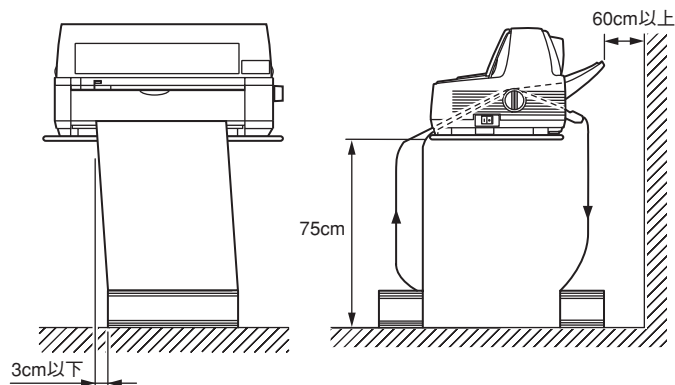
連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないようにしてください。

連続紙のスプロケット孔に対するスプロケットピンの位置

15「改行」または「微少送り」スイッチで１文字目印字位置を合わせます。

- 用紙の位置合わせはスイッチで行ってください。プラテンノブで行うと、改行ずれが発生します。
- セットした連続紙の１枚目は印刷できません。２ページ目で１文字目印字位置を合わせてください。

16「印字可」スイッチを押し、オンラインにします。

連続紙の置きかた

- プリンタを置く机の高さは、75cm を目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行路に沿って、プリンタと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm 以下にしてください。
- プリンタの前部と机の縁を合わせてください。
- プリンタの後部は印字後の用紙スペース確保のため、壁から 60cm 以上離してください。
- インタフェースケーブルが用紙と干渉しないようにしてください。

ダブルトラクタモードでの連続紙の排出方法

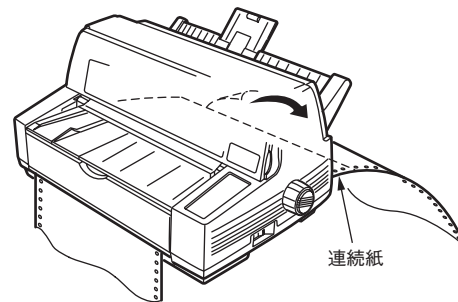
印刷が終わった連続紙は、次の手順で排出します。

印刷済みの連続紙を切り取るとき

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押します。

連続紙がリアピントラクタ側に繰り出されます。

ページ長の設定によっては、数回スイッチを押す必要があります。

2 連続紙をミシン目から切り取ります。

3 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

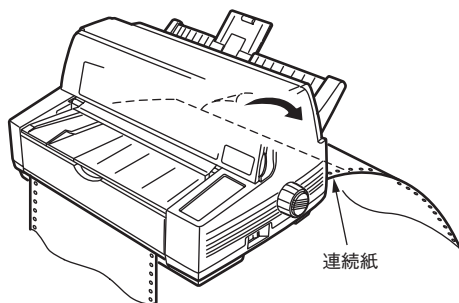
4 操作パネルの「改行」または「微少送り」スイッチで次のページの 1 文字目印字位置を合わせます。

連続紙を外すとき

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「機能切替 / 用紙カット」スイッチを押します。

連続紙がリアピントラクタ側に繰り出されます。

注 ページ長の設定によっては、数回スイッチを押す必要があります。

2 連続紙をミシン目から切り取ります。

3 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

「印字可」ランプが消灯します。

4 「用紙ロード」スイッチを押します。

連続紙の先端がフロントトラクタのピントラクタまで後退します。

- 連続紙の後退量は最高 22 インチです。22 インチ後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
- 連続紙の後退動作は、2 回以上連続して行わないでください。連続して行うと、ジャムが発生する場合があります。

5 テーブルおよびフロントカバーを開きます。

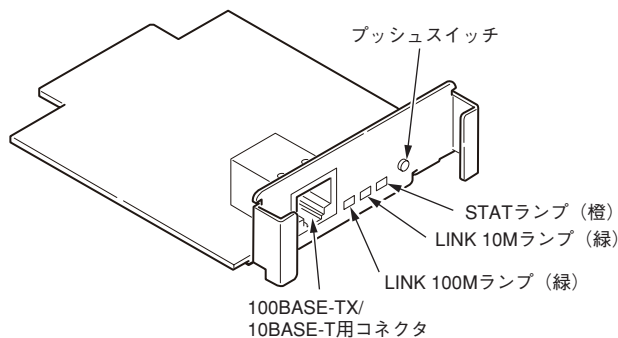
6 ピントラクタカバーを開き、連続紙を外します。

7 ピントラクタカバーおよびテーブル , フロントカバーを元に戻します。

ネットワークカード

ネットワークカードを取り付けることにより、ネットワーク（TCP/IP, IPX/SPX, NetBEUI）から印刷することができます。

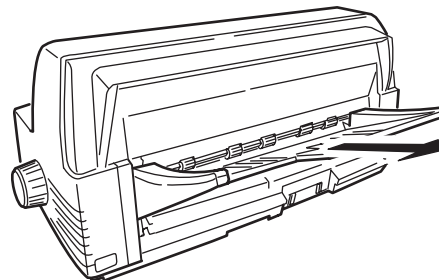
- イーサネットケーブルは必要に応じてネットワーク商品取扱店でお買い求めください。
- ネットワークカードは、静電気に非常に弱いため、注意して取り扱ってください。
- EtherTalk ネットワークを使用して印刷することはできません。
- SMNP の沖データプライベート MIB に対応しています。
- ネットワークカードのディップスイッチの操作にはネットワークカードの取り付け、取り外しが必要です。

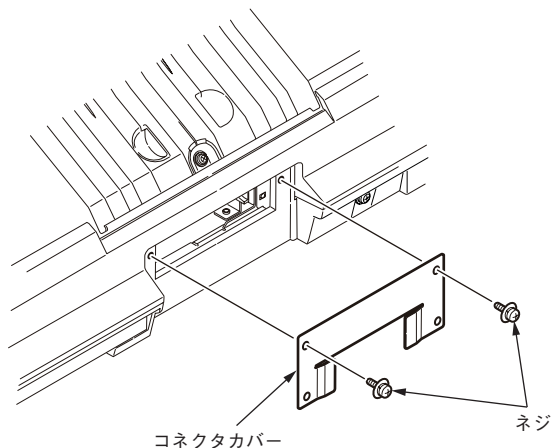
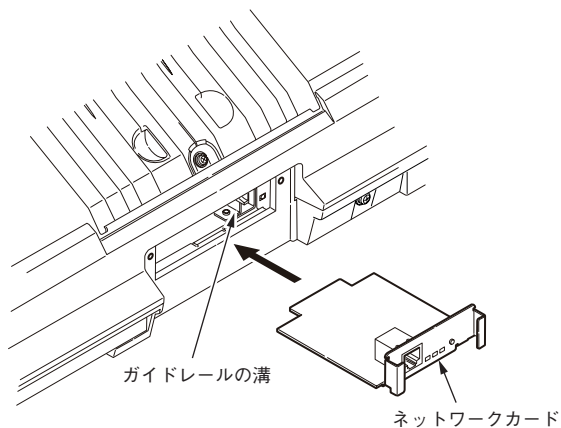
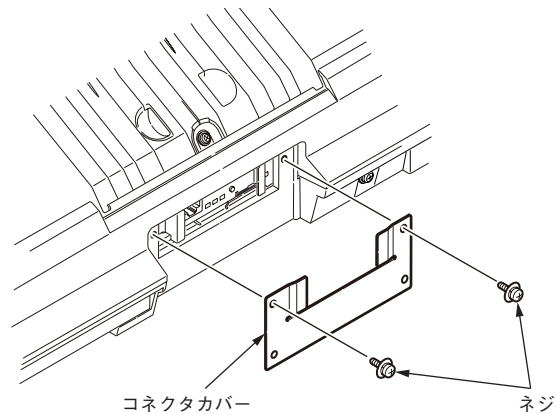
外観と各部の名称

ネットワークカードの取り付け , 取り外し

- ネットワークカードの取り付け , 取り外しは、必ずプリンタの電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- ネットワークカードを使用する際は、パラレルインタフェースケーブルを外してください。

1 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 シートスタッカを外します。

6

ネットワークカード

3 ネジ（2 個）を外し、コネクタカバーを外します。

4 ネットワークカードをガイドレールの溝に沿って挿入して、コネクタに差し込みます。

5 コネクタカバーの向きに注意して、ネジ（2 個）で固定します。

6 シートスタッカを取り付けます。

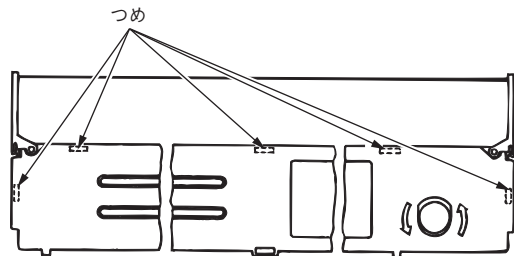
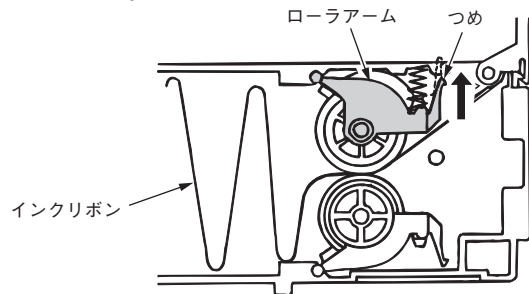
7 プリンタの電源スイッチを「ON」にします。

7 こんなときには

～インクリボンの交換、紙づまりしたとき～

リボンカートリッジ内のインクリボンの交換

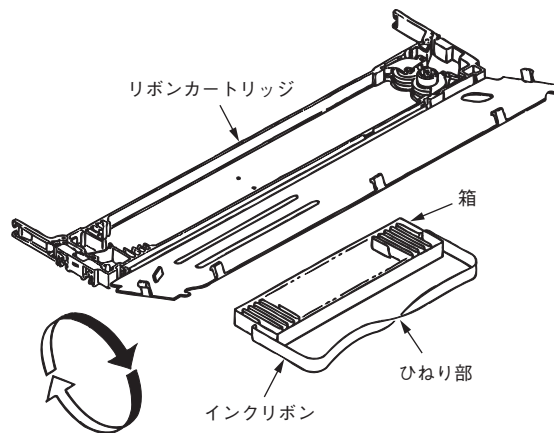
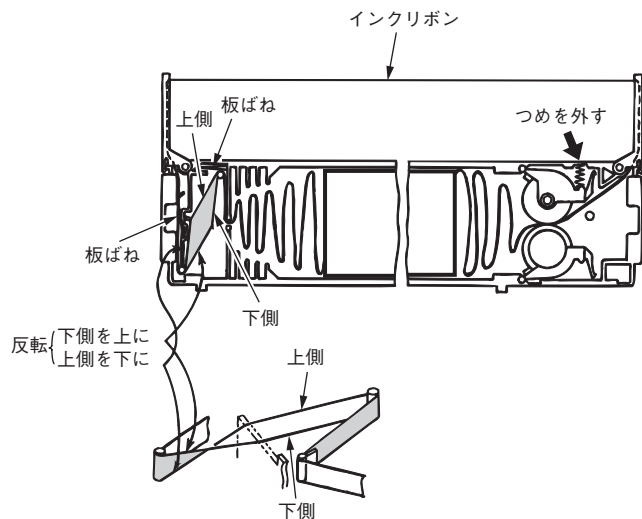
印字が薄くなったときには、次の手順でリボンカートリッジ内のインクリボンを交換してください。

1 リボンカートリッジのふたについているつめ（5 か所）を外し、ふたを開きます。

2 ローラアームを図の矢印方向に押してつめをフレームに引っ掛けます。

3 使用済のインクリボンを捨て、リボンカートリッジの中および周囲 , ローラ周辺のリボンくず , 繊維くずを取り除きます。

参考

- 使用済みのインクリボンは不燃物として処理してください。
- 使用済みのインクリボンの回収を行っています。詳細は「使用済み消耗品の回収について」（179 ページ）をご覧ください。

4 新しいインクリボンの包装紙を取り除き、インクリボンを箱から 20 ～ 30cm 程度引き出します。

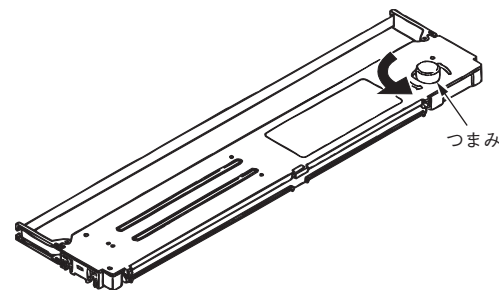
5 リボンカートリッジをインクリボンの箱にかぶせて、リボンカートリッジと箱をいっしょに裏返します。

6 インクリボンを図の経路にセットします。

7 リボンカートリッジからインクリボンが飛び出さないように、静かに箱を取り除きます。

8 ローラアームのつめを外します。

9 リボンカートリッジ内でインクリボンが折れたり、ねじれたりしていないか、また、ローラアームがフレームから浮き上がっていないか確認してからふたを閉じます。

10 つまみを矢印方向に回してインクリボンのたるみを取ります。

- つまみを回したとき、インクリボンが動かなかったり、異常に鈍いときは、再度ふたを開けてインクリボンの経路を確認してください。
- つまみを矢印の逆方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。
- インクリボンの交換は 1 つのリボンカートリッジに対して 5 回までです。インクリボンを 5 回交換したら、リボンカートリッジを交換してください。交換の手順は「リボンカートリッジを取り付ける」(23 ページ) を参照してください。

参考

- 使用済みのリボンカートリッジは不燃物として処理してください。
- 使用済みのリボンカートリッジの回収を行っています。詳細は「使用済み消耗品の回収について」(179 ページ) をご覧ください。

紙づまりしたとき

単票の場合

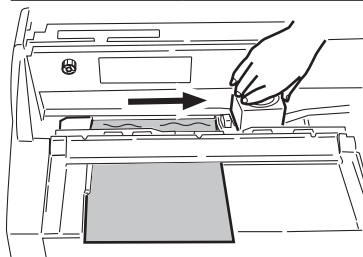
単票がプリンタ内部でつまったとき

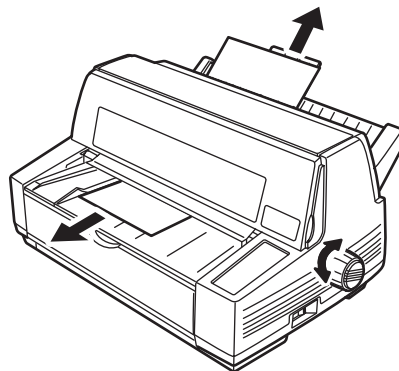
1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 印字ヘッドを用紙のないところへ移動させます。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにはさわらないでください。印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

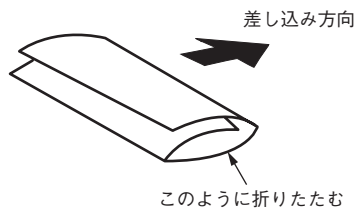
3 プラテンノブを回し、単票を手前または後ろに引き出します。

破れた単票がプリンタ内部に残ったとき

1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

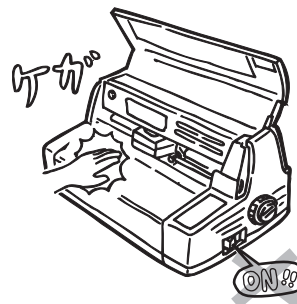
電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 見えている紙くずをピンセットで取り除きます。

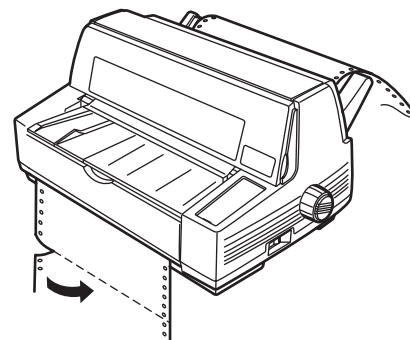
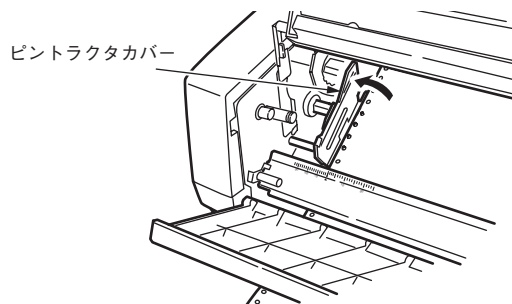
3 3つに折りたたんだ単票をテーブルから差し込みます。

4 プラテンノブを回して単票を送り、つまった紙くずを押し出します。

連続紙の場合

連続紙がプリンタ内部でつまったとき

1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 印字前の連続紙を切り取ります。

3 テーブルおよびフロントカバーを開き、ピントラクタから連続紙を外します。

4 プラテンノブを回しながら、連続紙を手前側または後ろ側に引き出します。

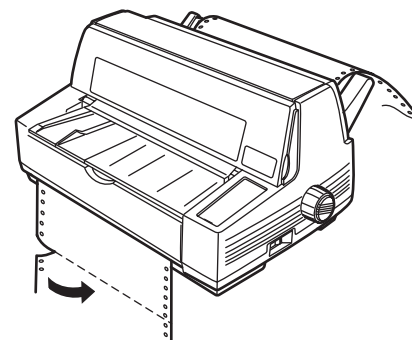
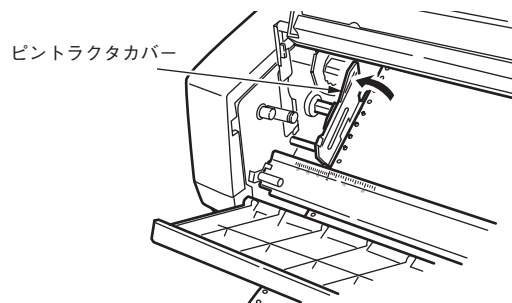
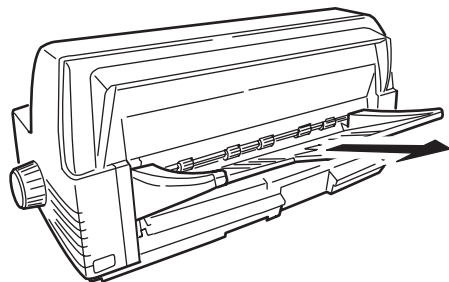
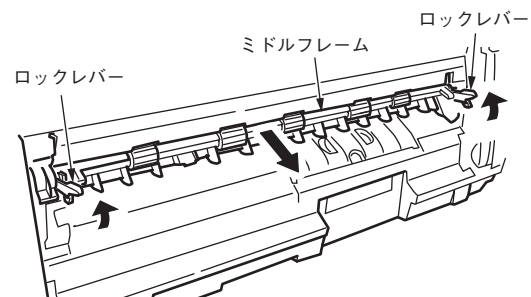
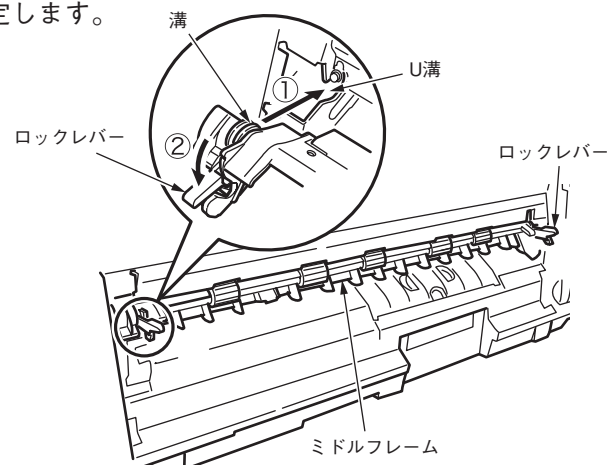
破れた紙くずがプリンタ内部に残ったときは、連続紙を２～３枚重ねてピントラクタにセットし、プラテンノブを回して、つまった紙くずを押し出してください。リアピントラクタの場合も同様に行ってください。

連続紙がプリンタ後部でつまったとき

1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 印字前の連続紙を切り取ります。

3 テーブルおよびフロントカバーを開き、ピントラクタから連続紙を外します。

4 シートスタッカを外します。

5 プリンタ後部両側のロックレバーを上に上げて、ミドルフレームを取り出し、つまった用紙を取り除きます。

6 ミドルフレーム両側の溝をプリンタ後部のU溝に差し込み、両端のロックレバーをカチッと音がするまで下におろして固定します。

7 シートスタッカを取り付けます。

カットシートフィーダ（オプション）でつまったとき

1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 カットシートフィーダを取り外します。

「カットシートフィーダの取り付け、取り外し」（119 ページ）を参照してください。

3 用紙を取り除きます。

紙の送られる方向へゆっくり引き出します。

注 逆方向への無理な用紙の引き出しは、機構部のダメージ原因となります。

8 定期清掃のしかた

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的または必要に応じて清掃をしてください。
汚れにより、本来の機能が損なわれることがあります。

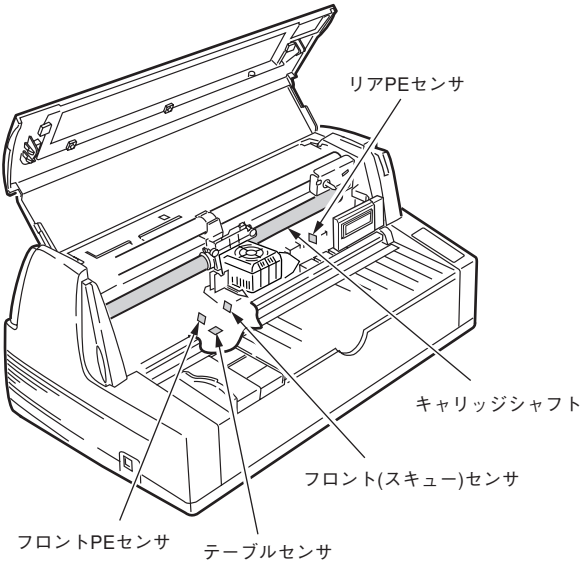
プリンタの清掃のしかた

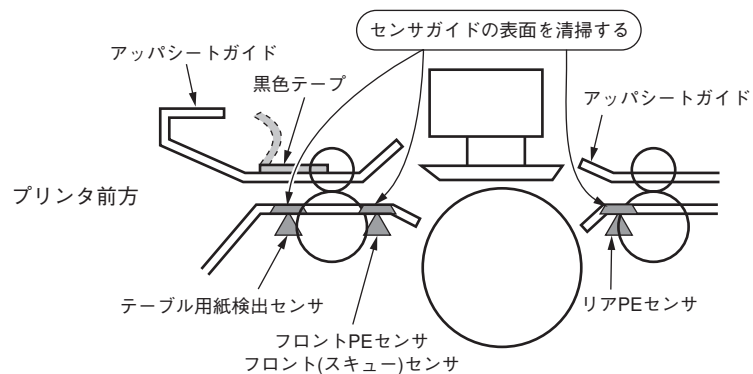
清掃

- 清掃は電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。
- 印字直後は印字ヘッドおよびその周辺が高温になっていますので、印字直後の清掃は避けてください。

次表の項目にしたがって、定められた周期、または必要に応じてプリンタの清掃を行ってください。
（その他のプリンタ内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。）

実施周期 ： 稼働時間が 6 か月または 300 時間の中でいずれか早いほう
使用工具 ： ウエス（ガーゼなどの柔らかい布）、筆や綿棒、掃除機

清掃箇所	清掃内容
キャリッジシャフトおよび周辺	用紙くずを取り去り、汚れ, ほこり, リボンくずなどをふき取る。
用紙走行面	
フロント PE センサ、フロント (スキュー) センサ、リア PE センサ、テーブル用紙検出センサ	センサに付着したほこりや紙粉を筆や綿棒、掃除機などで除去する。

○フロント PE センサ , フロント (スキュー) センサ , リア PE センサ

筆や綿棒、掃除機などでセンサガイドの表面を清掃してください。

○テーブル用紙検出センサ

アッパシートガイドの黒色テープをめくって下方のセンサガイドの表面を清掃してください。

黒色テープは完全に剥がさず、点線の部分までとしてください。清掃後はもとの位置へ戻してください。

注油

プリンタへの潤滑油の注油は行わないでください。プリンタの故障の原因となることがあります。
(プリンタの注油、分解についてはサービスマンにご依頼ください。)

カットシートフィーダの清掃のしかた

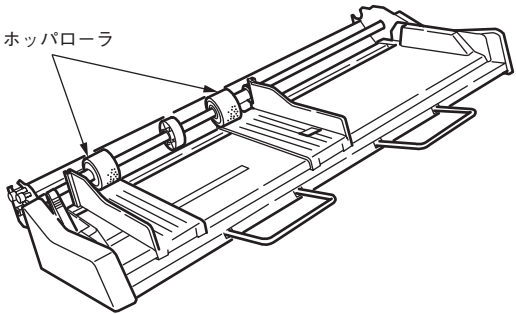
清掃

装置の設置環境 / 使用状況によりスキュー / ホッピングミスが発生する場合があります。その場合、以下の内容にてホッピングローラ汚れの清掃を行ってください。

- 清掃は電源スイッチを OFF にし、カットシートフィーダを本体から外してから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。

次表の項目にしたがって、カットシートフィーダの清掃を行ってください。
(本項目以外の清掃を行った場合には障害の発生する可能性がありますので行わないでください。なお、カットシートフィーダ内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。)

使用工具 ： ウエス(ガーゼなどの柔らかい布)、アルコール(エタノール)

清掃箇所	清掃内容
左右一対のホッパローラ	用紙くずを取り去り、油等の汚れ，ほこりなどをアルコール（エタノール）を軽く含ませたウエスで拭き取り、その後乾いたウエスでホッピングローラ面の乾拭きを行う。

付　録

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

付録

プリンタ仕様

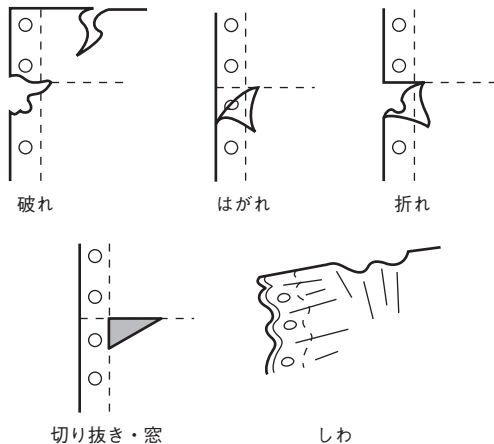
項目	仕様
印字方式	ドットマトリクスインパクト
ドットワイヤ径	0.2mm
ドットワイヤ数	24 ピン
印字方向	両方向印字
改行時間	4.23mm（1/6 インチ）改行のとき … 1 改行 約 50ms
改ページ速度	約 304.8mm ／秒（12 インチ／秒） 複写紙の場合は、約 152.4mm ／秒（6 インチ／秒）
紙送り制御	フォームフィード　機能有り 垂直タブ　機能有り ダイレクトスキップ　機能有り
複写能力	通常印字モード時　：オリジナル＋ 5 枚（用紙厚合計　0.36mm 以下） 高複写印字モード時：オリジナル＋ 7 枚（用紙厚合計　0.48mm 以下）
印字ヘッド使用条件	1 ピン当り平均 110 ドット／秒以下（ただし、4 分間ごとの平均）
紙送り方向	フロントパス方式 , リアパス方式（オプション）
紙送り方式	フリクションフィード方式 ピントラクタフィード方式
連続紙ペーパエンド検出方法	メニュー設定によります。初期値は 6.35mm（1/4 インチ）
媒体仕様	「用紙規格および印字範囲」（155 ページ）を参照してください。
インクリボン（沖データ純正品）	カートリッジ : 専用カートリッジ インク　: 黒単色 寿　命　: パイカサイズ　HS ANK 1000 万字
外形寸法	685mm(W) × 532mm(D) × 315mm(H) （プラテンノブ , シートスタッカ実装状態） 648mm(W) × 395mm(D) × 315mm(H)（本体のみ）
重　　量	約 30kg
入力電源	単相交流　100V ± 10%（50/60Hz ± 1Hz）
消費電力	動作中 : 最大 約 530W（漢字ローカルテスト印字時 約 160W） 待機時 : 約 30W 以下（低消費電力モード時　15W 以下）
電源コード	3 極 AC コード（2 極変換プラグ付） 長さ　約 2.3m
周囲温度・湿度	動作時 : 5℃～ 40℃ , 30% ～ 85%RH ただし、印字精度は測定条件が 15℃～ 30℃ , 40% ～ 70%RH 保存時 : − 20℃～ 60℃ , 5% ～ 95%RH ただし、結露しない状態。保存時は、梱包状態とします。
塵埃・腐食性	一般事務室程度の環境で使用してください。
インタフェース	IEEE-std1284-1994 準拠双方向パラレルインタフェース（コンパチブルモード、ニブルモード） ネットワークインタフェース（100BASE-TX/10 BASE-T　オプション）
標準使用条件	平均電源オン時間　200H ／月 平均印字時間　50H ／月　（ページ文字密度 35%）
印字ヘッド寿命	平均 3 億ストローク（ドットあたり）
装置寿命	5 年

用紙規格および印字範囲

用紙に関する注意

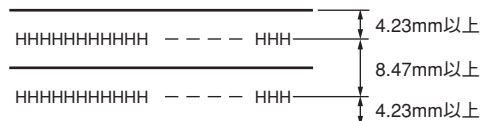
使用禁止の用紙

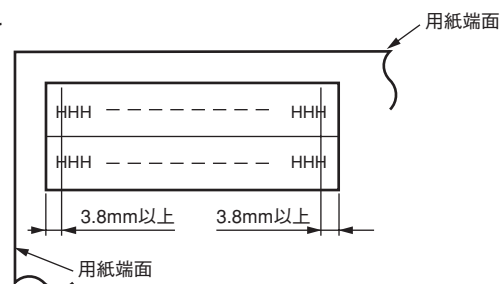
次のような用紙を使用すると、紙送りが不安定になり、紙づまりや紙折れ，印字ずれ、また、最悪の場合はワイヤドットのピン折れを起こす場合があるため、使用しないでください。

- 極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- 小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- 切り抜き部分や窓のある紙
- ピン，クリップ，ホッチキスの針などの金属の付いている紙
- のり付け面が露出しているもの，波打っているもの，はがれているもの
- 浮き彫りのあるもの
- 連続用紙の横ミシン目以外で折りたたんだもの
- 複写紙においてオリジナルと複写紙で大きさの異なるもの、または部分的に複写枚数が異なるもの
- 端または角が破れていたり折れている紙
- 切手、シールなどを貼り付けたはがきや封筒

プレプリント用紙

罫線や表などが入った用紙に印刷すると、用紙送り精度や用紙セットのばらつきにより、罫線や表の枠からはみ出して印刷されることがあります。このようなプレプリント用紙を設計する場合は次の点に注意してください。

- 事前印刷する場合は、あらかじめ十分なテストを行い、印刷品質について問題のないことを確認してください。
  （事前印刷部分が印刷禁止領域内にある場合、特に注意が必要です。印字部の反射率が 60%以下になりますと、（特に黒色系）プリンタ内の用紙検出センサが検出しない場合があります。）
- 事前印刷用紙に印刷インクのべとつきがあったり、インクの乾燥が不完全であったために、用紙どうしが付着しているようなことがあってはなりません。
- 事前印刷する場合、最大印字可能範囲ぎりぎりに印字位置がくるような用紙設計は避けてください。

横罫線について

- 文字の行間隔は 8.47mm（1/3 インチ）以上とってください。
- 文字中心から罫線まで上下とも 4.23mm 以上とってください。

縦罫線について

- 縦罫線は文字中心から 3.8mm 以上とってください。

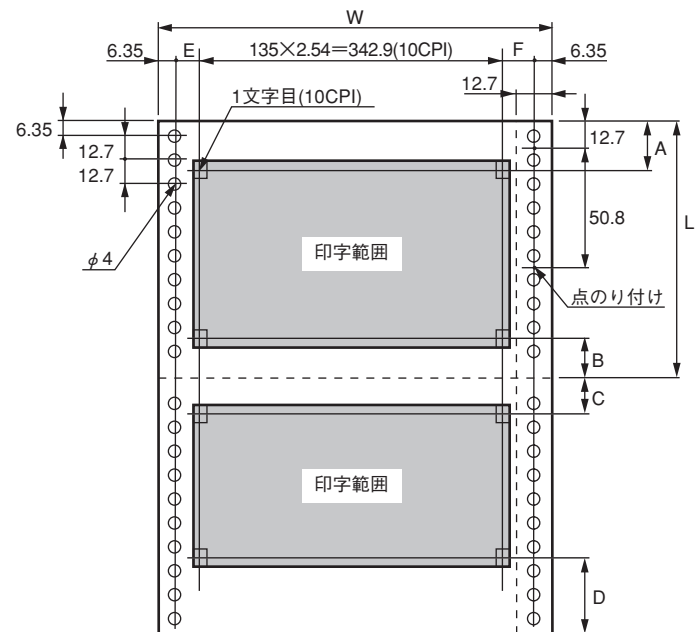
罫線のプレ印刷は用紙の端面を基準とし平行度 0.1°以下にしてください。

用紙の保管条件（JIS X 6195 による）

用紙は温度 10 ～ 30℃ , 相対湿度 30 ～ 70% の環境条件で保管してください。
また、保管場所と使用場所との間で環境条件に差がある場合は、使用場所の環境になじませてから使用してください。

連続紙（スプロケット紙）

連続紙はスプロケット孔付きの折りたたみ用紙です。

用紙サイズおよび印字範囲

記号	名　称	規格値
W	用紙幅	101.6〜406.4mm(4〜16インチ)
L	用紙長さ	76.2〜355.6mm(3〜14インチ) ただし、25.4mm(1インチ)の整数倍で、279.4mm(11インチ)を標準にします。
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上　メニュー設定によります。
B	印字禁止範囲	19.05mm(3/4インチ)
C	印字禁止範囲	19.05mm(3/4インチ)
D	用紙終了検出範囲	6.35mm(1/4インチ)　メニュー設定によります。
E	1文字目印字位置	12.7〜25.4mm(1/2〜1インチ) 用紙幅16インチのときは25.4mm(1インチ) ただし、ダブルトラクタモードのときは17mm
F	印字禁止範囲	12.7mm(1/2インチ)

- ダブルトラクタモードでは最初の 203.2mm(8 インチ)は使用できません。
- 印字精度保証は 19.05mm(3/4 インチ) 以上です。

- 用紙の裏面は白色（反射率 60%以上）とします。
- 用紙残 120mm 以下の場合は、用紙退避できません。
- 最終ページの印字精度は保証しません。
- とじ孔，コーナカットのある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100 秒（JIS P 8119）以下とします。
- 印字範囲を超えて印字した場合、印字品質を損ねたり、装置に悪影響を及ぼすことがありますので、印字フォーマットを設定する際は注意してください。
- 横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。横ミシン目をスプロケット孔の近くに設けると用紙がはがれやすくなり、キャリッジ部が引っ掛かることがあります。

用紙連量

○単　紙

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 通常印字モードのとき、用紙連量 45 〜 110kg（52 〜 128g/m²）の用紙が使用可能です。
- 高複写印字モードのとき、70 〜 110kg（81 〜 128g/m²）の用紙が使用可能です。薄紙を高複写印字モードで印字すると、印字によるカールや波打ちが発生し、印字汚れや，横罫線印字で破れが発生する場合があります。

○複写紙

- 用紙の種類は、感圧紙 , 裏カーボン紙 , インタリーブ紙です。
- 通常印字モードのとき、複写紙の用紙連量は、34kg（40g/m²）を標準とし、インタリーブ紙に使用するカーボン紙の厚さは 0.03mm 以下です。
  複写枚数は、最大 6 枚（オリジナル＋ 5 枚）です。ただし、インタリーブ紙を使用する場合は、最大 5 枚（オリジナル＋ 4 枚）です。また、全体の用紙厚さは 0.36mm を超えないようにしてください。
- 高複写印字モードのとき、複写枚数は最大 8 枚（オリジナル +7 枚）です。ただしインタリーブ紙を使用する場合は､最大 6 枚(オリジナル +5 枚)です。また、全体の用紙厚さは、0.48mm を超えないようにしてください。
- リアピントラクタを使う場合、複写枚数が 6 枚を超える連続紙の中には、改行や改ページの 1 文字目印字位置ずれ（改頁ずれ）を起こし易いものがあります。このようなずれが気になる場合には、フロントトラクタでの使用を推奨します。

用紙連量は、単位面積（788 × 1091mm）の大きさに換算して、1000 枚分の重量を kg で表わしたものです。

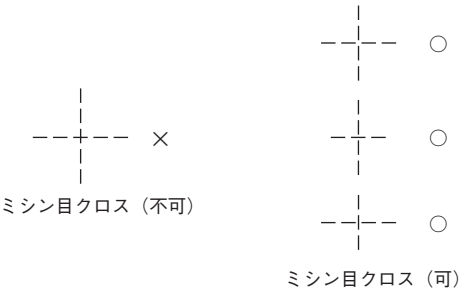
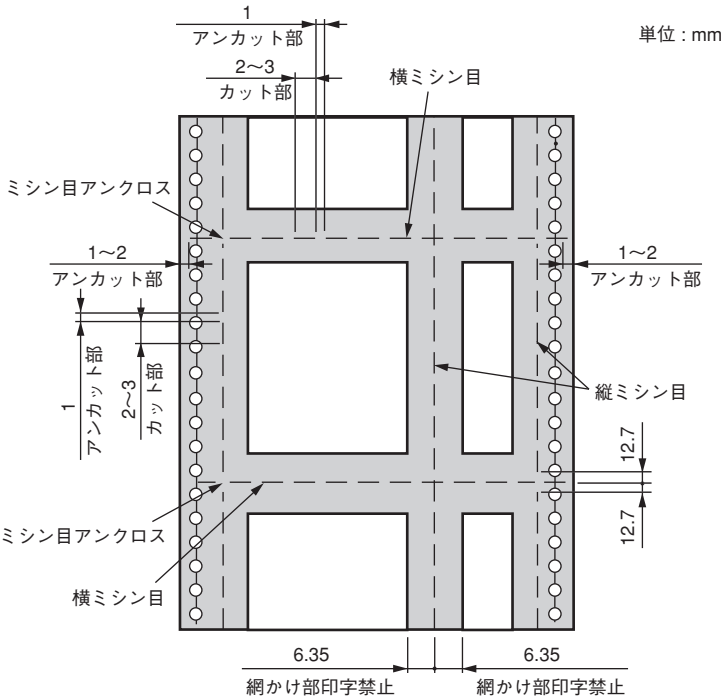
最大用紙厚さ

0.36mm（高複写印字モードのとき　0.48mm）

ミシン目

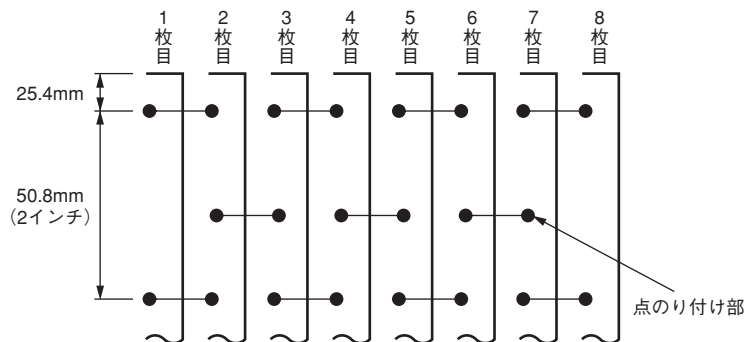
- ミシン目の寸法は、最高速度の用紙送りに耐え、かつ容易に切断できるものを使用してください。
- ミシン目のアンカット部は確実につながっていて、すべての箇所で破れていないことが必要です。特に､用紙折り曲げ部は破れやすいので､注意してください。
- ミシン目のカット寸法の比率は、紙質，用紙連量，複写枚数などによって適当な値が選ばれますが、下記の値を推奨します。

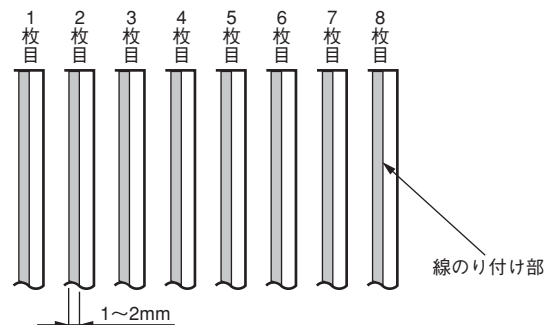
	複写枚数	カット部の長さ	アンカット部の長さ
横ミシン目	1〜6枚	2〜3mm	1mm
縦ミシン目	1〜6枚	3mm	1mm

- 横ミシン目　用紙の両端 1 〜 2mm には、カット部を入れないでください。上下 6.35mm（1/4 インチ）以内は、印字しないでください。
  横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。
- 縦ミシン目　印字範囲内に縦ミシン目が入る場合は、その左右 6.35mm（1/4 インチ）以内は印字しないでください。
  横ミシン目との交差部は用紙のはがれを防ぐため、カット部どうしを交差させないでください。

複写紙の重ね合わせの固定方法

複写紙の重ね合わせの固定方法は、点のり付け、線のり付け、または紙ホッチキスとし、両端ともに同じとじ方とします。
ただし、層間ずれ（1 枚目と最下層の印字ずれ）を防止したいときは、点のり付け、または線のり付けとします。（紙ホッチキスの場合、層間ずれが 3mm 程度発生する場合があります）
金属ホッチキスの使用は厳禁です。

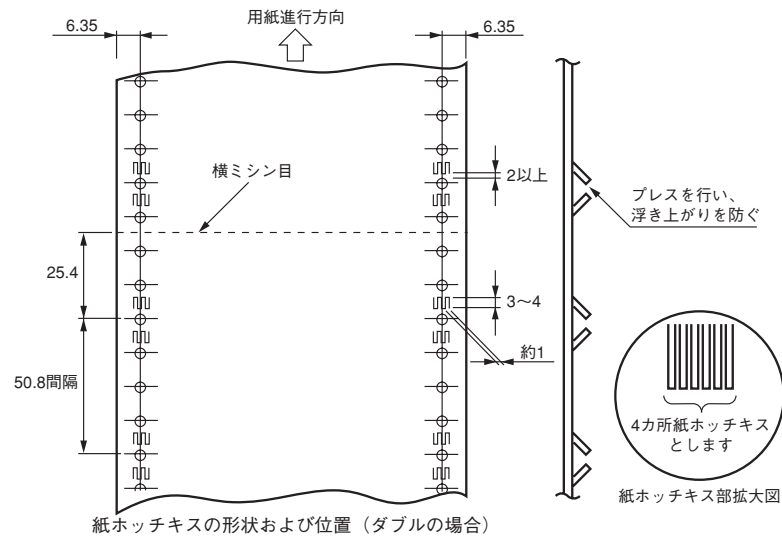
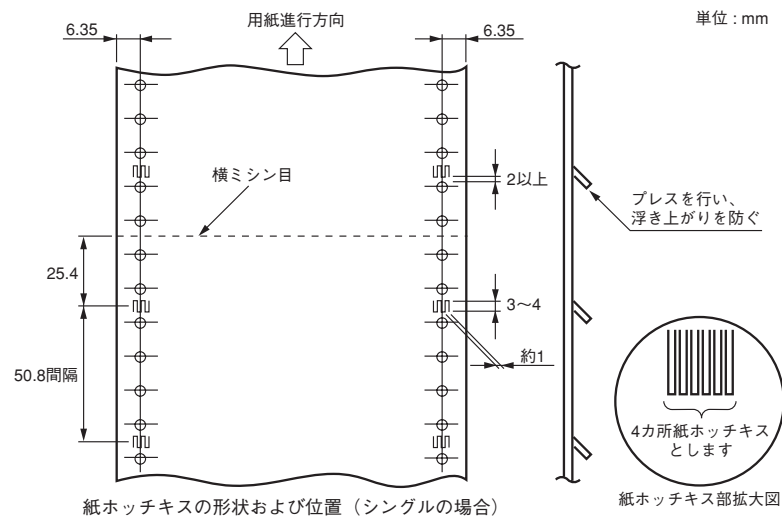
○点のり付け

- 点のり付けは両端点のり付けとし、片端とじは不可とします。
- 点のり付けは均一であり、その大きさはφ 3 〜φ 5mm とします。
- 点のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また、著しいしわのあるものは使用しないでください。
- 点のり付けの位置は、図のとおりにしてください。
- 点のり付けは、用紙ごとに千鳥状にしてください。

○線のり付け

- 線のり付け部は均一であり、幅は 1 〜 2mm とします。
- 線のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また、著しいしわのあるものは使用しないでください。
- のりは用紙端よりはみ出ないようにしてください。
- のり付け部が固い場合、用紙送りの精度の乱れなど発生しやすくなりますので注意してください。

○紙ホッチキス

- 紙ホッチキスは両端紙ホッチキスとし、片端とじは不可とします。
- 紙ホッチキスは必ず用紙の表側から行い、表面には何も出ないようにしてください。
- 紙ホッチキス部は確実にかみ合っていて、浮き上がりなどのないようにしてください。
- 紙ホッチキス後プレスを行い、浮き上がりを防いでください。
- 紙ホッチキスは、ダブルホッチキスを推奨します。シングルホッチキスは使用可能ですが層間ズレが発生する場合があります。

紙ホッチキスの形状および位置（シングルの場合）

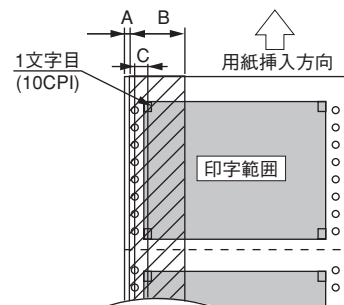
紙ホッチキスの形状および位置（ダブルの場合）

複写紙の組み合わせ

複写紙における使用可能な用紙連量の組み合わせを下表に示します。
ベース紙（いちばん下側の用紙）は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。
表に示した連量の範囲以外も使用可能ですが、用紙送り精度が悪くなるため、保証外とします。

最大複写枚数	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚	7枚	8枚
1枚目	34～55kg	34～43kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
2枚目	34～55kg	34～43kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
3枚目		34～43kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
4枚目			34～43kg	34kg	34kg	34kg	34kg
5枚目				34～43kg	34kg	34kg	34kg
6枚目					34～43kg	34kg	34kg
7枚目						34～43kg	34kg
8枚目							34～43kg

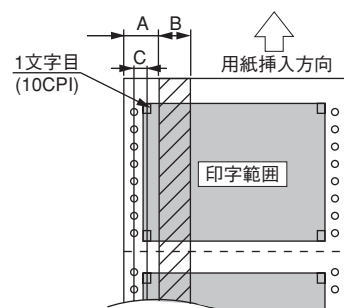
プレプリント禁止範囲

事前印刷された用紙に印字するときは、印刷済の部分が下記のプレプリント禁止範囲にかからないよう注意してください。
プレプリント禁止範囲内の反射率は 60%以上とします。

○フロントトラクタの裏面印刷禁止範囲

単位：mm

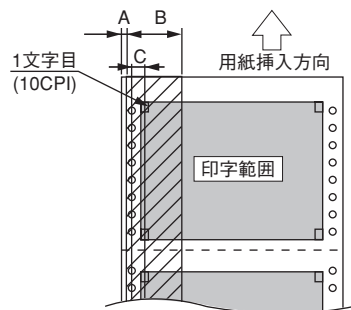
A	B	C
5	39	—
13	14	12.7のとき

：プレプリント禁止領域

○リアトラクタの裏面印刷禁止範囲

単位：mm

A	B	C
35	35	—
41	14	12.7のとき

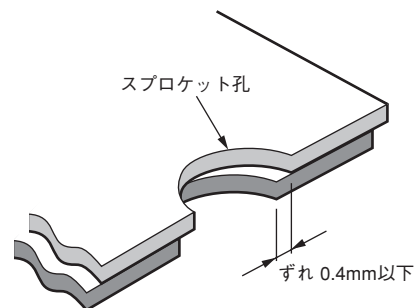
：プレプリント禁止範囲

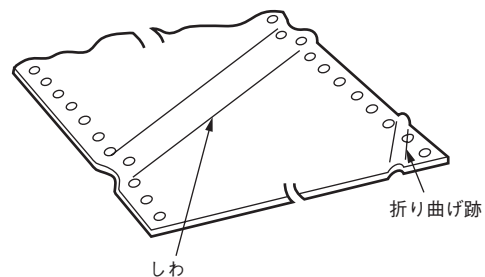
○ダブルトラクタの裏面印刷禁止範囲

単位：mm

A	B	C
5	22	—
13	14	12.7のとき

：プレプリント禁止範囲

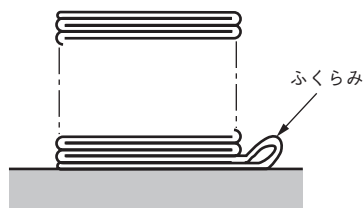
スプロケット孔

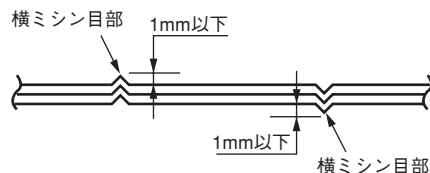
スプロケット孔の形状は真円とし、孔の縁は歯状でも可とします。ただし、切口はだれていないことが必要です。
複写紙重ね合わせ時のずれによるスプロケット孔の層間ずれは 0.4mm 以下のものを使用してください。

しわ , 折り曲げ跡

用紙には、しわや折り曲げ跡のないことが必要です。特に新しい用紙の場合、最初と最後の数ページは、しわや折り曲げ跡が発生しやすいので、使用しないようにしてください。

用紙先端，下端のしわ，カール，折れ，めくれ

用紙先端、下端にしわ、カール、折れ、めくれがある場合は、印字品質の低下や紙づまりが発生しやすいので使用しないでください。特に新しい用紙の場合、最初の数ページ～十数ページはカール等が発生している場合があるので使用しないようにしてください。
カール，折れ，曲がりの規定は 169 ページを参照ください。

用紙折り曲げ部

用紙は横ミシン目を用いて、交互に折りたたまれていることが必要です。
用紙折り曲げ部が下の図のようにふくらんでいるものは、用紙送りに悪影響を与えるので使用しないでください。

横ミシン目部の盛り上がり

複写紙において、横ミシン目部に盛り上がりがある場合は、印字品質が低下したり、紙づまりが発生しやすくなります。
盛り上がり高さは 1mm 以下になるようにしてください。

とじ孔

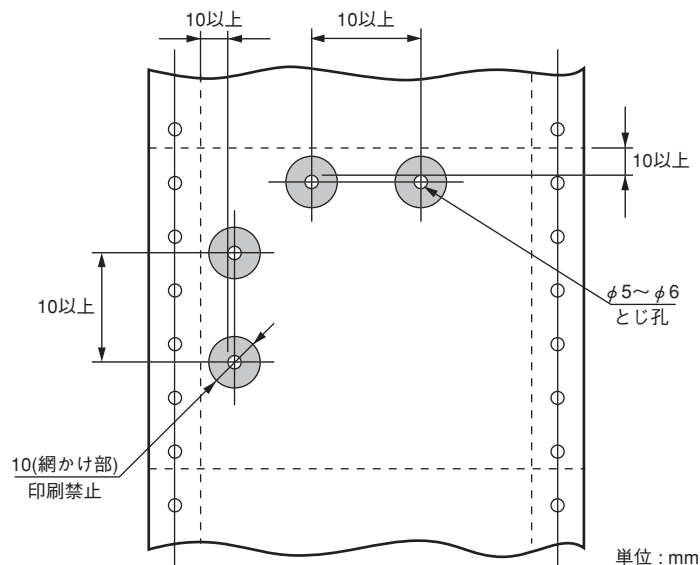
 とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

- とじ孔の周囲 5mm 以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。また、紙厚測定エラーになることがあります。
- とじ孔の縁は盛り上がっていないことを確認してください。
  盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

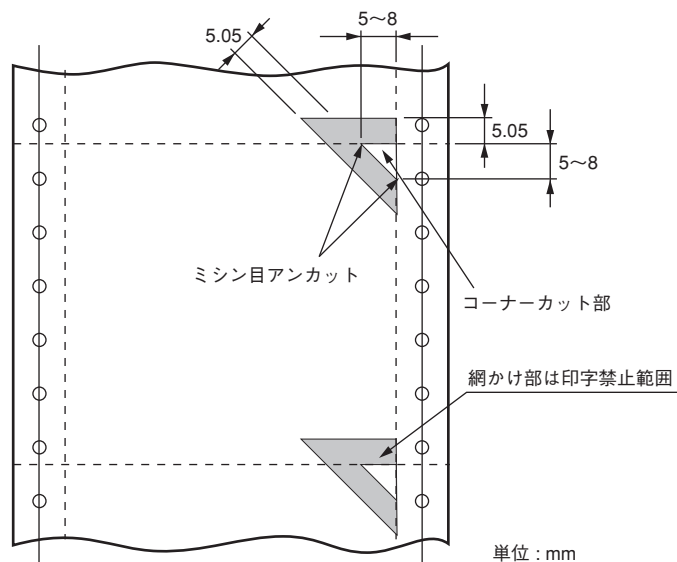
目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

付録

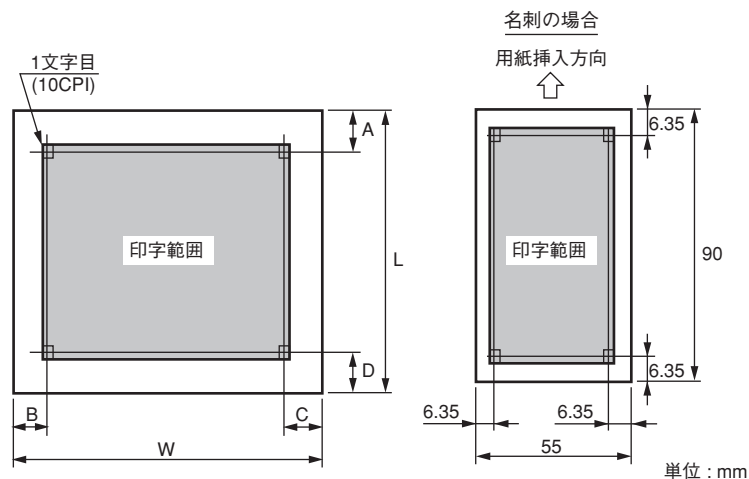
用紙規格および印字範囲

コーナーカット

 コーナーカットのある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にコーナーカットのある用紙の使用時の注意点を示します。

- コーナーカット部の下図網かけ部範囲内には印字しないでください。
- コーナーカットのパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- コーナーカット部周囲には用紙のはがれを防ぐため、縦／横ミシン目のカット部を接続しないでください（アンカット）。用紙はがれの原因となり、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- コーナーカット部が用紙検出スイッチにかかると、用紙終了あるいは用紙ジャムと判断するため注意してください。また、紙厚測定エラーになることもあります。
- コーナーカットの位置は、下図によります。

単票

単紙

○用紙サイズおよび印字範囲

用紙サイズは B5, B4, A4 を標準とします。

記号	名称	規格値
W	用紙幅	55～420mm(2.2～16.5インチ) オプションのカットシートフィーダを使用した場合 100～364mm(3.9～14.3インチ)
L	用紙長さ	70～420mm(2.8～16.5インチ) テーブル排出の場合、用紙長さ297mm以下とします。 オプションのカットシートフィーダを使用した場合 90～420mm(3.5～16.5インチ)
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上　メニュー設定によります。
B	1文字目印字位置	6.35mm(1/4インチ)以上 ただし、A3横の場合37mm固定です。
C	印字禁止範囲	6.35mm(1/4インチ)以上 ただしB値範囲内で136文字目までです。
D	印字禁止範囲	6.35mm(1/4インチ)以上

A4 縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

印字精度保証は 6.35mm（1/4 インチ）以上です。(メニュー設定項目を参照してください)

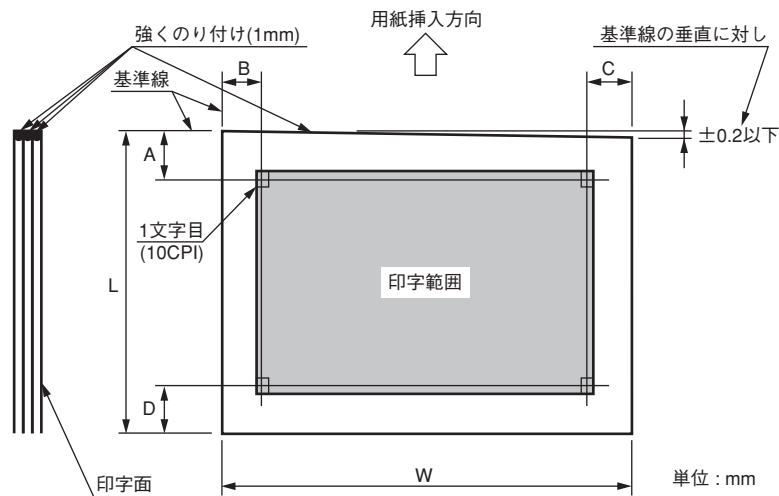
○用紙連量

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 通常印字モードのとき、用紙連量 45～180kg（52～209g/m²）の用紙が使用できます。
- 高複写印字モードのとき，70～180kg（81～209g/m²）の用紙が使用できます。薄紙を高複写印字モードで印字すると、印字によるカールや波打ちが発生し、印字汚れや横罫線印字で破れが発生する場合があります。
- カットシートフィーダでは用紙連量 55～135kg(64～156g/m²)の用紙が使用できます。
- カットシートフィーダで高複写印字モードのとき、70～135kg(81～156g/m²)の用紙の利用ができます。

注

- 45kg（52g/m²）の用紙は剛性が少ないため、スタッキングは保証しません。
- 用紙の縦横比は、1 : 2 ／ 3 ～ 2 とします。
- 用紙の表面 , 裏面は白色（反射率 60% 以上）とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100 秒（JIS P 8119）以下とします。

複写紙

○用紙サイズおよび印字範囲

用紙サイズは B5, B4, A4 を標準とします。

記号	名称	規格値
W	用紙幅	100～420mm(3.9～16.5インチ) オプションのカットシートフィーダを使用した場合 100～364mm(3.9～14.3インチ)
L	用紙長さ	100～420mm(3.9～16.5インチ) テーブル排出の場合、用紙長さ297mm以下とします。 オプションのカットシートフィーダを使用した場合 90～420mm(3.5～16.5インチ)
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上　メニュー設定によります。
B	1文字目印字位置	6.35mm(1/4インチ)以上 ただし、A3横の場合は37mm固定です。
C	印字禁止範囲	6.35mm(1/4インチ)以上 ただしB値範囲内で136文字目までです。
D	印字禁止範囲	6.35mm(1/4インチ)以上

A4 縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

印字精度保証は 6.35mm（1/4 インチ）以上です。(メニュー設定項目を参照してください)

○用紙連量

- 用紙連量 34kg（40g/m²）の裏カーボン紙、または感圧紙を標準とします。
- 通常印字モードのとき、複写枚数は、最大 6 枚（オリジナル＋ 5 枚）です。また、全体の用紙厚さは 0.36mm を超えないようにしてください。
- 高複写印字モードのとき、複写枚数は、最大 8 枚（オリジナル +7 枚）です。また、全体の用紙厚は 0.48mm を超えないようにしてください。
- カットシートフィーダでは、通常印字モード，高複写印字モードとも複写枚数は最大 6 枚（オリジナル +5 枚）です。また、全体の用紙厚さは 0.36mm を超えないようにしてください。

注

- 用紙の縦横比は、1：2／3～2とします。
- テーブルから挿入した用紙はスタッカに排出、カットシートフィーダから吸入した場合はスタッカに排出してください。
- テーブルに排出した場合、用紙の種類、印字の内容によりカールしやすく用紙の折れやジャムになる可能性があります。
- 用紙の表面，裏面は白色（反射率 60%以上）とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- 挿入方向の上端にのり付けしてください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100 秒（JIS P 8119）以下とします。

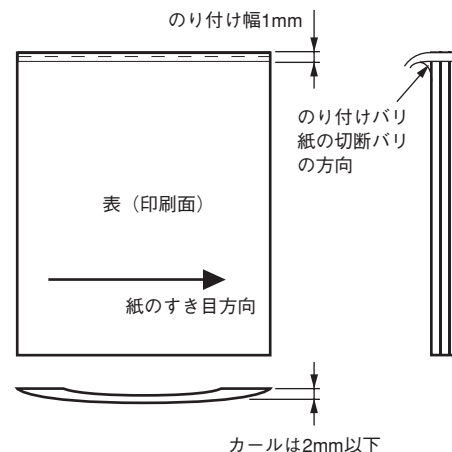
複写紙の組み合わせ

複写紙における使用可能な用紙連量の組み合わせを下表に示します。
1 枚目とベース紙（いちばん下側の用紙）は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。
表に示した連量の範囲以外も使用可能ですが、用紙送り精度が悪くなるため、保証外とします。

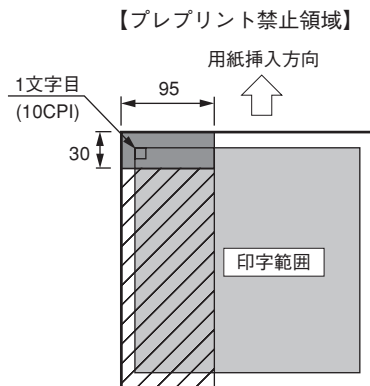
最大複写枚数	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚	7枚	8枚
1枚目	43～55kg（34kg）	43～55kg（34kg）	43～55kg（34kg）	43～55kg（34kg）	43～55kg（34kg）	43～55kg（34kg）	43～55kg（34kg）
2枚目	43～55kg（34kg）	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
3枚目		43～55kg（34kg）	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
4枚目			43～55kg（34kg）	34kg	34kg	34kg	34kg
5枚目				43～55kg（34kg）	34kg	34kg	34kg
6枚目					43～55kg（34kg）	34kg	34kg
7枚目						43～55kg（34kg）	34kg
8枚目							43～55kg（34kg）

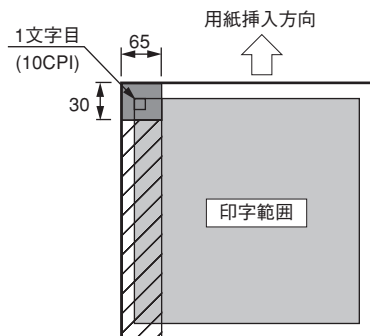
（　）内の用紙も使用可能ですが、保証外となります。

複写紙の重ね合わせの固定方法

- 複写紙の重ね合わせ固定方法は用紙挿入方向の先端側に幅 1mm の線のり付けとします。（天のり）
- のり付け部は強くのり付けし、必ずプレスを行い、浮き上がりを防止してください。
- のりは、用紙端よりはみ出さないようにしてください。
- のり付け部には著しいしわやばりがあってはなりません。

- すき目方向とのり付け方向が垂直になった場合、のり付け部の波うちが多く発生します。
- のり付けバリおよび紙の切断バリは極力少なく押さえてください。バリの方向は表面方向としてください。
- カールを防ぐため、保管方法に注意してください。カールは 2mm 以下とします。
- のり付け幅は基本的に 1mm としてください。
- とじ孔は印字領域内には開けないでください。

裏面プレプリント禁止範囲

事前印刷された用紙に印字するときは、下記のプレプリント禁止範囲にかからないよう注意してください。
プレプリント禁止範囲内の反射率は 60%以上とします。

【プレプリント禁止領域】

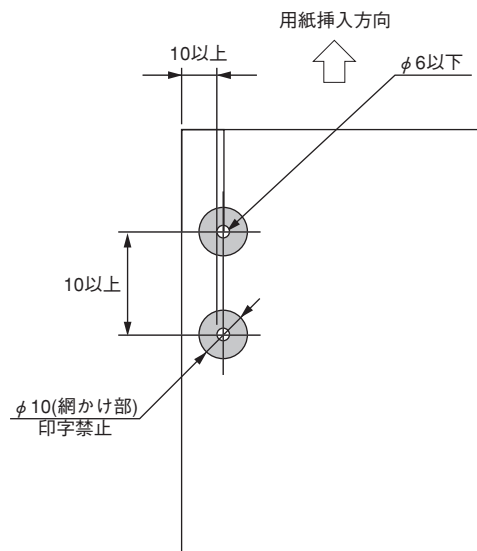
【テーブルのシートガイドを右端にセットした場合のプレプリント禁止領域】

両面プレプリント禁止範囲
裏面プレプリント禁止範囲

単位 : mm

とじ孔

 とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

- とじ孔の周囲 5mm 以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。
- とじ孔の縁は表面側に盛り上がっていないことを確認してください。
  盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

単位 : mm

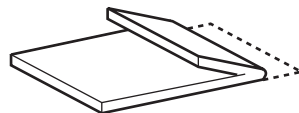
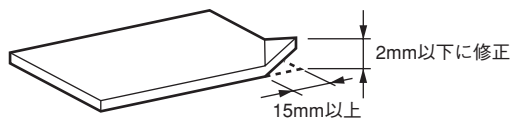
ミシン目

ミシン目のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にミシン目のある用紙の使用時の注意点を示します。

- ミシン目の仕様は連続紙のミシン目の項目に準じます。
- ミシン目の周囲 5.08mm 以内は印字しないでください。

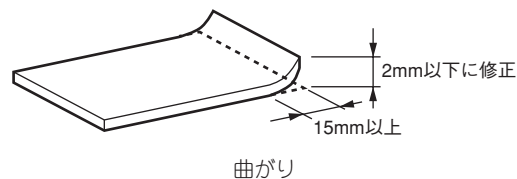
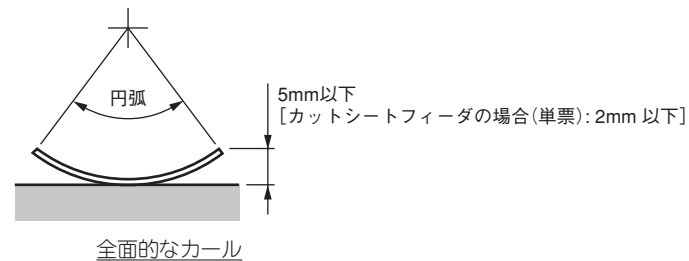
折れ（単票・連続紙）

- 全幅に渡って折れたものは使用不可です。
- 隅の折れについては 2mm 以下に修正してください。
  ただし、カットシートフィーダの場合（単票）は修正しても使用不可です。

全幅に渡って折れたものは使用不可

隅の折れ

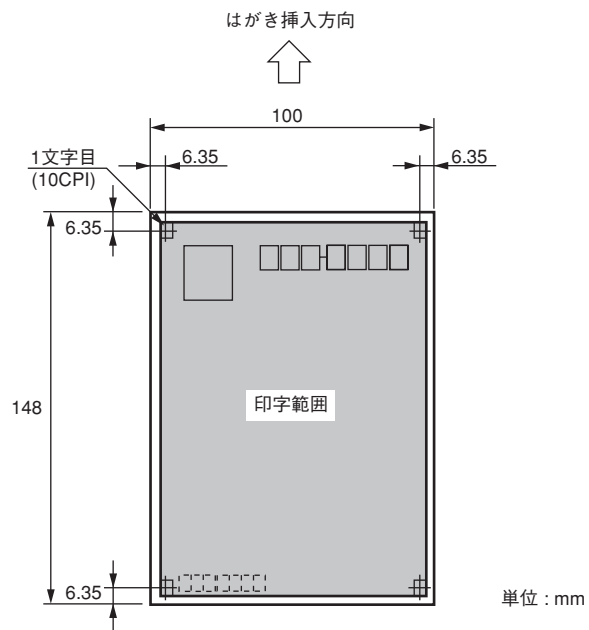
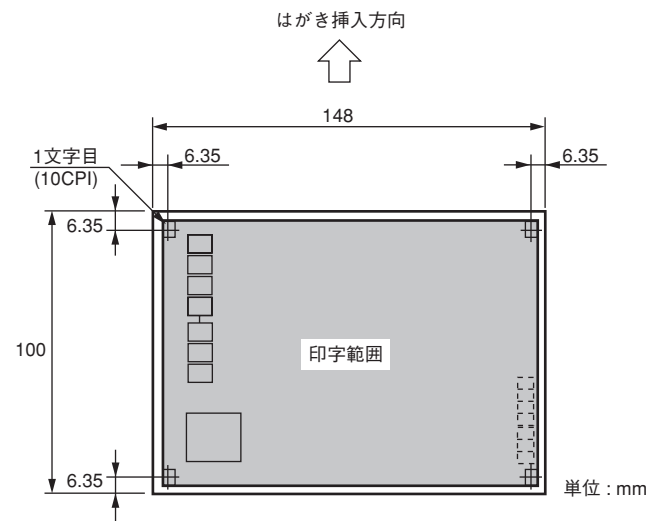
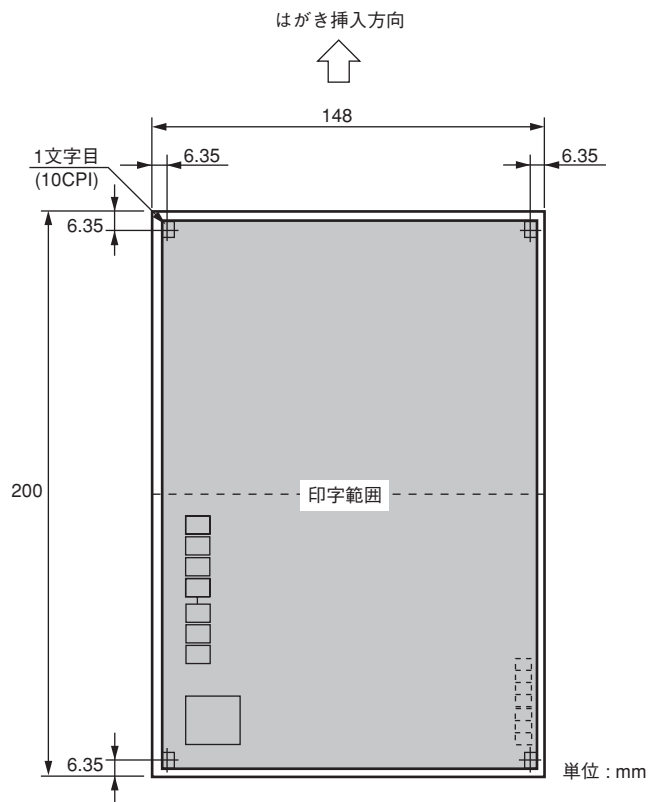
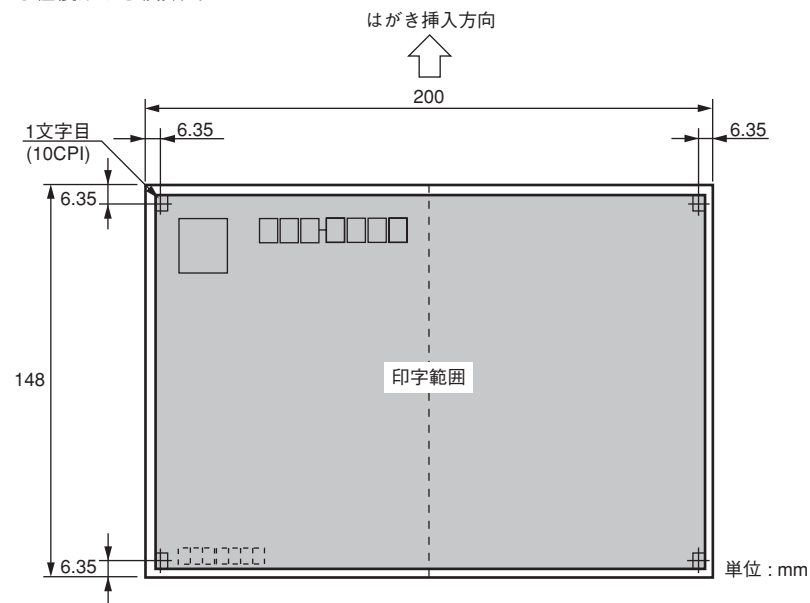
カール，曲がり（単票・連続紙）

- 全面的なカールは 5mm 以下，カットシートフィーダの場合（単票）は 2mm 以下なら使用可です。
- 用紙端から 15mm 以内で 2mm 以上の曲がりは使用不可です。

全面的なカール

曲がり

はがき

用紙サイズおよび印字範囲

○通常はがき縦挿入

○通常はがき横挿入

○往復はがき縦挿入

○往復はがき横挿入

使用はがき

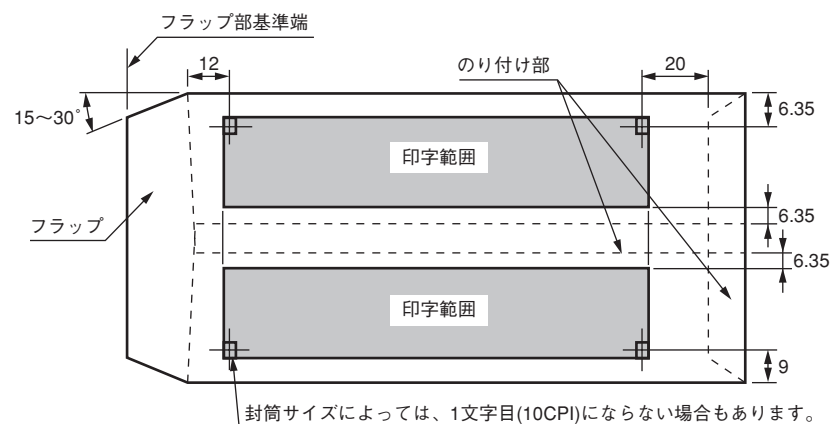
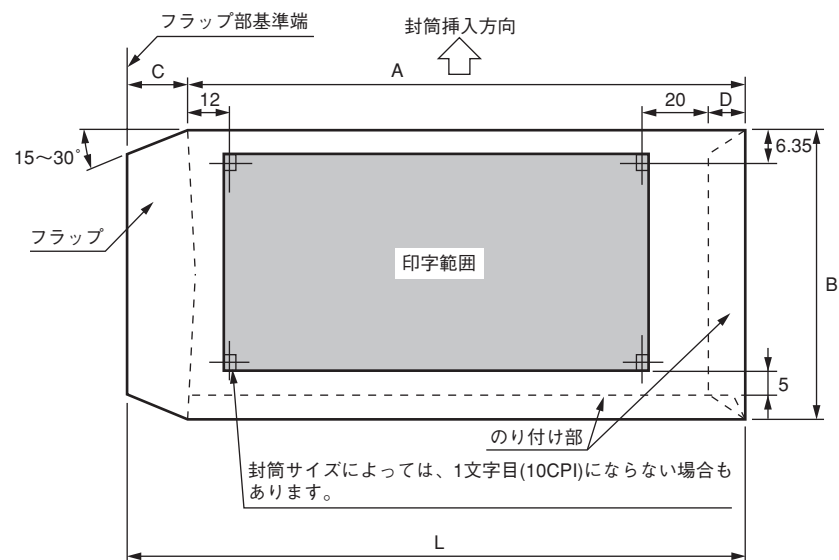
郵便はがき

坪量　190g/m^2(連量 163kg 相当)

厚さ　0.23mm

- 折れたり、曲がったりしていないものを使用してください。
- はがきの反りは 2mm 以下とします。ただし、下向きの反りは使用できません。

- 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
- はがきの表面・裏面は、白色(反射率 60%以上)とします。
- 郵便番号枠などの印刷は除きます。
  プレプリントの印刷禁止領域は単票用紙に準じます。

封筒

型 ＼ 寸法	A	B	C	D	L
長形4号	205	90	15～20	8～20	220～225
長形3号	235	120	15～25	8～20	250～260
角形3号	277	216	15～35	10～20	292～312
角形2号	332	240	15～40	10～25	347～372

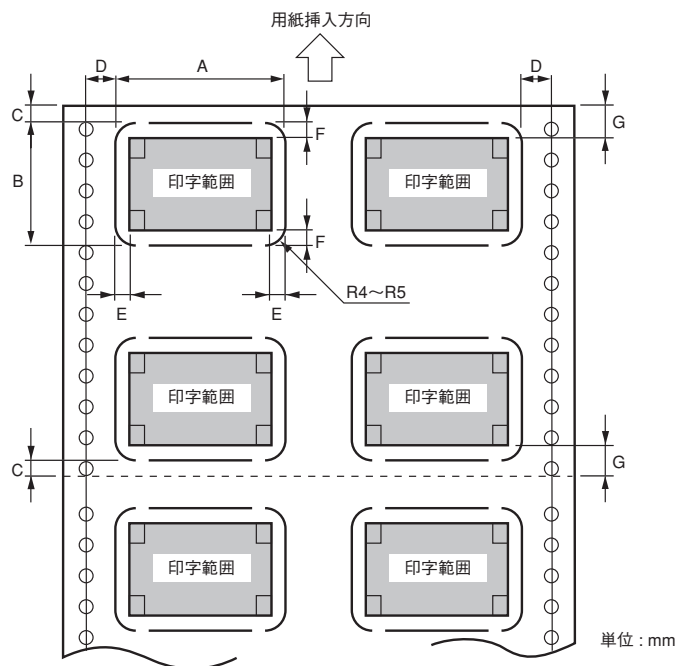
- 封筒は、JIS S 5502「封筒」に準拠した一重封筒とします。
- 用紙厚調整はオートの設定で使用しないでください。
- マニュアルギャップ調整で最大紙厚（中央重ね合わせ部）に合ったレンジを設定してください。（使用可能な封筒の最大紙厚は、0.36mm です。）
  例）クラフト紙封筒　70g/m^2, 80g/m^2 の場合　レンジ 6
- フラップ部基準端を有する形状のものを使用してください。
- 表面，裏面に印刷されていない白色（反射率 60% 以上）の封筒を使用してください。
- 上端または下端でのり付けされている場合は、その面および前後各 5mm 以内での印字はさけてください。
- 破線部のくい込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、破線部の右側で印字を行ってください。
- 次のような封筒の使用は禁止します。
  - 窓付きの封筒
  - フラップ部が折り返されている封筒
  - フラップ部にのり付け加工処理されている封筒
  - 二重封筒
- 封筒ののり付け部近くまで印字した場合、印字範囲であってものり付け部の状態（特にエッジ部の折れ，ふくらみ）によっては印字汚れがつく場合があります。
- 横置き挿入のみ使用可能です。
  ペーパガイドにフラップ部基準端を合わせて挿入してください。
- 角形 2 号は、シートスタッカでは使用できません。
- 封筒は、カットシートフィーダでは使用できません。

ラベル紙

ラベル紙を使用する場合は以下の基準に合ったものを使用してください。基準から外れたラベル紙は印字品位に悪影響をおよぼすだけでなく、粘着材の付着によって故障の原因になります。

ラベル紙を使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。

用紙サイズおよび印字範囲

「連続紙」(156 ページ) の規格に準じますが､下記にラベル紙固有の条件を示します。

記号	名　称	規格値
A	ラベル幅	50mm 以上
B	ラベル長さ	25mm 以上
C	ラベル禁止範囲	6.35mm(1/4 インチ) 以上　12.7mm(1/2 インチ) 以上を推奨
D	ラベル禁止範囲	6.35mm(1/4 インチ) 以上
E	印字禁止範囲	3.81mm 以上
F	印字禁止範囲	4mm 以上
G	印字禁止範囲	10.58mm(5/12 インチ) 以上 印字精度保証は 25.4mm(1 インチ) 以上

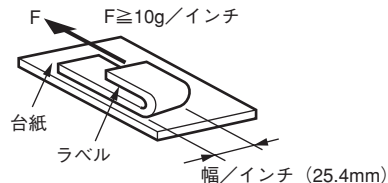
用紙連量

ラベルは上質紙で連量 55kg、厚さ 0.1mm 以下。台紙ははくり紙で厚さ 0.06 ～ 0.08mm 以下です。

最大用紙厚さ

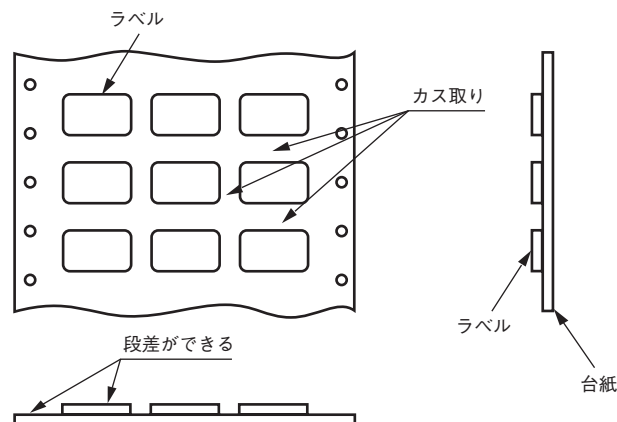
0.2mm

粘着剤

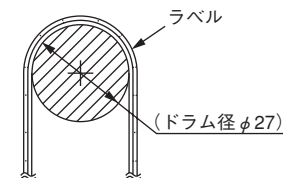
- はくり強度 10g/インチ以上。
- 直径 27mm の円筒に巻き付けたとき、ラベルが台紙からはがれないこと。
- 印字中や用紙走行中にラベルがはがれない状態に保たれた用紙を使用してください。
  粘着剤が表面にはみ出さないようにしてください。

カット

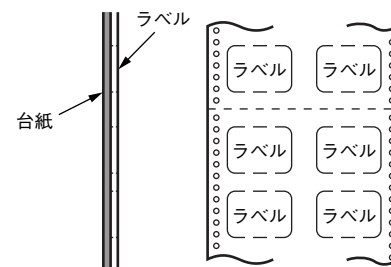
- カットはラベル（表面基紙）のみに入れてください。
- 台紙の横ミシン目に対応するラベルのカットは、横ミシン目と同一とし、両端1～2mm にはアンカット部を設けてください。
- ラベル上方の左右コーナ付近に 0.5 ～ 1mm 程度のアンカット部を設けてください。

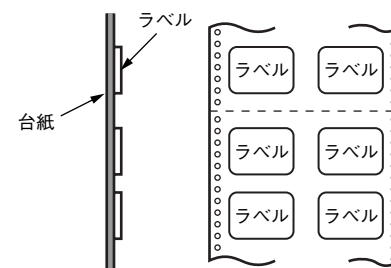
ラベルのカス取りについて

ラベルのカス取りは行わないでください。
〔ラベルをはがしたときに残るラベル以外の部分（カス）が取り除かれていないこと〕
下図のようにカス取りのしてあるラベル紙は、段差ができるため、使用禁止です。

- ラベル紙と台紙の厚さは、合計 0.2mm 以下とします。ただし、ラベル紙および台紙の厚さはどちらも 0.1mm 以下とします。
- 直径 27mm の円筒にラベル紙を表にして巻き付けたとき、ラベル紙が台紙からめくれたり、はがれたりしないものを使用してください。

ラベルの貼付強度
次の条件でめくれないラベルを使用してください。

巻付ドラム径	φ27mm
巻付角度	180°
巻付時間	24時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%

- かすとり（ラベル以外の粘着シールをはぎ取ること）をしていないラベル紙を使用してください。

かすとりをしていないラベル紙

かすとりをしているラベル紙（使用しないでください）

再生紙

再生紙は製造メーカや紙質により特性が異なりますので、ご使用に際しては以下の注意事項をご確認の上ご使用ください。

- 再生紙は紙粉が発生しやすいため、清掃を短い周期で行ってください。
- 再生紙は湿度の影響を受けやすいため、高湿度での使用は避けてください。
- 再生紙は用紙の引張強度や剛性が弱いため、用紙ジャム率、用紙スキュー、重送率等が増加します。
- 再生紙は紙厚が厚くなる傾向がありますので、ホッパやカットシートフィーダへのセット枚数が減少します。

宅配伝票

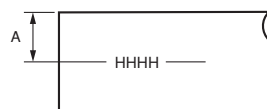
宅配伝票を使用する場合の注意点を示します。

- 用紙サイズおよび印字範囲は、連続紙および単票の規格に準じます。

- 複写能力 , 印字精度は保証外です。
- 厚さが不均一な伝票は、印字汚れやスキューの原因になりますので使用しないでください。
- 紙厚調整は、厚さ 0.5mm 以上の場合、オートギャップで使用してください。

印字規格

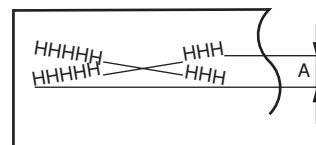
用紙の頭出し位置

自動給紙したときの用紙上端から 1 行目中心までの位置精度。

- 印字行の傾きは除く
- 用紙セットが正確であること

単位：mm

用　紙		A
連続紙	単紙（連量 55kg）	± 1
	その他の用紙	± 2
単票	単紙（連量 55kg）	± 1
	その他の用紙	± 2

印字行の傾き

単位：mm

用　紙	印字幅	A
連続紙	136	1.0 以下
単票	60	1.0 以下
郵便はがき	36	1.5 以下

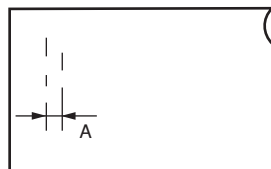
改行精度

Bは40行間

単位：mm

用　紙		A=4.23	B=165.1
連続紙	単紙	± 0.5	± 1.0
	複写紙	± 0.8	–
単票	単紙	± 0.5	± 2.0
郵便はがき		± 0.5	–

縦罫線のずれ

単位：mm

印刷方向	A
片方向	0.15 以下
両方向	0.3 以下

連続複写紙の層間ずれ

5 枚複写紙の 1 枚目と 5 枚目の印字ずれは 2mm 以下

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守期間中であっても有償になります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください）
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。

http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音させていただいております。

お客様相談センター　0120-654-632
（携帯電話からは 03-5846-5921）

受付時間　9：00 ～ 20：00 月曜日～金曜日
9：00 ～ 17：00 土曜日
（但し　祝日、年末年始等を除く）

※月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは（株）沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

個人情報の取り扱いについて

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号などの保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社提携会社より、サービス提供、アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿製造番号：＿＿＿＿＿購入日：＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　あり（　　　　　）

コンピュータ環境

☐ Windows　バージョン：＿＿＿＿＿

☐ MacOS　バージョン：＿＿＿＿＿

接続方法

☐ パラレル　☐ USB　☐ RS232C　☐ ネットワーク

☐ TCP/IP　☐ IPX/SPX　☐ Ethertalk　☐ NetBEUI

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿

アプリケーション

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容　：＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷　：☐ 正常　☐ 印刷できない

他のコンピュータからの印刷　：☐ 正常　☐ 印刷できない

プリンタを輸送するときは

プリンタは精密機械ですので梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。移設や修理などで移動，運搬するときは、次の手順で梱包してから輸送してください。

1 プリンタの電源スイッチを「ON」にしてキャリッジが止まった後、電源スイッチを「OFF」にします。

電源スイッチが（○）側になっていることを確認します。
キャリッジが上昇し、固定具を取り付け易くなります。

2 用紙を取り去り、シートスタッカを取り外します。

3 電源コードを抜き、インタフェースケーブルを取り外します。

電源プラグをコンセントから抜き、プリンタの AC コネクタから電源コードを外します。
インタフェースケーブルをプリンタから取り外します。

4 オプションを取り外します。

オプションを取り付けている場合は、6 章「オプション」（117 ページ）を参照して取り外してください。

5 リボンカートリッジを取り外します。

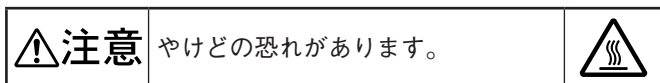
「リボンカートリッジの取り外し」（26 ページ）を参照してください。

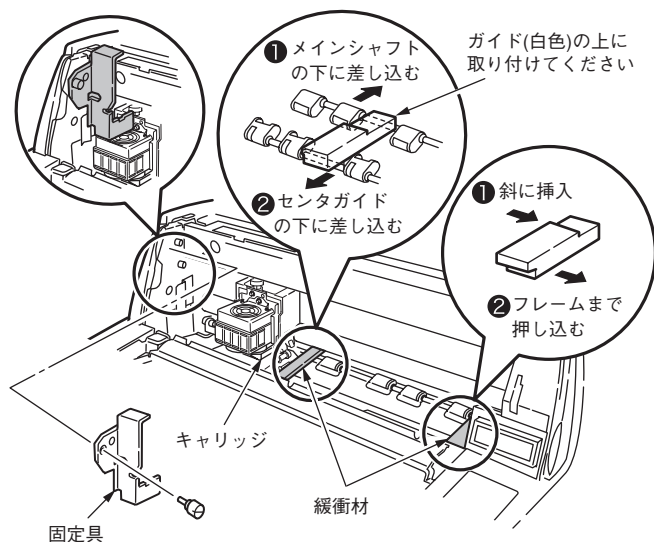
6 輸送用固定具を取り付けます。

印字ヘッドなどを保護するために、輸送用固定具を必ず取り付けてください。

輸送用固定具で固定しない場合、プリンタの故障の原因となることがあります。

① キャリッジを手で左端まで移動させます。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドに触らないでください。固定具の取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

② 緩衝材を左右各々❶，❷の手順で取り付けます。
③ 固定具をキャリッジに差し込み、ネジでフレームに固定します。

7 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

プリンタ購入時についてきた梱包箱と緩衝材を使用してください。

プリンタを衝撃から守るため緩衝材を取り付け、届いたときと同じ状態にして箱に入れます。
付属品も同様に添付品箱に梱包し、箱に入れます。

消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店よりご購入ください。

プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みの MICROLINE プリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
右の用紙をコピーし、必要事項を記入して FAX、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ 1 本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

受付 No. ：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

西暦　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　年　　月　　日
【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

品目		数量
イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
転写ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】
まとめた箱の荷姿で合計 ：　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185　又は、フリーダイヤル0120-640991
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

目次へ　戻る　前へ　次へ　索引へ　検索する

ユーザーズマニュアル CD-ROM の内容

ユーザーズマニュアル CD-ROM には、次のマニュアルが PDF 形式で収録されています。バージョン 5 以降の Acrobat に対応しています。
Acrobat Reader は、プリンタソフトウエア CD-ROM に収納されています。

- ML8720SE2setup.pdf : ML8720SE2 のユーザーズマニュアルのセットアップ編です。（本書）
- ML8720SE2app.pdf : ML8720SE2 ユーザーズマニュアルの応用編です。

マニュアルをハードディスクにコピーして使う場合は、セットアップ編と応用編を同じフォルダに保存してご利用ください。

ML8720SE2 ユーザーズマニュアル（応用編）の内容

1 Windows ソフトウェア
2 便利な印刷機能
3 困ったときには
付　録

目次へ 戻る 前へ 次へ 検索する

索　引

た

て

ね

は

ふ

ほ

め

や

よ

ら

り

れ

MICROLINE 8720SE2

ユーザーズマニュアル(セットアップ編)

発行日　2009年4月　第3版
発行者　株式会社 沖データ

41128613EE

株式会社 沖データ
お客様相談センター
0120-654-632
(携帯電話からは03-5846-5921)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し、祝日、年末年始等を除く）